

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	1	-	事業名	公共交通事業	担当部課	市長公室 経営企画課
------	---	---	-----	--------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち		
		分野別項目	6	快適で便利な交通移動を確保する		
		施策の進め方	3	交通の円滑化		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ① 年間700万人以上が利用する地域の基幹的な交通基盤であるリニモの運営事業者の愛知高速交通(株)に対して、出資者間で協調して経営支援を行う。 ② 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討する。 ③ 沿線の施設とリニモを使ったイベントの実施や、リニモウォーキング等を実施する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内外の住民、公共交通事業者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域公共交通の基盤の安定化を図り、車から公共交通への移動手段の転換を図る。				
	事業を構成する事務事業	① 東部丘陵線推進事業	継続	④		
	② 地域公共交通会議事業	改善・見直し	⑤			
	③ リニモ活性化事業	改善・見直し	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						914,758
	人件費(B)	千円	決算				6,493
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				921,251

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		A 公共交通利用者	人/日	目標		-	10,870	11,690
	実績				10,870	11,690	12,140	
	B 「公共交通利用を第一に「考える」割合	%	目標		-			
			実績		16.9			
	C 市民の利用回数の回答が「減った」より「増えた」の割合	%	目標		-			
			実績		減 15.2 増 14.8			
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値 対前年度比増加								
B 地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値 「利用促進活動への市民参加の賛同割合」の増加(5年ごとに調査)								
C 地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値 「市民の利用回数」が「減った」より「増えた」が多い(5年ごとに調査)								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る自治体もある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公共交通利用者数は伸びており、地域公共交通総合連携計画に掲げる目標値を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 本市ではさらなる人口増加の見込みや、大規模な集客施設や住宅の建設が進行しており、渋滞の原因となる自動車移動からの転換を図る必要がある。そのため、公共交通利用者や市民のニーズを把握し、リニモ、名鉄バス及びNバスを一体で考えた利便性の高い公共交通サービスの提供が必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公共交通の活性化には、市民を中心として自らが公共交通に愛着を持ってもらい、公共交通を利用することが必要不可欠であると考えている。市民主体の公共交通を応援する組織「公共交通応援隊」とともに、市民にとって身近な公共交通となるよう働きかけていきたい。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公共交通利用促進事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	東部丘陵線推進事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	対象：愛知高速交通(株) 手段：県、沿線市及び民間企業による金融支援等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	運行を担う愛知高速交通(株)の経営基盤を安定させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				911,000
		決算				911,000

3. 活動推移

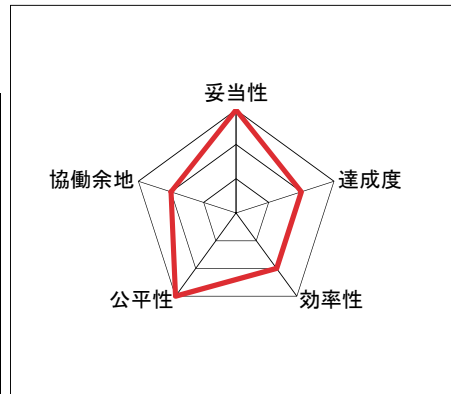
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
リノモ沿線の周辺開発や沿線大学の学生によるリノモ利用増に伴い、その必要性が高まっている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
28年度も引き続き現金出資を行い、安定的な経営体制への移行を目指す。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公共交通利用促進事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

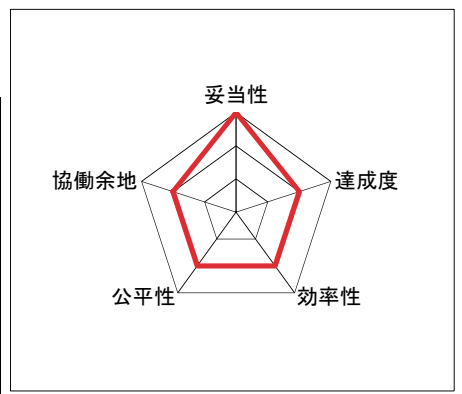
番号	②	事務事業名	地域公共交通会議事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：市内外の住民 手段：利便性の高い地域公共交通の展開を図るため、公共交通の利用実態や利用者満足度を調査・分析している「地域公共交通会議」を運営し、連携計画で掲げた計画事業の実施目標を達成していく。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内公共交通機関のネットワークを構築し、対象者の利便性を高める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	3,298
		決算	/	/	/	3,133

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
計画事業の実施件数	事業	目標	/	/	11	10	
		実績	/	/	10	9	
		目標	/	/	/	/	
		実績	/	/	/	/	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
なし

6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

長久手市第2次地域公共交通総合連携計画で掲げた計画事業の実施件数について目標を達成していく。平成26年度、平成27年度に達成出来なかった項目については、目標を達成できるよう市民、公共交通事業者及び長久手市の3者間で協力をしながら進めていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公共交通利用促進事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	リニモ活性化事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：市内外の住民 手段：東部丘陵線連絡協議会（愛知県と沿線市で構成）でリニモとリニモ沿線施設を活用したリニモウォーキングやリニモツアーズなどのイベントを開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 沿線地域の活性化とリニモの利用促進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				625
		決算				625

3. 活動推移

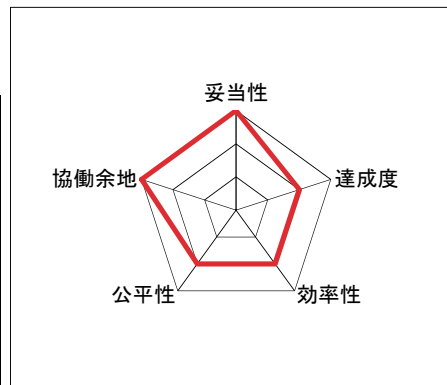
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
リニモウォーキング参加人数	人	目標	17,200	17,800	16,100	16,800	
		実績	17,800	16,100	16,800	14,800	
リニモツアーズ参加人数	人	目標	1,621	2,048	2,359	2,283	
		実績	2,048	2,359	2,283	2,452	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
なし

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
継続してイベントを実施しているが、イベント参加人数が頭打ちにきている感がある。イベント内容に新しい取組を入れる等工夫をこらすよう実施主体の愛知県に改善を働きかけ、イベント参加者数の増加を狙い、リニモの利用者増に繋げていく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	2	-	事業名	広報事業	担当部課	市長公室 情報課
------	---	---	-----	------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち			
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する			
		施策の進め方	-				
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～			
		政策分類	6	広報市民記者の活用			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市政情報を伝える事業として、広報紙「広報ながくて」発行、ホームページ、動画としての市政情報をケーブルテレビにおいて放映している。 また、本市の名古屋市近郊という立地条件から市外から転入した市民等へ配布する公共施設ガイドマップも作成し、配布している。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内外の住民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 長久手市についてより知ってもらおう。					
	事業を構成する事務事業	① 広報紙発行事業	継続	④ 公共施設ガイドマップ作成事業	継続		
	② 市ホームページ運用事業	継続	⑤				
	③ ケーブルテレビ番組制作事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	51,967
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	14,195
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	66,162

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 広報紙の内容についての不満足度	%以下		目標	/	/	5.0	5.0
実績				/	1.5	1.4	1.4	
B ホームページ対するの不満足度	%以下		目標	/	/	/	10.0	
			実績	/	/	/	8.6	
C 番組の視聴頻度	%以上		目標	/	80.0	40.0	40.0	
			実績	/	38.9	42.0	42.4	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 指標の判断根拠として、市政・広報モニターアンケート結果を活用する。								
B 指標の判断根拠として、市政・広報モニターアンケート結果を活用する。								
C 指標の判断根拠として、市政・広報モニターアンケート結果を活用する。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 広報紙及びホームページは全ての行政機関で実施している。 また、インターネット環境、SNSの普及などにより、情報発信の方法が多様化している状況である。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 広報事業は市民及び市外の住民へ市の情報を直接発信する重要な役割を果たしており、多様な手段を用いて発信する必要がある。今後も本市をとりまく環境に合った情報発信方法を模索し、検討していく。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市内外の住民に対して、本市により興味を持ってもらうために、市政・広報モニターアンケート等を活用し、紙、ホームページ、映像等各媒体の特徴をいかした方法で、市政情報を伝えていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		広報事業										
番号	①	事務事業名	広報紙発行事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 毎月一回広報紙を発行し、市内に全戸配布している。また、市内公共施設や大学にも設置し、利用者に周知している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内外の住民に、長久手市についてより知ってもらおう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				26,100
		決算				22,860

3. 活動推移

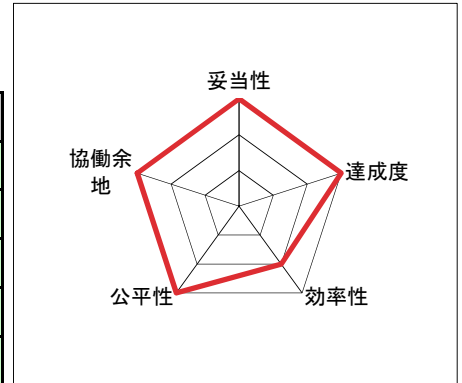
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
不満足度	%以下	目標			5.0	5.0	
		実績		1.5	1.4	1.4	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市政情報をわかりやすく伝える手段のひとつとして、月1回広報ながくてを発行している。幅広い年代層の市民を対象としていることから、紙面に掲載する情報が増加しており、紙面構成に苦慮している。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 活動指標の不満足度（市政・広報eモニターアンケート結果「広報紙が読みにくい」から、広報紙が読みにくいと感じている市民はかなり少なく、概ね広報紙を読みやすいと感じていると考えられる。 今後も、アンケート結果等を踏まえ、より読みやすい広報紙づくりに努めていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		広報事業										
番号	②	事務事業名	市ホームページ運用事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内外の住民に、市政情報を提供する市ホームページの運営及び管理
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内外の住民に、長久手市についてより知ってもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,928
		決算				2,927

3. 活動推移

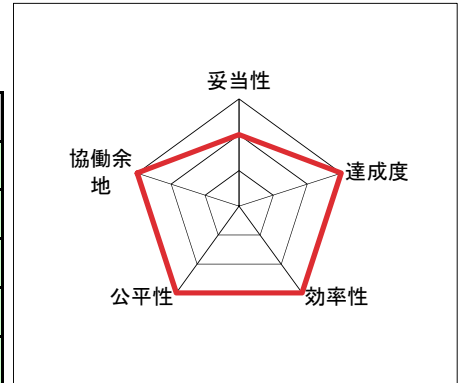
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
不満足度	%以下	目標				10.0	
		実績				8.6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ホームページは各課で作成しており、市民へ伝えたい市政情報が増加している現状である。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 活動指標の不満足度（市政・広報eモニターアンケート結果「ちょっと不満、かなり不満」）から、市民はホームページに満足を感じている。 今後も、アンケート結果等を踏まえ、より市民に親しまれるホームページ運用に努めていく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		広報事業										
番号	③	事務事業名	ケーブルテレビ番組制作事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内外の住民に市政情報を動画で伝える手段として、ひまわりネットワークのケーブルテレビで、30分の情報番組(1日4回以上、月曜日に内容更新)を作成し放映している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内外の住民に、長久手市についてより知ってもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				25,357
		決算				25,355

3. 活動推移

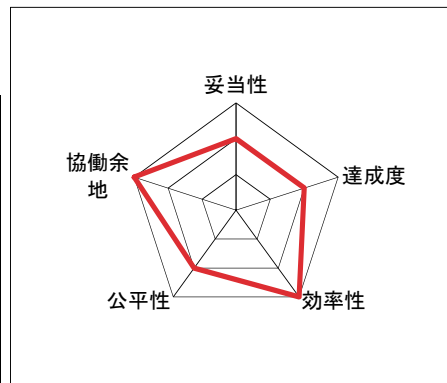
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
視聴頻度	%以上	目標		80.0	40.0	40.0	
		実績		38.9	42.0	42.4	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ケーブルテレビの未加入世帯にも主な番組の内容を見ることができるよう、インターネット環境の普及をいかしたストリーミング配信を行っている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 活動指標の視聴頻度(市政・広報eモニターアンケート結果 毎週見る～月1回程度見る)から、目標を達成している。 今後も、アンケート結果等を踏まえ、より視聴頻度の実績を上げる方法として、広報ナビゲーターの活用など、市民との距離を縮める親しみやすい番組づくりに努めていく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		広報事業										
番号	④	事務事業名	公共施設ガイドマップ作成事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民に対し、公共施設等の情報が入った地図を作成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民に、市内公共施設等の情報をより知ってもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				562
		決算				825

3. 活動推移

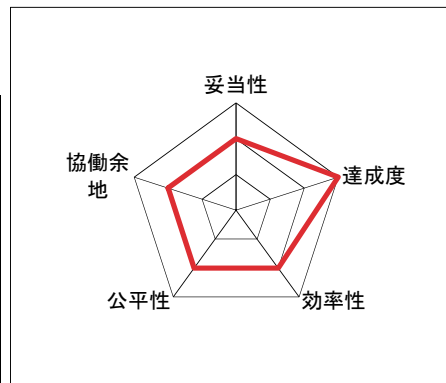
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
発行部数	部	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	
		実績	5,000	5,000	5,000	8,000	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市外からの転入等の人口増加に伴い、公共施設ガイドマップ配布の需要は増えている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 人口増加に伴い、公共施設ガイドマップ配布の需要も増えている中、(株)ゼンリンと協定して作成する「暮らしの便利帳」も転入した市民等に好評である。 今後は、地図と公共施設等の組み合わせた情報をどのような編集形態で市民へ提供していくのが市民にとってわかりやすく、かつ市の業務として効率的になるのかを研究して行く必要がある。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	3	—	事業名	広聴事業	担当部課	市長公室 情報課
------	---	---	-----	------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち				
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する				
		施策の進め方						
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～				
		政策分類	1	広聴機能の強化				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民からの意見や提案などを聴くため「市政ご意見箱」及びアイデア提案「一平さんに一言」を設けている。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市に関わる全ての人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見・提案等を進め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。					
	事業を構成する事務事業	① 広聴事務事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	0
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	8,849
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	8,849

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	ご意見・提案 受付件数	件	目標	400	800	600	500
実績				485	463	422	489	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市政に対して気軽に意見を申出できるかの判断として、ご意見や提案をいただいた件数を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町も同様に実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標に対して、実績は横ばいの状況となっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 文書で投稿される場合、ご意見箱のほかに様々なアンケート回収箱が同じ場所に設置されているため、市民目線で分かりにくい状態になっている。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 本市の目指すまちづくりにつながるようなご意見及び提案は積極的にホームページに公開し、市民主体のまちづくりにつなげていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		広聴事業										
番号	①	事務事業名	広聴事務事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市に関わる全ての人に対して、ご意見「市政ご意見箱」及び提案「一平さんにひと言」を紙媒体と市ホームページにて受け付けている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 意見及び提案を市長はじめ業務担当部署へに伝えることで、行政サービスに反映する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

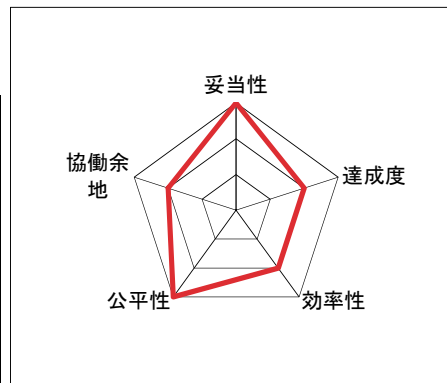
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ご意見箱	件	目標	440	800	600	500	
		実績	485	463	422	489	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市民には、ご意見「市政ご意見箱」と提案「一平さんへの一言」の受付窓口の違いがわかりにくい。 また、ご意見及び提案の方法については、電話や文書より、ホームページのご意見箱を利用する件数が増加している。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) ご意見と提案の窓口の違いがわかりにくいこと及び投稿手段において紙媒体よりメールが多いこともあわせ、今後はご意見と提案受付窓口等の集約を検討する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	4	—	事業名	行政改革推進事業	担当部課	総務部 行政課
------	---	---	-----	----------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち			
		分野別項目	5	合理的で効果的な行政運営を行う			
		施策の進め方	1	効率的な行政運営の確立			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 効率的な行政運営の推進と質の高い行政サービスを提供するため、PDCAサイクルに基づく事務改善の取り組みである行政評価を実施するとともに、新たな行政改革の取組方針を検討する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市が行っている事務事業及び職員					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事務事業の改善を行うとともに、職員の意識向上を図る。					
	事業を 構成する 事務事業	① 行政改革事業	改善・見直し	④			
	② 行政評価事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算			
決算							2,694
人件費(B)	千円		決算				4,430
総コスト(A)+(B)	千円		決算				7,124

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 改善が図られた事務事業数	事業		目標				100
				実績				67
	B 休廃止した事務事業数	事業		目標				3
				実績				4
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 行政コスト及び事務事業の適正化を図ることから、「改善・見直し」とした事業数を成果指標とした。

B 行政コストの削減及び事務事業の新陳代謝が図られることから、休廃止した事務事業数を成果指標とした。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・平成27年8月28日付総務省通知「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」により、地方行政サービス改革へのますますの取組が求められている。 ・行政評価のレベルを「事務事業評価」から「施策評価」、「政策評価」に引き上げている事例もある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 行政評価については、継続的に実施していることで制度の浸透を図ることができた。行政改革事業については、過去の行政改革の取組の整理を行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 行政評価については、制度の浸透はある程度図られたため、今後は実効性を高める取り組みが必要である。行政改革事業については、新たな行政改革の取組方針を早期に固め、行政改革指針の策定に着手する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民により分かりやすい行政評価となるよう、行政評価票の見直しを行う。また、行政評価の実効性を高めるため、予算及び政策連動の仕組みの構築を検討する。 行政改革は、実効性のある行政改革の取組となるよう、行政改革の先進的な事例を調査研究するとともに、市が行政改革を行う目的を整理する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	行政改革推進事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	行政改革事業											
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 現状に即した行政改革の取組を進めるため、行政改革指針の策定に着手する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新たな行政改革の取組方針を策定し、行政運営のより一層の適正化を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,601
		決算				1,551

3. 活動推移

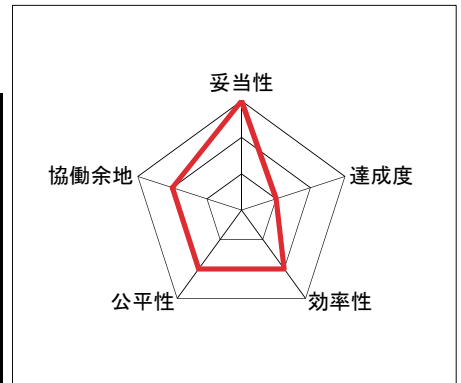
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
推進本部会議の回数	回	目標				2	
		実績				1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年8月28日付総務省通知「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」により、地方行政サービス改革へのますますの取組が求められている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 実効性のある行政改革の取組となるよう、行政改革の先進的な事例を調査研究するとともに、市が行政改革を行う目的を整理する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	行政改革推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	行政評価事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市が行っている事務事業の改善を図るため、事務事業の効果測定を行うとともに今後の方向性を検討する「行政評価」を毎年度実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 事務事業の改善を図り、効率的な行政運営の確立を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,139
		決算				1,143

3. 活動推移

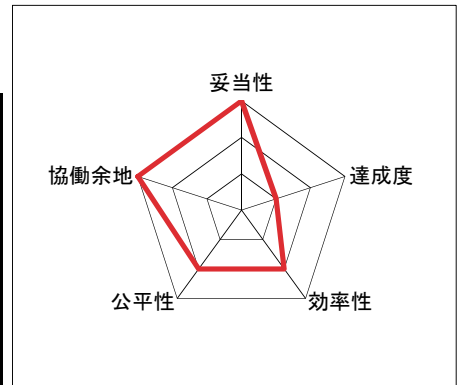
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
外部評価事業数	事業	目標				8	
		実績				8	
改善・見直し事業数	事業	目標				100	
		実績				67	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
本市では「事務事業」を評価事業の対象としているが、先進地では「政策」及び「施策」を行政評価の対象としている例もある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
行政評価をより効果的なものとするため、行政評価票の見直しを行うとともに、行政評価対象事業を選別し直す。また、市民参加を促すため、外部評価の周知方法を再考する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	5	-	事業名	平和行政事業	担当部課	総務部 行政課
------	---	---	-----	--------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	-			
		分野別項目	-			
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成26年9月に行った非核平和都市宣言が市民の心に平和の象徴として刻まれるよう、平和活動に尽力するための啓発及び催事等を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民の平和に対する意識				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦争の悲惨さや平和の尊さを市民が主体となって事業の発案をし、継続していけるように後方支援を行う。				
	事業を構成する事務事業	① 平和行政事業	改善・見直し	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	1,408
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	5,041
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	6,449

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	原爆写真パネル展の観覧者数	人	目標	-	-	-	100
実績				-	-	-	100	
B	中学生広島体験学習事業応募者数	人	目標	-	-	-	60	
			実績	-	-	-	88	
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A パネル展示の観覧者数の増減から、市民の平和行政に関する関心度の高さが判断できる。								
B 体験学習への応募者数の増減から、市民の平和行政に関する関心度の高さが判断できる。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 千葉県我孫子市では、平和事業推進市民会議を設置して協議を重ね、平和事業を推進している。また、東京都小平市においても、市の非核平和事業のあり方について、市民懇談会を設置し、行政との協働により平和事業の推進に取り組んでいる。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成27年度から事業を開始し、目標と実績が同じとなった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 啓発事業が少なく効果に広まりがないため、市民を巻き込んで広く効果的な啓発活動ができるとよい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 例年実施している平和事業を定着させながら、新たに市民で構成する「長久手市平和事業推進委員会」を設置する。市と市民の取組が両輪となり、互いの特性に応じた役割を担うことで、継続性のある平和事業の取組の拡大を図る。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	平和行政事業							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	平和行政事業											
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を対象に、原爆写真パネル展及び中学生広島平和体験学習事業を年一回、終戦記念日前後に実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に語り継ぐことで、市民の平和に対する意識の醸成を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,523
		決算				1,408

3. 活動推移

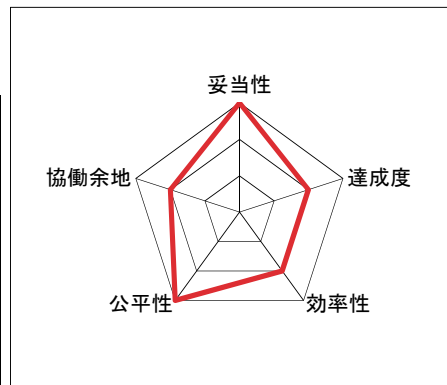
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
原爆写真パネル展の観覧者数	人	目標	-	-	-	100	
		実績	-	-	-	100	
中学生広島体験学習事業応募者数	人	目標	-	-	-	60	
		実績	-	-	-	88	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 非核平和都市宣言を行ったことによって、市民が未来に渡って平和で豊かな暮らしを育くみ、文化的な暮らしを楽しむことができるよう、市民の思いを尊重した事業の取組を推進していく。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 2つの活動について、概ね目標を達成できているが、次年度は市民で構成する「長久手市平和事業推進委員会」を設置し、年間スケジュールや事務事業を見直しながら効果的な事業実施に努める。 また、平和首長会議参加団体等と情報共有し、本市にふさわしい啓発事業を実施する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	6	-	事業名	選挙啓発事業	担当部課	総務部 行政課
------	---	---	-----	--------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	-			
		分野別項目	-			
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議にて通常時及び選挙時の啓発活動について検討し、実施する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の住民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 選挙に対する関心を高め、投票行動につなげる。各種選挙での投票率の向上を図る。				
	事業を構成する事務事業	① 選挙啓発事業	改善・見直し	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	310
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,895
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	4,205

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	当該選挙への投票行動 投票率	%	目標			52.00	46.00
実績					-	-	33.64	33.00
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	同種選挙過去2回の平均投票率により選挙への関心度を測る							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 投票率については、国政選挙や地方選挙において差がある。また、同じ選挙であっても、当時の社会情勢や候補者数によって上下するため判断が難しい面もある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標値に対して、実績は横ばいの状況となっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事務事業は投資的な位置付けではあるが、投票率の向上にもう少し反映できるとよい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 長久手市選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議にて投票率が上がるような啓発方法を模索する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	選挙啓発事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

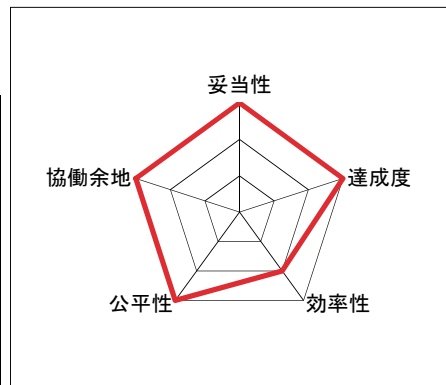
番号	①	事務事業名	選挙啓発事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内の住民を対象に、各種選挙での投票率の向上を図るため期日前投票期間中の選挙啓発活動、明るい選挙啓発ポスター募集、選挙出前トーク等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 当該選挙への投票行動に結び付ける。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				380
		決算				310

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ポスター応募者数	人	目標	50	50	50	50	
		実績	30	52	60	65	
出前トーク開催数	回	目標	1	1	1	1	
		実績	0	2	1	2	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

2つの活動について、近年は目標を達成できているが、次年度はスケジュール等を見直ししながらさらに前進できるよう努める。
また、県と連携し、公職選挙法の定めにより、啓発事業を実施しており、今後も継続した活動が必要と考える。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	7 -	事業名	行政サービスコーナー管理事業	担当部課	総務部 市民課
------	-----	-----	----------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	-			
		分野別項目	-			
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ① 市民課の出先機関としてアピタ長久手店2階に長久手市サービスコーナー（Nピア）を設置している。 ② 住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の交付、市発行の書籍等の販売、文化の家のチケット等の販売及び市等の行事のパンフレットの配布などの情報提供を行っている。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内外の市民等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 仕事などで市役所の開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。年末年始及びアピタ休業日を除き、市役所の閉庁日を含め午前10時から午後7時まで開設しており、開庁時間に来庁することができない市民等も利用することができる。				
	事業を構成する事務事業	① サービスコーナー事業	改善・見直し	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	2,529
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	6,627
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	9,156

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	各種証明書の発行件数及び書籍、チケット等の販売件数	件	目標	12,900	17,500	21,000	17,200
実績	15,550			19,335	15,526	16,150		
B			目標					
実績								
C			目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	人口が増加していることにより申請件数の増加が見込まれる。前年度実績×平均伸率11%(地番変更証明を除く。)							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 日進市:住民票・印鑑証明の交付 瀬戸市・東郷町:住民票・印鑑証明・戸籍謄抄本の交付 豊田市・みよし市:住民票・印鑑証明・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標を達成することが出来なかった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民等にある程度浸透しているが、新たに長久手市に転入して来られた方等に対してのPRが不足している。また、目標設定が現実的ではないため、目標の見直しも必要と考える。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成29年4月から住民票等のコンビニ交付サービス事業を実施する予定としているが、サービスコーナー事業と重複する部分があるため、整理が必要となる。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 行政サービスコーナー管理事業

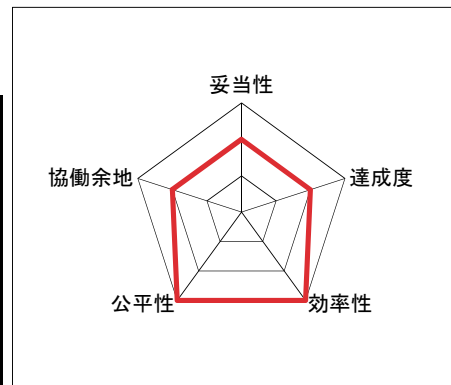
番号	①	事務事業名	サービスコーナー事業										
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内外の市民等に、住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の交付や市発行の書籍等の販売、文化の家のチケット等を販売している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 仕事、所用等で開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,636
		決算				2,529

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
各種証明書の発行件数及び書籍、チケット等の販売件数	件	目標	12,900	17,500	21,000	17,200	
		実績	15,550	19,335	15,526	16,150	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成29年4月から住民票等のコンビニ交付サービス事業を実施する予定としているが、サービスコーナー事業と重複する部分があるため、整理が必要となる。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
マイナンバー制度が開始し、マイナンバー記載の住民票交付等これまで以上に厳格に証明書の交付を行わなければならない。
また、平成29年4月から住民票等のコンビニ交付サービス事業を開始する予定である。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	8	—	事業名	納税普及・啓発事業	担当部課	総務部 収納課
------	---	---	-----	-----------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち		
		分野別項目	7	健全な財政運営を維持する		
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 税金の役割や正しい税の知識の普及を図ることを目的に、小学校高学年対象に租税教室と税に関する書き初めコンクール、中学生対象に税に関する作文コンクールを実施する啓発事業。 ライフスタイルの変化に合わせ様々な納税手段があるなかでも、安全で納期内納付の期待ができる口座振替を推進するために、広報で周知するとともに確定申告時期に合わせて口座振替案内のポケットティッシュを配布し納税意識を高める。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 小中学生及び納税者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 納税意識を高め、納期内納付を徹底し徴収率の向上につなげる。				
	事業を構成する事務事業	① 租税教室	継続	④		
	② 税に関する作文・書き初めコンクール	継続	⑤			
	③ 口座振替推進・PR事務	継続	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	222
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	382
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	604

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	租税教室実施回数	小学校数	目標	—	2	2	2
実績				—	2	2	2	2
B	コンクール参加者数	人	目標	—	960	937	916	916
			実績	960	914	875	961	961
C	広報活動	回	目標	10	10	10	10	10
			実績	10	10	10	10	10
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 税務署職員、税理士の担当もあり、市の担当する小学校数(市役所割り当て校数)								
B 過去参加者の平均参加者数								
C 納期限の回数								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 日進市、東郷町、名古屋市各区
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 毎年恒例な事業となっており、おおむね目標は達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 小中学生に対する納税普及・啓発事業は、成果がすぐには分からないが、安定した公共サービスを行うためには継続的に実施する必要がある。納税手段の多様化により口座振替は、横ばいとなっている。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 納税は、国民の義務であるため、引き続き将来の納税者となる小中学生に税の知識を普及させていく。また、納期内納付に向け口座振替推進PRも続けていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	納税普及・啓発事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

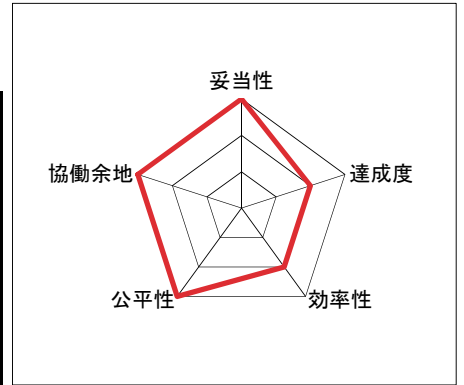
番号	①	事務事業名	租税教室									
----	---	-------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 小学校6年生を対象に税金の役割について租税教育を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 将来の納税者となるべき小学生(6年生対象)に公共サービスに欠かせない税金の役割を理解してもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費	千円	予算				0	
		決算				0	

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
租税教室	校	目標	—	2	2	2	
		実績	—	2	2	2	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平成26年度まで税務課が担当していたが、収納課と税務課資産税係と市民税係で1年ごと持ち回りで実施することになった。小学校での租税教室を受けた児童が、中学生になり作文コンクールの際、作文に授業内容を生かした作品があるため効果が現れている。将来、優良納税者になるように教育機会を充実させて行きたい。市職員以外に税務署職員、税理士が担当する学校もある。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
小学校の協力が不可欠であり、事業実施時間の確保が困難になってきている。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	納税普及・啓発事業							
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	税に関する作文・書き初めコンクール						
----	---	-------	-------------------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 中学生を対象に税金について考えるきっかけとして作文コンクールを実施。小学校5、6年生対象に税に関する書き初めコンクールを実施して、確定申告期間に受賞作品を市役所及びびけ池体育館に展示し啓発活動を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 将来の納税者となるべき小中学生に公共サービスに欠かさない税金の役割を理解してもらうきっかけとする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費	千円	予算				300	
		決算				194	

3. 活動推移

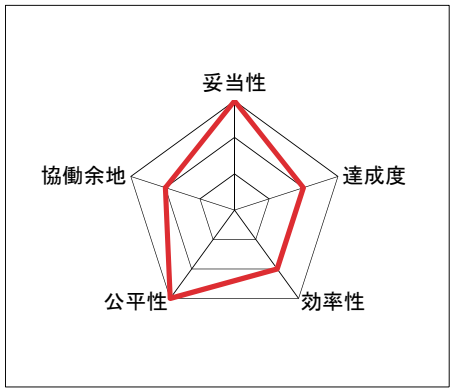
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
作文コンクール	事業	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	
書き初めコンクール	事業	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 児童・生徒の生活環境が、部活や習い事などで忙しくなっているが夏休み・冬休みの時間を使った参加を呼びかける。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 作文コンクールは、国民の義務である納税について、調べたり考えるきっかけになるので、募集要綱を配布する際に税金について分かりやすい資料等を添付するなどして、応募しやすい環境を整えていく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	納税普及・啓発事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	口座振替推進・PR事務									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 納税者に対して広報・ホームページ等で納期内納付を周知するとともに確定申告時期に合わせて口座振替案内のポケットティッシュを配布して納税意識を向上させる。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 納期内納付を徹底する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費	千円	予算				38	
		決算				28	

3. 活動推移

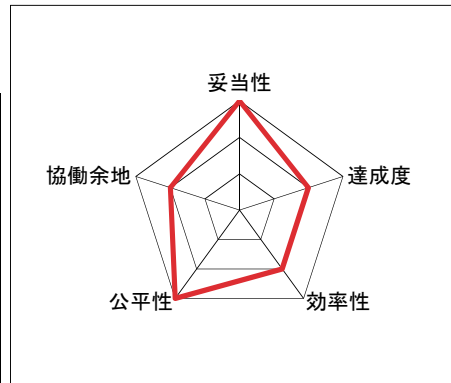
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
納期限広報掲載	回	目標	10	10	10	10	
		実績	10	10	10	10	
口座振替啓発活動	事業	目標	1	1	1	1	
		実績	1	1	1	1	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ライフスタイルの変化に伴い納税手段は多様化してきている。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 銀行・市役所での窓口納付、口座振替、コンビニ納付及びクレジット納付と納税手段の多様化により、口座振替利用は横ばいとなってきているが、納期内納付には有効な納付手段であるため引き続き啓発していく。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	9 -	事業名	男女共同参画推進事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	-----	-----	------------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	6	男女がともに尊重し、協力し合うまちをつくる			
		施策の進め方					
	まちづくり行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～			
		政策分類	25	男女共同参画プランに基づく女性の社会進出の促進			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 男女がともに尊重し合いつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような「男女共同参画社会」の形成を推進することを目的とした以下の事業を実施する。 ・男女共同参画審議会事務事業 ・講座及び講演会 ・啓発事業(標語・川柳募集等) ・男女共同参画推進部会				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 男女が家庭、学校、職場、地域活動等の場に対等な立場で参画し、ともに責任を担い、各人の個性や能力をのびやかに発揮できるようにする。				
	事業を構成する事務事業	① 男女共同参画推進事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							382
人件費(B)		千円	決算				6,110
総コスト(A)+(B)		千円	決算				6,492

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 男女共同参画講座等参加者数	人	目標	-	-	-	180	
			実績	-	-	-	166	
	B 標語・川柳応募作品数	点	目標	-	-	100	360	
			実績	-	88	323	244	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、講座等の予定参加者数を指標とした。								
B 男女共同参画の理念を伝えることを目的とし、応募作品数の予定数を指標とした。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) A: 出前講座2回、講演会1回、定期講座2回、職員部会3回の開催により、166人が参加した。目標に達しなかったが、アンケートによるとこの事業の価値を認識したとの意見が多かったため、一定の成果はあったと考える。B: 事業のPRが十分でなく目標に達しなかったと考えられる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 男女共同参画は、市民に理解されにくい抽象的な理念であるため、より分かりやすく伝えるための事業を実施する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 男女共同参画の理念を分かりやすく伝えるための講演会、講座及び啓発事業を実施する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	男女共同参画推進事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	男女共同参画推進事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民に対し、男女共同参画の理念を伝えるため、講座開催、講演会開催、啓発事業として標語・川柳を募集し表彰する事業等を実施。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 男女が共にその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に共に参画し、その個性と能力を十分に発揮できるような社会の実現を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				469
		決算				382

3. 活動推移

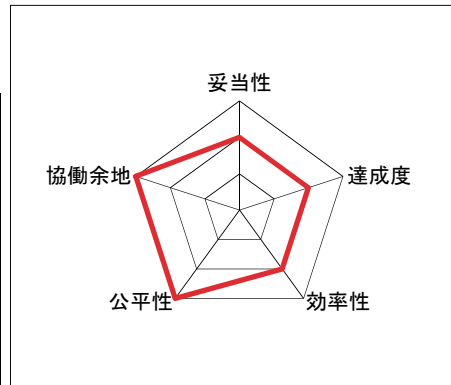
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
男女共同参画講座等参加者数	人	目標	-	-	-	180	
		実績	-	-	-	166	
標語・川柳応募作品数	点	目標	-	-	100	360	
		実績	-	88	323	244	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 女性が職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、平成27年9月に女性活躍推進法が策定された。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 講座、講演会、啓発事業等を継続的に実施していく。応募が増加するようなPRの方法を検討する必要がある。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	10	-	事業名	地域間交流事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	---------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リリモでにぎわい交流するまち			
		分野別項目	10	にぎわいあふれる新たな観光交流を進める			
		施策の進め方	-				
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①市民間及び自治体間の交流を推進する。 ②特に友好提携を結んでいる長野県南木曾町及び兵庫県宝塚市との交流を推進する。 ③自治体間相互訪問 ④本市及び南木曾町施設利用優待制度実施					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民及び自治体					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民間及び自治体間で交流し、相互理解を深める。					
	事業を構成する事務事業	① 地域間交流事業	継続	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	8
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	2,673
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	2,680

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	自治体間相互訪問交流件数	件	目標	-	-	-	5
実績				-	-	-	5	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 両市町と本市との交流の実態を把握するため、行事への招待など、自治体間で職員が相互訪問し交流等をした件数を指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の自治体間交流実施市町：日進市（長野県木祖村、三重県志摩市）、尾張旭市（石川県輪島市）、東郷町（長野県王滝村）
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 交流の数は少ないが、事業への参加が継続できており、目標は達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 当課において市全体の交流の実態を把握できていないため、把握に努める必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 両市町と本市との交流の実態を把握する。交流を継続し、施設相互利用促進だけでなく、市全体で交流を促進するよう周知していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域間交流事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

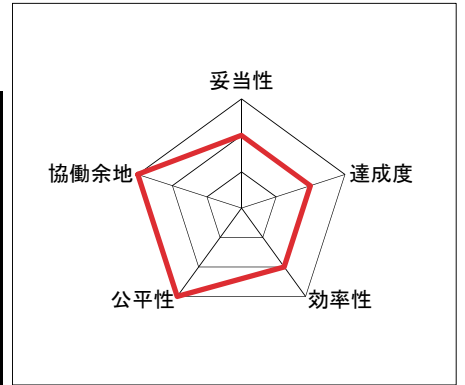
番号	①	事務事業名	地域間交流事業						
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	①市民間及び自治体間の交流を推進する。 ②特に友好提携を結んでいる長野県南木曾町及び兵庫県宝塚市との交流を推進する。 ③自治体間相互訪問 ④本市及び南木曾町施設利用優待制度実施
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民間及び自治体間で交流し、相互理解を深める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				53
		決算				8

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自治体間相互訪問交流件数	件	目標	-	-	-	5	
		実績	-	-	-	5	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

両市町と本市との交流の実態を把握する。交流を継続し、施設相互利用促進だけでなく、市全体で交流を促進するよう周知していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	11	—	事業名	大学連携事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	--------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち				
		分野別項目	3	大学をまちづくりに生かす				
		施策の進め方	-					
	まちづくり行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～				
		政策分類	7	大学連携の推進				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学・地域・市が協働するまちづくりを推進するため次の事業を行う。 ①大学連携推進協議会、大学連携連絡調整会議等の開催及び協議会主催の連携事業の実施 ②大学から提案のあったまちづくり事業への助成(大学連携提案助成金事業) ③大学連携基本計画の策定					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内4大学及び近隣大学、市民、企業及び行政					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学と行政の連携事業の推進体制を確立するとともに、市民が大学、行政と連携した事業に様々な形で身近に参加できるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 大学連携事務事業	継続	④			
	② 大学連携提案助成金事業	改善・見直し	⑤				
	③ 大学連携基本計画策定事業	改善・見直し	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	439
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	7,638
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	8,076

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	大学連携事業実施件数	件	目標	-	40	42	30
実績				37	41	21	39	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 大学と連携した事業をより多く企画、実施できるようにするため、本市における大学連携事業実施件数を成果とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 大学との包括連携協定について近隣の実施市町：瀬戸市(大学コンソーシアム)、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町、みよし市、豊田市
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 大学と連携して事業を実施することについては各課へ浸透しつつあり、毎年新規の事業が報告されている。単年度で終了する事業もあり、件数の増加には結びついていないが、市職員はじめ大学、諸団体や市民の大学連携への意識が高まったこともあり目標は達成された。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 大学と市の相互協力が不可欠だが、十分とは言えないため、大学との連携強化を図る必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 大学連携基本計画策定事業を進め、大学と連携した事業をより多く企画、実施できるようにする。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	大学連携事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

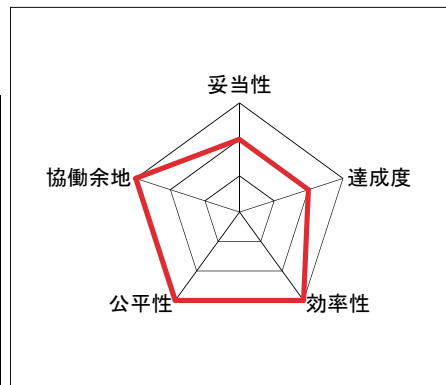
番号	①	事務事業名	大学連携事務事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学連携推進協議会、大学連携連絡調整会議等の開催、学生向けの市長秘書インターンシップ等を実施する。また、大学と市との連携を密にし、情報共有を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市長秘書インターンシップに参加してもらうことで、学生に市政について関心を持ってもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				653
		決算				339

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
協議会及び連絡調整会議実施	回	目標	—	2	6	6	
		実績	—	2	5	4	
市長秘書インターンシップ応募者数	人	目標	—	6	7	7	
		実績	—	6	7	7	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

大学との情報共有をより確実なものにするため、大学連携推進協議会、連絡調整会議を引き続き行い、連携して実施できる事業の検討などを進める。市長秘書インターンシップについては政策秘書課と連携して今後も継続していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

大学との包括連携協定について近隣の実施市町：瀬戸市（大学コンソーシアム）、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町、みよし市、豊田市

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	大学連携事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

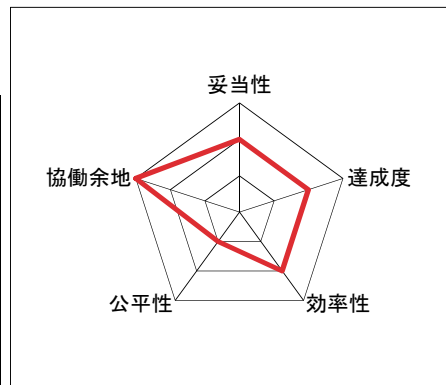
番号	②	事務事業名	大学連携提案助成金事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域課題の解決及び地域の魅力の向上を目的として実施する事業に要する経費の一部又は全部を助成金として行政と連携する大学に対して交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学と行政の協働・連携が強化されることによって、大学の地域課題解決力や魅力を向上させる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	1
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	200
		決算	/	/	/	100

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
提案助成金事業申請件数	件	目標	-	-	-	2	
		実績	-	-	-	1	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

27年度から始まった事業であるため、申請件数が少なかった。事業の進め方や周知方法など内容について検討、変更をしながら、今後も継続していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

助成金等実施状況：大学コンソーシアムせと（大学生によるまちづくり活動応援助成金）、日進市（提案型大学連携協働事業）

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 大学連携事業

番号	③	事務事業名	大学連携基本計画策定事業									
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内4大学をはじめ近隣の大学と連携し、大学・地域・行政が協働するまちづくりを推進するため、今後の方針を定める基本計画を策定する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的に大学連携事業が進められるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				442
		決算				0

3. 活動推移

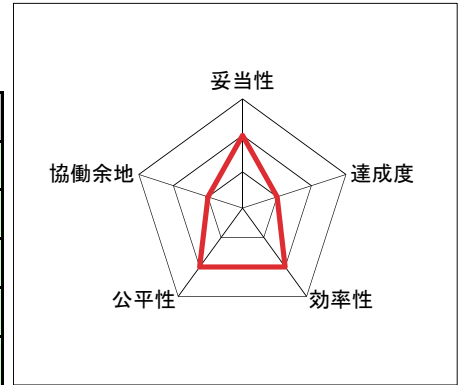
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	2
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
27年度は「リモテラス公益施設基本計画」の中に盛り込んで策定する予定であったが、単独計画として28年度に策定する。
計画策定の当初から大学教員等に関わってほしいため、27年度は大学連携推進協議会を通じて携わっていただく教員等の募集・推薦をお願いした。28年度はその応募者と面談し、学生とのワークショップ等を実施し、計画策定を進めていく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	12	-	事業名	国際化事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	-------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	7	地域全体で国際交流を進める			
		施策の進め方	-				
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内に生活する外国人や留学生と市民との交流を図りながら、次の多文化共生に係る事業を推進する。 ①ベルギー王国ワテルロー市との姉妹都市交流 ②国際交流協会					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流に対する関心、相互理解を深める。					
	事業を構成する事務事業	① 国際化事務事業	継続	④			
	② 国際交流協会補助事業	改善・見直し	⑤				
	③ 姉妹都市事業	改善・見直し	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						8,565
	人件費(B)	千円	決算				9,166
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				17,730

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		A 国際交流協会事業参加者総数	人	目標	-	-	5,000	3,500
	実績			-	-	5,500	4,000	
	B							
	C							
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)							
	A 国際化事業として具体的に市民参加している国際交流協会事業への総参加者数を、その成果指標とする。							
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町: 瀬戸市、日進市、尾張旭市、東郷町、豊明市
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 国際交流協会事業の参加者実績は、H26年度は協会20年記念事業であったため国際交流フェスタ参加者は、約2500人と多かった。H27年度は、会場を文化の家2階部分のみにしたため、約500人となったがそれ以外の事業で500人増加したことから、目標を達成することができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市が行う国際化事務及び姉妹都市事業の明確化をするために、市国際交流協会事務局を分離・独立させる具体的な方策を検討する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市が行う国際化事業の明確化及び市国際交流協会の市から事務局分離独立についてスケジュールを明確化する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	国際化事業						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

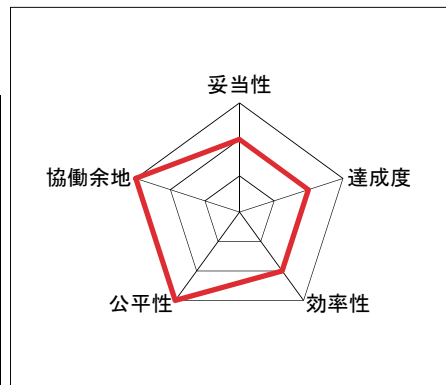
番号	①	事務事業名	国際化事務事業						
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民及び行政が国際交流を行うための、大使館等への出張旅費、表敬訪問対応、国際郵便等の筆耕翻訳国際交流等を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	他団体との交流を通して、国際交流に対する関心、相互理解を深める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				451
		決算				259

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
表敬訪問回数	回	目標	3	3	3	3	
		実績	5	2	1	2	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

表敬訪問等は相手方の都合もあり、一定の回数を継続することは困難であるが、訪問者と継続的に情報交換等を行い、良好な関係を維持する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		国際化事業										
番号	②	事務事業名	国際交流協会補助事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市国際交流協会を、市民、大学、企業と行政とをつなぐパイプ役として位置づけ、協会に対し、事業費を補助する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 協会が自主的・自発的に国際理解や国際協力のために必要な施策を展開できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				4,796
		決算				4,796

3. 活動推移

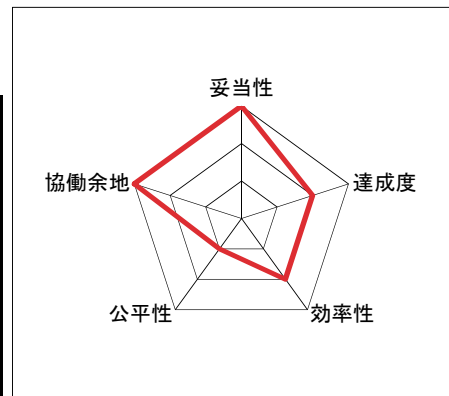
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
国際交流協会個人会員数	人	目標	530	450	460	500	
		実績	452	392	487	421	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 現在、協会事務を市職員が兼職で行っているが、専任の職員を協会で雇用し、より魅力ある国際交流事業を実施していけるよう取組中である。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	1
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後は、長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、協会事業の見直しに合わせて、本事業についても補助額の再検討といった見直しが必要と考える。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	国際化事業									
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

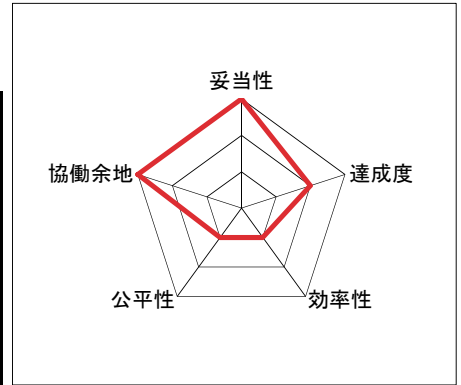
番号	③	事務事業名	姉妹都市事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民及び行政が姉妹都市ベルギー王国ワテルロー市との友好親善を深めるための訪問団相互派遣、国際郵便筆耕翻訳等を行っている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流に対する関心、相互理解を深める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	1
公平性	1
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				4,343
		決算				3,510

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民訪問団応募者数	人	目標	—	20	—	10	
		実績	—	38	—	10	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

今後は、長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、姉妹都市訪問団派遣について、協会と市の事業分担の見直しが必要と考える。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
長久手市国際交流協会の独立を視野に入れ、姉妹都市交流については市事業として実施していく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	13	—	事業名	観光交流推進事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	----------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち		
		分野別項目	10	にぎわいあふれる新たな観光交流を進める		
		施策の進め方	1	魅力の創出		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市観光交流基本計画の理念にのっとり、観光資源の開発、観光交流施設、行事等の紹介、宣伝を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民・観光者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモを基軸としたネットワークで点在する観光資源や歴史的・文化的資源を結ぶことで、新たな観光交流を推進し、魅力あるまちづくりを目指す。				
	事業を構成する事務事業	① 観光PR事業	継続	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	11,860
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	9,394
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	21,254

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	観光者数	千人	目標	2,600	2,700	2,750	3,000
実績				2,655	2,727	2,777	3,231	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 観光客の増加を目的とし、観光者数を成果指標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市観光協会、瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会、豊明市観光協会、みよし市観光協会 平成28年1月に長久手市観光交流協会が独立した。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 補助金を交付している市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行った結果、観光者が増加し、目標値を達成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 観光資源を活用したPRは行っているが、施設間や団体間の連携はあまり出来ていないため、連携する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 観光施設や商工団体、住民団体等との連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行う。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	観光交流推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	観光PR事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市観光交流協会が、市内外での観光イベントでブースを設置し、観光ガイドブックや市内集客施設のパンフレットなどで市の観光PRや交流などを行う事業に対して補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交流を促進し、市の活力と魅力を高める。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				18,000
		決算				11,860

3. 活動推移

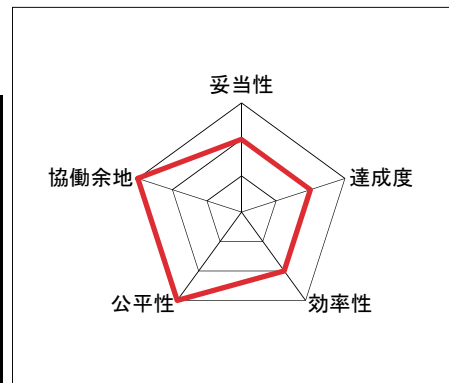
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助金交付	千円	目標	20,000	14,466	13,200	18,000	
		実績	20,000	14,466	13,200	11,860	
観光者数	千人	目標	2,600	2,700	2,750	3,000	
		実績	2,655	2,727	2,777	3,231	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年1月に市から観光交流協会が独立した。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 観光施設、商工団体、住民団体等との連携を強化して、既存の観光資源を最大限に生かしながら、長久手の新たな魅力を創出する人材の発掘、育成を行うため、引き続き協会へ補助金を交付する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	14	—	事業名	商工振興事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	--------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リリモでにぎわい交流するまち			
		分野別項目	9	魅力ある商工業を活発にする			
		施策の進め方	1	商業の振興			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 商業の振興のため、商工会や中小企業への補助を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の中小企業者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 個性的で魅力のある商業の振興を行うことで、地域経済の活性化を目指す。					
	事業を 構成する 事務事業	① 商工事務事業	継続	④			
	② 小規模企業等振興事業	継続	⑤				
	③ 信用保証料補助事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	67,756
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	8,325
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	76,081

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	商工会会員数	人	目標	780	790	800	820
実績				782	796	813	820	
B	銀行への預託金額	千円	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	
			実績	50,000	50,000	50,000	50,000	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 地域の商工業の活性化を目的に、商工会に登録している会員数を指標とする。								
B 銀行が市内中小企業へ融資しやすくすることを目的に、預託金額を指標とする。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町村とも同様の事業を実施している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は達成できた。商工会始め、市内の中小企業に対し補助を行い、商工の振興を行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) PR不足のため、金融機関へチラシや文書で説明するなどの積極的なアピールをする必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 商工業の支援を行うため、積極的なPRを行い、商工会始め、市内の中小企業に対する補助事業を継続する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	商工振興事業							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	商工事務事業												
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市商工会及び地元中小企業を支援するため、補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地元中小企業の活性化

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				19,000
		決算				14,000

3. 活動推移

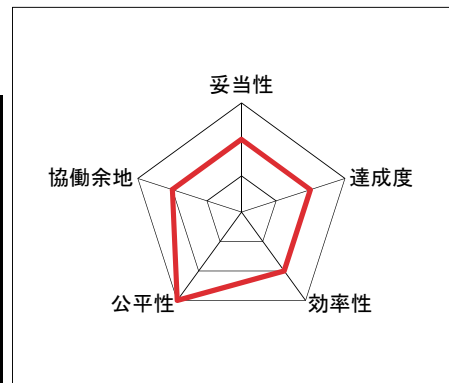
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
商工会補助金	千円	目標	19,000	19,000	19,000	19,000	
		実績	19,000	19,000	19,000	14,000	
経営指導員による指導	回	目標	1,600	1,700	1,800	1,800	
		実績	1,638	1,912	1,723	1,484	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度より商工会主催による納涼まつりを中止した。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
商工会が市内中小企業に対し活性化の手助けをしているため、今後も引き続き補助金を交付し、活動を支援していく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	商工振興事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	小規模企業等振興事業								
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 年間を通して市内中小企業からの随時融資の受付を行うため、市内及び周辺の金融機関と覚書を締結し、預託金制度を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内の中小企業への融資を円滑にする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				50,000
		決算				50,000

3. 活動推移

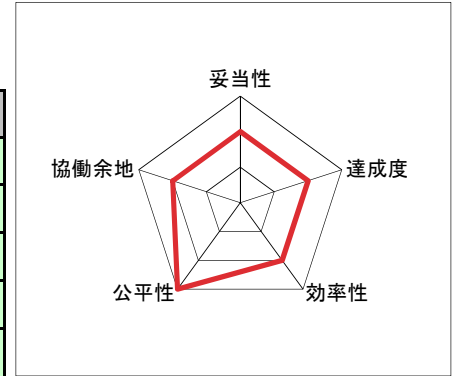
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
融資件数	件	目標	50	50	50	50	
		実績	39	36	34	35	
融資金額	千円	目標	360,000	360,000	360,000	360,000	
		実績	167,250	147,900	124,950	117,556	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 市内中小企業からの需要もあり、金融機関が中小企業に対し融資をしやすくする制度であるため、今後も引き続き行っていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	商工振興事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

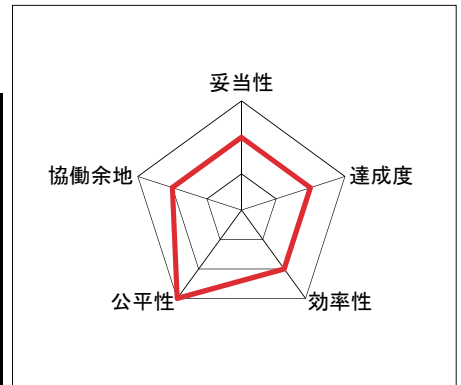
番号	③	事務事業名	信用保証料補助事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 中小企業が融資を受けた際に支払う信用保証料の補助を随時受け付ける。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内の中小企業の負担を軽減する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				4,300
		決算				3,756

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助件数	件	目標	70	70	70	70	
		実績	53	63	46	55	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

各金融機関に積極的にPRする。1件あたりの補助金額が増額傾向にあるため、今後も引き続き事業を実施していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	15	-	事業名	市民まつり事業	担当部課	くらし文化部 たつせがある課
------	----	---	-----	---------	------	----------------

基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ	F1	「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～		
政策分類		8	市民主導型市民まつりの実施			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 行政主導で実施してきた市民まつりを、市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、企業				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域文化及び産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する。				
	事業を構成する事務事業	① 市民まつり事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						2,801
	人件費(B)	千円	決算				7,714
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				10,515

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	市民まつり来場者数	人	目標	16,000	17,000	18,000	17,000
実績				16,000	17,000	12,000	18,000	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A 市民相互のふれあいの場、産業に興味を持つ人に参加・来場してもらうことを目的とし、実際に市民まつりに来場した人数を指標とする。							
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町村も同様のまつりを開催している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 来場者が目標値を上回っており、目標を達成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民まつりへの来場者は増えているが、新しい企画を検討する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、新しい企画の検討を引き続き実行委員会形式で行う。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	市民まつり事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	市民まつり事業									
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域文化、産業の発展・向上を目指すため、市民相互のふれあいの場を創出する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,854
		決算				2,801

3. 活動推移

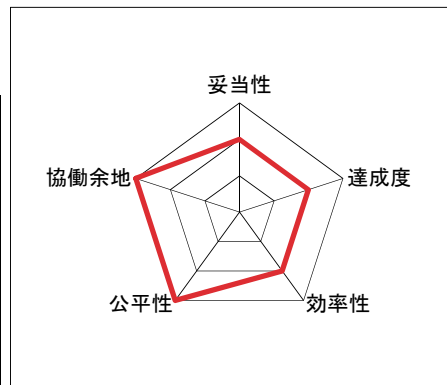
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
実行委員会人数	人	目標	20	20	20	20	
		実績	20	14	12	14	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 市民主体の実行委員会による企画・運営を通じて市民同士の交流や連帯意識が生まれているため、今後も補助金を交付し、実行委員会による開催を引き続き行う。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	16	—	事業名	防災訓練事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	1	災害に強いまちをつくる		
		施策の進め方	2	自主防災意識の向上		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①市民の防災意識を高めるため、企画段階から市民や防災関係機関等に関わっていただき、市内6小学校を会場に市民参加型の避難訓練や避難所運営訓練を行う。 ②市役所は災害対策本部を立ち上げ、会場となる避難所との情報伝達訓練などを行い、市民、関係機関、行政が連携した訓練を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民1人1人が防災意識を高め、関係機関等と連携し、災害時の被害を最小限に抑えること。				
	事業を構成する事務事業	① 防災訓練事業	改善・見直し	④		
				⑤		
				⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							1,128
人件費(B)		千円	決算				14,130
総コスト(A)+(B)		千円	決算				16,292

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 訓練参加者数	人	目標			3,327	3,349	
			実績	—	—	3,349	3,483	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 防災意識の向上を確認するものとして、防災訓練への参加者数の総計。(前年度実績を目標値とする。)								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していたり、ブラインド訓練を実施。日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施。 みよし市では、1つの中学校区で市主導の総合防災訓練を行うほか、その他の地区では自主防災会が中心となり個別に自主的な防災訓練を実施。 岡崎市では、全市一斉の防災訓練を行い、全ての避難所を開設している。また、市民は避難訓練や避難所運営訓練を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成26年度、平成27年度ともに目標を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) より多くの市民が、災害に対する関心を持ち一斉防災訓練に参加してもらえる内容とすることが必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市内一斉防災訓練で、市民の参加者が関心を持てるメニュー(家具の転倒防止の方法、子どもを持つ親の心構え等)、周知方法の充実等を図っていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防災訓練事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

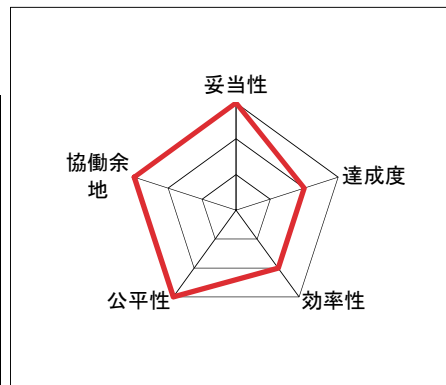
番号	①	事務事業名	防災訓練事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や職員、その他団体等を対象に、防災訓練への参加を促進するために、啓発品等の購入を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民や各種団体、市職員それぞれの立場で防災意識を高め、災害時に応急対応を行うことができるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,034
		決算				1,128

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
訓練参加者数	人	目標			3,327	3,349	
		実績	-	-	3,349	3,483	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

毎年度、訓練参加者へ配付する啓発品の購入を行ってきたが、今後は、啓発品による啓発だけでなく、様々な啓発の方法を検討し、市民にとって関心の高い訓練メニューの作成が必要。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	17	-	事業名	自主防災活動支援事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	------------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	1	災害に強いまちをつくる		
		施策の進め方	1	自主防災組織の確立		
	まちづくり 行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		
		政策分類	49	自主防災用機材の貸与		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①自主防災組織を設立した地区及び設立を目指す地区が行う自主防災活動を支援する。 自主防災組織や自治会等からの防災講習会の申込に基づき、市職員及び防災関連団体(防災ボランティア、日赤、消防団等)を派遣し、各地区で防災講習会を実施する。 ②新たに自主防災組織の設立を目指す地区について、自治会単位での防災講習会または防災訓練を年間3回以上実施、参加者が概ね世帯数の3分の1以上又は30人以上、などの一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 自主防災組織、自治会等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。				
	事業を 構成する 事務事業	① 防災講習会実施事業	拡充	④		
	② 自主防災資機材貸与事業	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							3,215
人件費(B)		千円	決算				10,311
総コスト(A)+(B)		千円	決算				16,726

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 参加者数	人	目標			2,164	2,279	
			実績	-	-	2,279	2,690	
	B 貸与割合	%	目標			100.0	100.0	
			実績	-	-	100.0	100.0	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 防災意識の向上を確認するため、自主防災講習会への参加者数の総計。(前年度実績を目標値とする。)

B 前年度に、倉庫及び資機材貸与の要望があった自治会に対し、実際に貸与した割合。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全国の市町村で同様に自主防災活動の支援を実施している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近年は、参加者数及び組織率について実績値が目標値を上回っているが、今後も引き続き参加者の増加、組織率の向上に向けて事業を実施していく。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 組織率の向上も課題ではあるが、活動の実績がない組織もあるため、継続して活動が出来るよう啓発していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き自主防災活動を援助していきたい。 なお、将来的には、市職員に頼らず講習会を実施できるように防災リーダーの育成などをしていきたい。 防災講習会の実施を促進し、貸与条件を満たす地区を増やすことで今後も組織率の向上を目指す。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	自主防災活動支援事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

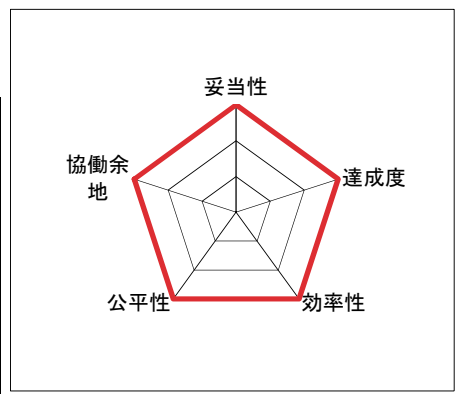
番号	①	事務事業名	防災講習会実施事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 自治会等地元組織を対象に、消防署、消防団等様々な団体との連携を図りながら、防災講習会を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 災害に強い自治組織を育成する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

6. 今後の方向性

拡充

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	人	目標			2,164	2,279	
		実績	-	-	2,279	2,690	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

講習会メニューの充実や、実施していない自治会に対しての啓発方法の検討が必要。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	自主防災活動支援事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

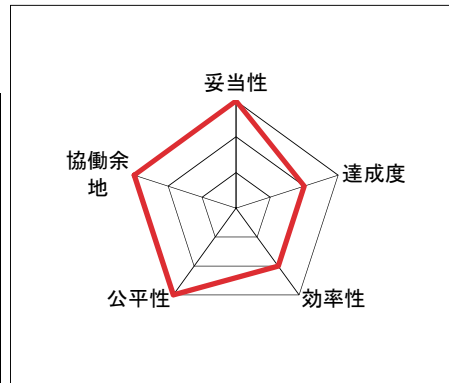
番号	②	事務事業名	自主防災資機材貸与事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 1年間のうちに、1回30人以上の防災講習会を3回実施した自主防災会へ防災倉庫及び防災資機材の貸与を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域における自発的な防災意識の向上。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,200
		決算				3,215

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
貸与割合	%	目標			100.0	100.0	
		実績	-	-	100.0	100.0	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 自主防災倉庫設置後の資機材の自主点検や継続的な活動がなされていない組織があるため、継続的な活動を啓発していく必要がある。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	18	-	事業名	交通安全事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	3	交通安全意識を高める気持ちを育む		
		施策の進め方	2	交通安全啓発の充実		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 交通安全街頭活動及びキャンペーンの実施、並びに高齢者及び自転車利用者等を対象とした交通安全教室の開催等を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識を高め、交通事故のないまちを目指す。				
	事業を構成する事務事業	① 交通安全対策事業	継続	④		
	② 交通安全啓発事業	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算				19,677
			決算				18,554
	人件費(B)	12	決算				3,819
	総コスト(A)+(B)	12	決算				22,373

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 人身事故	件	目標	-	392	408	341	
			実績	404	414	362	345	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 実際に市内で発生した人身事故の件数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 道路交通法の改正により、平成27年6月1日から、交通の危険を生じさせるおそれのある一定の違反行為(危険行為)を反復して行った自転車の運転者に対し、自転車運転者講習制度が始まった。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 人身事故件数は年々減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 高齢者の被害が全体の6割を占めているため、引き続き高齢者の交通安全意識の向上が必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性)	
		より多くの市民に周知できるような啓発方法を模索していく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	交通安全事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

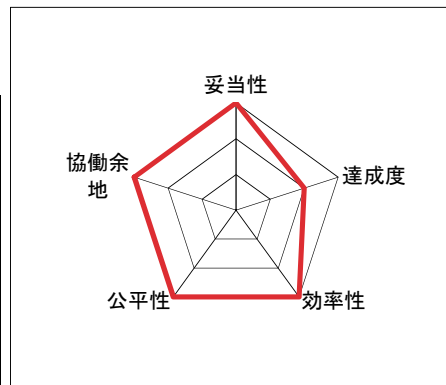
番号	①	事務事業名	交通安全対策事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 交通指導員が学童に対し、交通安全教育、登下校の交通指導や交通安全のための各種啓発活動などを行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識の向上を図る。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				16,284
		決算				15,521

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
交通指導員人数	人	目標	10	10	12	12	
		実績	10	10	12	12	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

交通指導員は、実践的な交通指導を目的としており、その目的のための適正な人員配置は行っていると考えている。そのため、今後も継続して事業を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
交通指導員は、実践的な交通指導を目的として各小学校区に配置しているところだが、最近では、児童の安全確保全般について期待をされていると感じる。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	交通安全事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

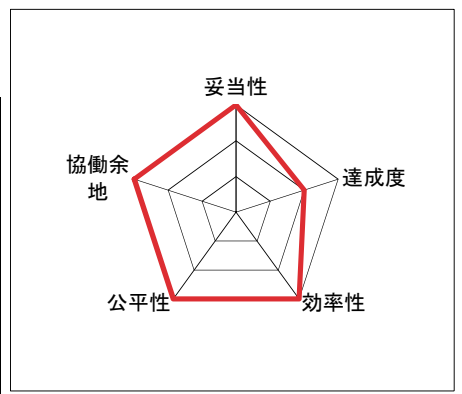
番号	②	事務事業名	交通安全啓発事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を対象に交通安全に関する講習会やキャンペーンを実施する。高齢者の交通事故が多発していることから、シニアクラブや敬老大会においても啓発を実施する。各季の交通安全運動にあわせて街頭にて啓発キャンペーンを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 交通安全意識の向上を図る。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,393
		決算				3,033

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
交通安全講習会開催回数	回	目標			21	21	
		実績			28	33	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
交通事故被害者の約6割を高齢者が占めており、高齢者に対する啓発がより必要となってきている。

6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者に対する啓発について、新たな機会や啓発の方法などについて、検討が必要である。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	19	-	事業名	防犯事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	2	地域の防犯力を高める		
		施策の進め方	1	地域防犯力の向上		
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者及び市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進する。 ②地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、自主防犯団体、自治会等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め犯罪のないまちを目指す。				
	事業を構成する事務事業	① 防犯対策事業	継続	④		
	② 自主防犯活動支援事業	継続	⑤			
	③ 防犯啓発事業	改善・見直し	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算				4,485
			決算				4,632
	人件費(B)	700	決算				4,582
	総コスト(A)+(B)	700	決算				9,214

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 刑法犯認知件数	件	目標	-	950	816	790	
			実績	962	885	900	648	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市内で発生した刑法犯の認知件数								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県内では、高齢者が被害に遭う特殊詐欺が多発している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 刑法犯が約3割減少し、刑法犯認知件数が設定した目標数を下回った。
	事務事業全体を見た課題	総数では減少傾向であるが、犯罪種別でみると住宅対象侵入盗が増加した小学校区もあり、引き続き犯罪発生状況に応じた啓発活動を実施していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) より多くの市民に周知できるような啓発方法を模索していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 防犯事業

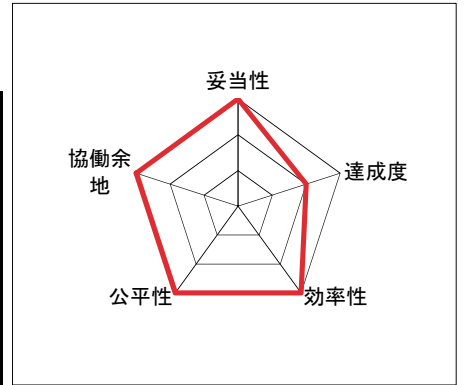
番号	①	事務事業名	防犯対策事業										
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 防犯協会の運営、愛知地区防犯協会連合会への助成を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め、犯罪の少ないまちを目指す。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,280
		決算				1,374

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成額	千円	目標	700	700	700	700	
		実績	700	700	700	700	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も防犯意識向上の啓発のため、継続して助成を行う。

4. 事務事業を取 刑法犯認知件数

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 防犯事業

番号	②	事務事業名	自主防犯活動支援事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自主防犯ボランティア団体を支援することにより、防犯活動を活発にし犯罪のないまちを目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,634
		決算				2,573

3. 活動推移

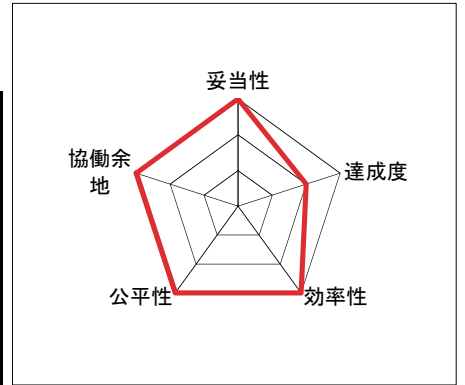
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
自主防犯ボランティア団体数	団体数	目標	—	23	26	27	
		実績	—	25	26	26	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

今後は、自主防犯ボランティアの意見交換の場を設けることや防犯ボランティアリーダーを担う人材の育成などを実施していきたい。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防犯事業									
-----	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	防犯啓発事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防犯意識を高め犯罪のないまちを目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				571
		決算				685

3. 活動推移

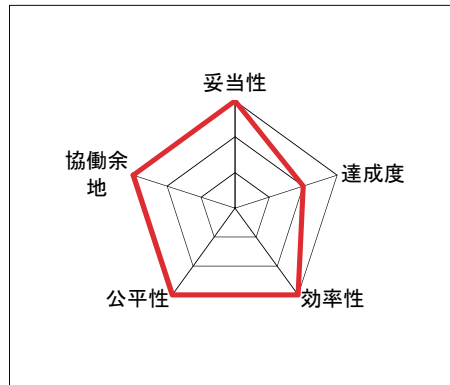
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
防犯講習会回数	回	目標			13	14	
		実績			14	18	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 講習会メニューの充実や実施していない自治会等に対しての啓発方法の検討が必要である。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	20	-	事業名	防犯街路灯事業	担当部課	くらし文化部 安心安全課
------	----	---	-----	---------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	2	地域の防犯力を高める		
		施策の進め方	4	夜間でも安心して歩けるまちづくり		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 防犯街路灯の整備によって、市民生活の安全を守るための環境を整える。防犯施設の充実とともに住民の自主防犯意識高揚をはかることを目的に、市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。				
	事業対象	市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が夜間に安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。				
	事業を構成する事務事業	① 防犯街路灯維持管理事業	継続	④		
	② 防犯街路灯整備事業	継続	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算				22,188
			決算				15,292
	人件費(B)	千円	決算				3,819
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				19,111

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 修繕率	率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
	B 新設率	率	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	
			実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
	C		目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 修繕依頼数に対する修繕数の割合								
B 新設要望があった箇所のうち、基準を満たし新設が決定した箇所に対し、防犯街路灯を新設した割合。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 日進市及び東郷町では、補助金を活用したリースによる防犯街路灯のLED化をすすめている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 修繕、新設とも、目標を達成できた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 近隣市町の動向を見ながら、補助金制度の活用を考え、防犯街路灯のLED化について検討する。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性)	
	区画整理事業区域や民間開発による新興住宅地域に防犯街路灯の新設を順次すすめる。	

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防犯街路灯事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

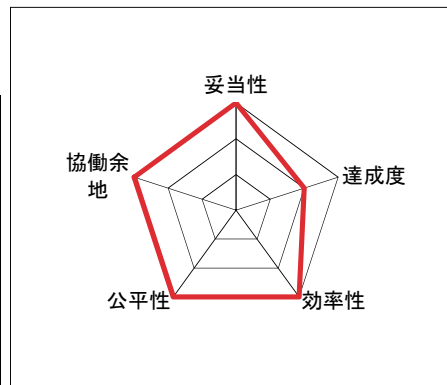
番号	①	事務事業名	防犯街路灯維持管理事業						
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 防犯街路灯の整備によって、市民生活の安全を守るために既設の防犯街路灯の維持管理を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が夜間に安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移 市民が夜間に安心して街を歩ける安全なまちづくり

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				19,936
		決算				13,635

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
修繕率	率	目標	100	100	100	100	
		実績	100	100	100	100	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

防犯街路灯の維持管理を、今まで同様に実施する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防犯街路灯事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

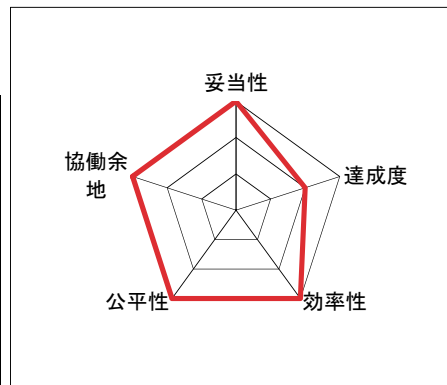
番号	②	事務事業名	防犯街路灯整備事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 防犯街路灯の整備によって、市民生活の安全を守るために、市内の適正箇所に防犯街路灯の維持を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が夜間に安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,252
		決算				1,657

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新設	件	目標	85	79	75	59	
		実績	85	79	75	59	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
区画整理事業区域や民間開発による新興住宅地域への防犯灯新設を順次すすめる。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	21	—	事業名	清掃センター運営事業	担当部課	くらし文化部 環境課
------	----	---	-----	------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(1)	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	(2)	ごみの減量化・資源化を進める		
		施策の進め方	(2)	ながくてエコハウスの活用		
	まちづくり 行程表	フラッグ	—			
		政策分類	—			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品(子ども服、図書等)の回収配布				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。				
	事業を構成する事務事業	① 清掃センター運営事業	改善・見直し	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	7,841
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	5,347
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	13,188

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	ごみの排出量	kg	目標	13,964,579	14,143,575	14,417,031	14,667,599
実績				14,143,010	14,312,769	14,018,403	13,694,272	
B	資源化率	%	目標	26.00	26.90	27.80	28.70	
			実績	25.59	26.25	25.61	26.80	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定								
B 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。資源化するごみの量÷ごみの排出量								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 ・尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 ・瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ごみの排出量は成果指標の目標値を達成できているが、資源化率は学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われることから目標値を達成できていない。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民のエコ意識の高まりとともにエコハウスの駐車場が混雑する。拠点が1か所であるため、遠方の人のニーズに対応できていない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能(品目)の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		清掃センター運営事業										
番号	①	事務事業名	清掃センター運営事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民が清掃センター（エコハウス）を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター（エコハウス）の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品（子ども服、図書等）の回収配布
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				7,385
		決算				7,841

3. 活動推移

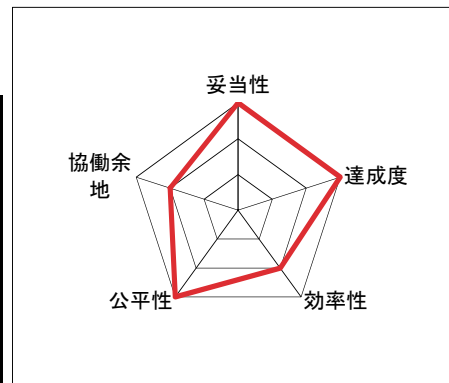
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
資源回収ステーション利用者数	人	目標	10,000	120,000	140,000	150,000	
		実績	97,743	129,057	153,687	165,306	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> 日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能（品目）の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	22	-	事業名	ごみ啓発事業	担当部課	くらし文化部 環境課
------	----	---	-----	--------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(1)	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	(2)	ごみの減量化・資源化を進める		
		施策の進め方	(1)	ごみの減量化・資源化		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ごみ啓発事業として、次のものを実施 ①愛・Nクリーン ②リサイクルマーケット ③環境フェア ④コンポスト等購入補助				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 5R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)に対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。				
	事業を構成する事務事業	①	ごみ啓発事業	改善・見直し	④	
	②			⑤		
	③			⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	2,571
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	5,347
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	7,918

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	ごみの排出量	kg	目標	13,964,579	14,143,575	14,417,031	14,667,599
実績				14,143,010	14,312,769	14,018,403	13,694,272	
B			目標					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 5Rを推進することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市民の5Rに対する関心は高まってきている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標値は達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 学生、単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われる市民に対しての啓発

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	ごみ啓発事業							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	ごみ啓発事業						
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	ごみ啓発事業として、次のものを実施 ①愛・Nクリーン ②リサイクルマーケット ③環境フェア ④コンポスト等購入補助
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 5R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)に対する関心を高め、ごみの減量や分別などのマナーの向上を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,378
		決算				2,571

3. 活動推移

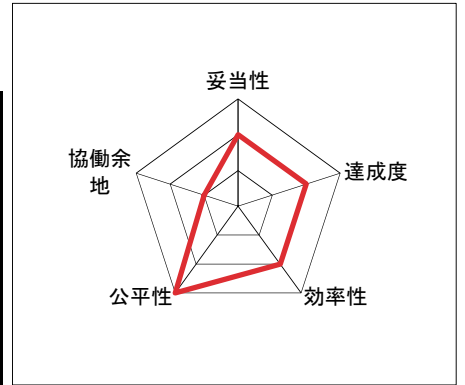
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
愛・Nクリーン参加者数	人	目標	500	500	1,000	1,000	
		実績	442	1,138	1,002	990	
リサイクルマーケット参加者数	人	目標	500	500	500	500	
		実績	約450	約500	約500	約400	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市民の5Rに対する関心は高まってきている。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
大学や学生等と連携して、イベントやゲームを通じて子どもや学生、単身世帯を対象とした啓発事業を行うことで、ごみ減量に対する意識を高めていく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	23	-	事業名	社会教育事務事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える			
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 生涯学習課生涯学習係が分担する事務の総務 ・生涯学習の推進のため、生涯学習情報の提供を目的とした印刷物の作成 ・文化芸術の学習の場の提供として市内の小中学校の開放					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 情報提供や、学習の場・発表の場の充実により、市民が自主的に生涯学習を行えるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 生涯学習情報誌事業	継続	④			
	② 学校開放事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	537
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	2,700
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	3,237

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	生涯学習情報誌発行部数	冊	目標	3,000	3,000	5,000	5,000
実績				3,000	3,000	5,000	5,000	
B	学校開放事業利用人数	人	目標	40	200	250	50	
			実績	45	257	256	6	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 年2回発行。前期+後期冊数。目標根拠: 公共施設への配架数+DM数								
B 学校図書館の開放事業を廃止したため多目的室の利用人数のみ(北中学校及び北小学校) 目標根拠: 前年度実績								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、瀬戸市、日進市、東郷市、みよし市でも生涯学習に関する情報誌を作成している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 情報誌に関しては、前期後期共に退職後世代約1,000名にDMで配布することができた。学校開放事業が1件のみの利用であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 情報誌の内容充実と学校開放事業の周知の徹底。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 生涯学習をとおして他者とつながることができるように、生涯学習を身近に感じる情報提供の充実や学びの場・発表の場の提供を行う。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	社会教育事務事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	生涯学習情報誌事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や、市内講座・ボランティアに参加したい方に各種講座や社会教育関係団体を紹介し、学習情報の充実に努める。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市内講座・ボランティアに参加し積極的に生涯学習に取り組むようにする(特に、定年退職後世代)。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				614
		決算				534

3. 活動推移

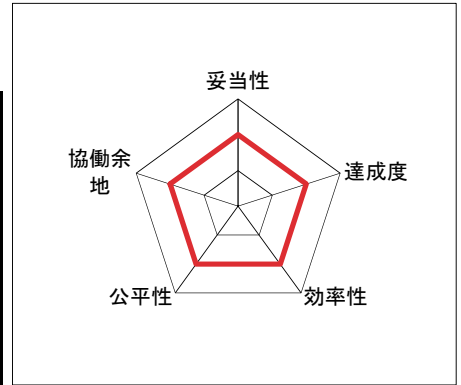
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
生涯学習情報誌発行部数	冊	目標	3,000	3,000	3,000	5,000	
		実績	3,000	3,000	3,000	5,000	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
26年度から、退職後世代を生涯学習へ導く手段の一つとして60歳及び61歳の市民に生涯学習情報誌を配布した。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
定年退職後の世代が、生涯学習を通じて地域へ関わる事ができる環境づくりを進める。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	社会教育事務事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	学校開放事業												
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	土曜日に長久手市立北小学校及び北中学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の文化活動等のために開放する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	学校を生涯学習の場として提供する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				131
		決算				3

3. 活動推移

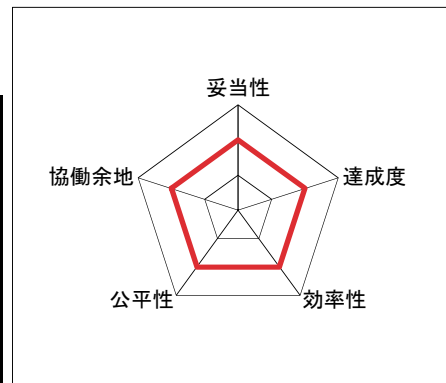
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
学校開放事業利用人数	人	目標	40	200	250	50	50
		実績	45	257	256	6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
北小学校の図書館開放事業を廃止したため、平成27年度から利用人数が少なくなっている。学校開放で北小学校や北中学校が土曜日に開放され利用できると知っている人が少ない。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
学校開放事業を行っている情報が現在、HPのみの掲載であるため、広報紙等で広く周知を図る。学校教育に支障のない範囲で生涯学習の場の提供を行う。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	24	—	事業名	成人式事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	-------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える			
		施策の進め方	2	青少年健全育成体制の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 新成人を主体とした実行委員会が、開催の準備から当日の運営までを企画し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙行する。 式典後は、成人式の参加者を対象に茶話会(アトラクション)を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 原則、市内在住・在学・在勤の新成人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域で仲間づくりや成人としての自覚を持たせ、新成人による手作りの成人式を挙行することで参加率を向上させる。					
	事業を構成する事務事業	① 成人式事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							1,090
人件費(B)		千円	決算				1,452
総コスト(A)+(B)		千円	決算				2,542

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	新成人の参加率	%	目標	69	75	75	75
実績				73.2	69	69	66.13	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 実行委員会形式で新成人が主体的に企画、運営を行い、また成人式への参加を呼びかけ、参加率75%を目標とする。目標根拠: 昨年度実績								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、日進市、北名古屋、みよし市でも実行委員会形式で実施
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成25年度から目標とする参加率を75%としている。平成25・26年度は69%であったが、平成27年度は66%に減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 9月から、南中・長中の各実行委員長を中心に「自分たちで実施する成人式」を目標とし、企画、運営に取り組んできた。現在、文化の家森のホールを会場としているが、ほぼ満席となる。2階席は父兄席としているが、満席になり次第入場を制限するため、会場に入ることができない来場者もある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き、新成人による手作りの成人式を開催する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	成人式事業							
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

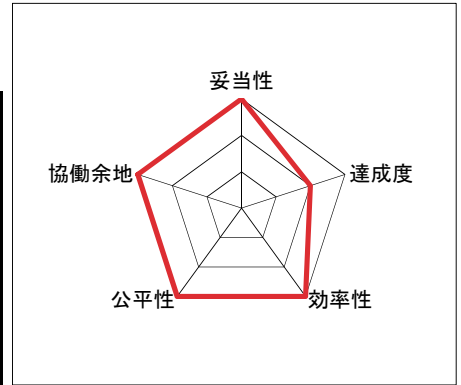
番号	①	事務事業名	成人式事業												
----	---	-------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内在住・在学・在勤の新成人に対し、新成人による実行委員会を設置し、開催の準備をして、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を挙行。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会（アトラクション）を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地域で仲間づくりや成人としての自覚を持たせ、新成人による手作りの成人式を挙行することで参加率を向上させる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,251
		決算				1,090

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新成人の参加者数	人	目標	410	374	464	463	
		実績	397	345	430	408	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

会場変更または父兄席の廃止について検討する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

新成人の人数が増加しており、会場が満席になる。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	25	—	事業名	家庭教育事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える			
		施策の進め方	1	健全な家庭づくりの支援			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内保育園保護者会、幼稚園保護者会及び市内小中学校PTAと市との協働で、講演会、勉強会等を開催し、親子のふれあい、保護者同士の交流や地域の仲間づくりの機会を作る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 保育園保護者会、幼稚園保護者会及び小中学校PTA					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 親子が明るく、楽しい、対話のある家庭を築けるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 家庭教育推進事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	555
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	993
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	1,548

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 幼児期家庭教育推進事業の開催数		回	目標	18	21	21	21
				実績	17	20	19	20
	B 小中学校家庭教育推進事業の開催数		回	目標	16	18	20	20
				実績	17	19	16	19
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 保育園及び幼稚園保護者会が、明るい家庭づくりにつながる事業を主体的かつ計画的に実施することを目標とする(各団体2回以上)。

B 小中学校PTAが明るい家庭づくりにつながる事業を主体的かつ計画的に実施することを目標とする(各団体2回以上)。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、東郷町、みよし市及び豊明市でほぼ同じ内容を実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね目標を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 家庭教育力の低下を招かないように、関係団体の事業の継続性に留意することが重要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 家庭教育力の向上を目指すため、関係団体との連携を継続していく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	家庭教育事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

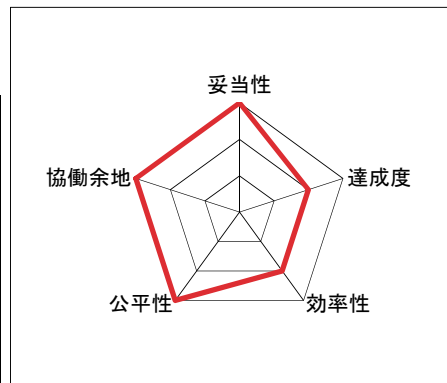
番号	①	事務事業名	家庭教育推進事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 保育園保護者会、幼稚園保護者会及び小中学校PTAに対して、講座、勉強会、講演会、観劇会等の実施事業の講演料の一部を助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 継続的に事業実施できるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				570
		決算				555

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
幼児期家庭教育推進事業の開催数	回	目標	18	21	21	21	
		実績	17	20	19	20	
小中学校家庭教育推進事業の開催数	回	目標	16	18	20	20	
		実績	17	19	16	19	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

家庭教育力の向上を目指すため、関係団体と事業実施のための連携を継続していく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
尾張旭市、東郷町、みよし市及び豊明市でほぼ同じ内容を実施。

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	26	事業名	公民館事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	-----	-------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える		
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援		
	まちづくり行程表	フラッグ	—			
		政策分類	—			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ① 公民館の管理を行う。 ② 公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公民館：公民館利用者(市外の方も可) 講座：市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によって市外の方も可)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民及び公民館利用者の居場所づくり及び仲間づくりを支援する。				
	事業を構成する事務事業	① 公民館施設管理事業	継続	④		
		② ながくて・学び・アイ講座事業	継続	⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							3,685
人件費(B)	千円	決算					5,042
総コスト(A)+(B)	千円	決算					8,727

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 公民館利用者数	人	目標	47,000	47,000	52,000	57,000	
			実績	46,421	51,034	56,073	54,040	
	B 受講生募集講座数に対する開講講座の割合	%	目標	50	55	65	85	
実績			53	64	84	69		
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 目標は、前年度利用者数から1000の単位で繰り上げ

B 市民のニーズに合った講座を受講生募集可能講座とし、開講可能講座数の充足を目標とする。(開講決定講座/募集講座)目標は前年度実績を参考に決定する。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の尾張旭市、瀬戸市、日進市、豊明市で講師募集型講座を実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成26年度に比較し、講座の開講数及びサークルの立ち上げが目標を下回ったため、公民館利用者も減少した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 受動的に講座に参加するという考えでなく、「講師と受講生がお互いに学びあう」ことを意識し、公民館で生涯学習講座を開講することから目標達成の難しさがある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。また、講座に参加してもらう、生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座終了後も自主的にサークルを立ち上げ活動できるよう講座を行っているうちから学習サークルの設立案内等行う。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公民館事業									
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

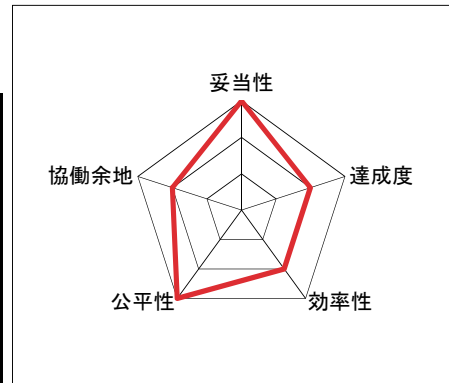
番号	①	事務事業名	公民館施設管理事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民及び公民館利用者にとって、交流や学びの場となる公民館の管理・運営を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民及び公民館利用者の居場所づくり仲間づくりとなる施設の運営を行う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,256
		決算				3,125

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
公民館利用者数	人	目標	47,000	47,000	52,000	57,000	
		実績	46,421	51,034	56,073	54,040	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

地域の生涯学習の場である公民館を適切に管理する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
消費税増税に伴う使用料の改定

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	公民館事業									
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	ながくて・学び・アイ講座事業								
----	---	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によっては一定期日までに募集定員に満たなければ市外の方も可)を対象に公民館において、市民が興味を持つ講座を開講する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が受講生として学ぶだけでなく、講師として教えるながくて・学び・アイ講座をとおして居場所づくり・仲間づくりの場を提供する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				696
		決算				560

3. 活動推移

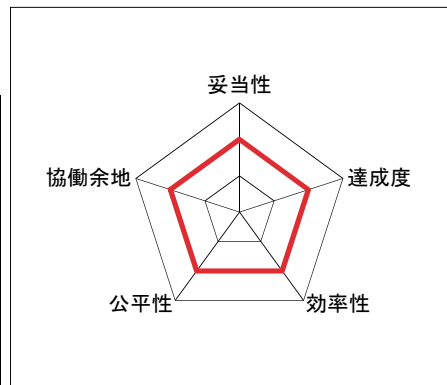
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
チラシ配布枚数	枚	目標	1,000	1,260	3,000	4,500	
		実績	1,000	1,260	3,000	4,500	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成26年度に比較し、講座の開講数もサークルの立ち上げも少なかった。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 講座に参加するしてもらうことで、生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとし、講座終了後も自主的に学習サークルを立ち上げ活動できるよう講座を行っているうちからサークルの設立案内等行う。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	27 -	事業名	生涯学習推進事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	------	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える			
		施策の進め方	1	自主的な学習の支援			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市公民館講座において、第二次長久手市生涯学習基本構想に基づき、ながくて市民大学及び長久手主催の講座を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住、在勤、在学の方(ただし、講座によっては市外の方も可)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公民館において講座を開催することにより、市民が集まり交流するきっかけづくりを行う。					
	事業を構成する事務事業	① 公民館講座事業	継続	④			
	② 大学連携講座事業	継続	⑤				
	③ ながくて市民大学事業	改善・見直し	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	616
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	2,979
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	3,595

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	募集定員に対する申込者の割合	%	目標	85	75	80	85
実績				75	79	86	56	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	交流のきっかけ作りを目的としているため、申込者の割合を目標とする。目標根拠:昨年度実績 講座申込者数/募集定員 ①44+②46+③17/①70+②90+③30=56%							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 市内に点在する史跡を巡る講座や市内の大学と連携した講座など、地域の資源を生かした講座を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 募集定員に対する申込者の割合が減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 募集定員に対する申込者の割合が減少している。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公共施設に設置するチラシや回覧の活用等広報の仕方を検討する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

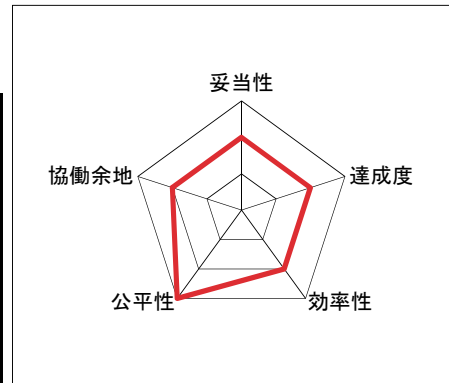
番号	①	事務事業名	公民館講座事業					
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方を対象に、各種講座を実施し、参加者同士が交流しながら楽しく学ぶ機会を提供する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	生涯学習への関心を高め、交流する楽しさを知らせてもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				167
		決算				188

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
募集講座数	講座	目標	10	8	9	4	
		実績	10	8	9	4	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
市民のより自主的な生涯学習の推進のため、ながくて・学び・アイ講座で開講が可能であると思われる内容の講座は、公民館講座では行わないこととする。

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、講座の内容についての見直しと広報の仕方を検討する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	大学連携講座事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市と大学が連携することで、大学における専門的な知識を市民に伝えとともに、研究成果を社会へ還元する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 大学における専門的な知識を学ぶことで生涯学習への関心を深め、交流を活発化させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				12
		決算				12

3. 活動推移

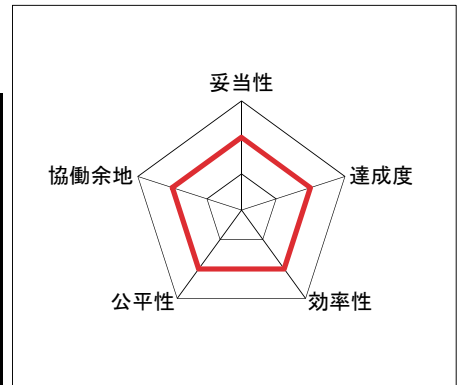
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
講座回数	回	目標	4	4	4	6	
		実績	4	4	4	6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県立大学 1 件、愛知淑徳大学 2 件連携。 分野は歴史・文学・男女共同。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 歴史や文学に関する分野で連携を依頼する。 また、募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、広報の仕方を検討する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生涯学習推進事業										
番号	③	事務事業名	ながくて市民大学事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 退職後の世代を対象とし、生涯学習へ導くための具体的な事業として「市民大学」を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者のいきがいと居場所を提供する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				420
		決算				416

3. 活動推移

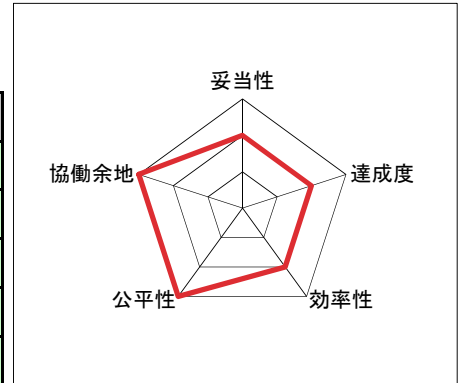
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
チラシ配布枚数	枚	目標			900	1,800	
		実績			900	1,800	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年度からエルダー塾専門コースを実施。前年度受講生26人の内12人の継続参加があった。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 募集定員に対する申込者の割合が減少しているため、広報の仕方を検討する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	28	—	事業名	社会教育団体補助事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	------------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する			
		施策の進め方	—				
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民による社会教育団体が行う社会教育事業に要する経費に対し、予算の範囲内において交付する 長久手市文化協会700千円、長久手市小中学校PTA連絡協議会815千円、日本ボーイスカウト愛知連盟長久手第1団 50千円、長久手市郷土史研究会200千円					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の社会教育団体					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民団体の活発な活動を促進する。					
	事業を 構成する 事務事業	① 社会教育団体補助事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算	/	/	/
決算				/	/	/	1,765
人件費(B)	千円		決算	/	/	/	2,674
総コスト(A)+(B)	千円		決算	/	/	/	4,439

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	団体会員数	人	目標	5,020	5,100	5,200	5,300
実績				5,051	-	5,235	5,354	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市民団体の社会教育活動により会員数を増やしていくことを目標とする。(年間およそ100人)								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町もほぼ同様に実施
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近年は目標を達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 各市民団体は自主的に事業を実施している。事業内容について、補助金額が妥当であるか、過不足がないかを実績報告による適正化の必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 補助金申請及び実績報告について、事業が適正になされているかを審査していく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	社会教育団体補助事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	社会教育団体補助事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 社会教育団体から申請された事業内容等を審査し、補助金を交付。事業実施後に実績報告を受け、内容を審査し、適正な補助金の活用を確認している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民団体が行う社会教育のための自主的な事業を支援することで活発な活動を促進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,765
		決算				1,765

3. 活動推移

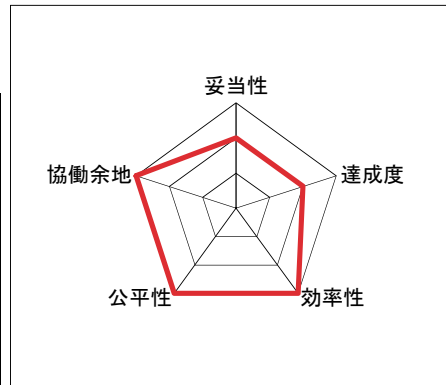
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
審査回数	回	目標	2	2	2	2	
		実績	2	2	2	2	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
近年は目標は達成できており、各市民団体は自主的に事業を実施している。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	29	—	事業名	青少年健全育成事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	-----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	3	輝きを持った青少年の育成を支える			
		施策の進め方	3	青少年が個性を発揮できる活動の機会づくり			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 青少年の身近なことを題材にした作文を募集する。審査の結果、優秀と認められる作品を表彰し、優秀作品集としてまとめる。作品集は、中学校へ配布する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内中学校2年生					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年の社会性、自主性を養い、健全育成を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 青少年健全育成作文コンクール事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	144
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	1,223
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	1,367

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 青少年健全育成作文コンクール作品応募数		点	目標	489	495	503	554
実績				449	201	197	27	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	市内各中学校の生徒数							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県等の主催する事業で、県内のほとんどの自治体が参加している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近年の状況は芳しくない。29年度の実績向上に向けて、市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 継続的に市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性、物事を論理的に考える力や自らの主張を相手に正しく理解してもらう力などを身に付けるための契機とするため、継続的に市内各中学校に積極的な参加を呼びかけていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	青少年健全育成事業										
番号	①	事務事業名	青少年健全育成作文コンクール事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内中学校2年生に対して、愛知県等が主催する青少年健全育成にかかる作文コンクールの募集作品を募集する形で実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年の社会性、自主性を養い、健全育成を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				231
		決算				144

3. 活動推移

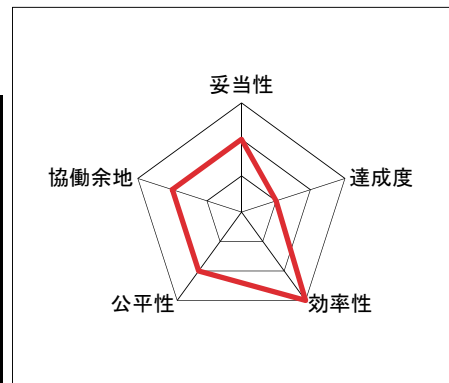
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青少年健全育成作文コンクール作品応募数	点	目標	489	495	503	554	
		実績	449	201	197	27	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県等の主催する事業で、県内のほとんどの自治体に参加している。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	3
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 事業については、愛知県等からの依頼により実施している事業であるため、硬直的（当市が主体的に変化をつけるものではない）である。そのため、募集方法について、中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けるための契機となるという事業趣旨を、継続的に市内各中学校に伝え、積極的な参加を呼びかけていく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	30	-	事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	-----------------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する			
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①長久手の戦いに関する資料や市の民俗資料を展示する郷土資料室と和弓場からなる古戦場野外活動施設を適正に管理運営し、長久手の文化財や歴史の紹介を行う。 ②郷土資料室等の施設の維持管理を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 野外活動施設を訪れる市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多くの人に訪れてもらい、施設の利用を増やす。					
	事業を構成する事務事業	① 古戦場野外活動施設管理運営事業	改善・見直し	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	8,445
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,285
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	11,730

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	1日あたりの利用者数(利用者数/開室日数)	人	目標	130	130	130	130
			実績	126	112	114	107	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	過去4年の実績平均よりも、1日あたりの来場者増加を目標とする。							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町が類似施設を設置
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 古戦場桜まつり開催日が雨天だったこともあり、目標値に至らず、利用者数が前年度実績より減少している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 施設の適正な管理運営に加え、古戦場公園再整備事業において、市民のニーズを踏まえた施設を整備する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 利用者増加に向けた施設の適正な管理運営及び古戦場のPRについて検討する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業									
-----	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	古戦場野外活動施設管理運営事業									
----	---	-------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 野外活動施設を訪れる市民に対し、郷土資料室の運営を適切に行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多くの人に訪れてもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				9,376
		決算				8,445

3. 活動推移

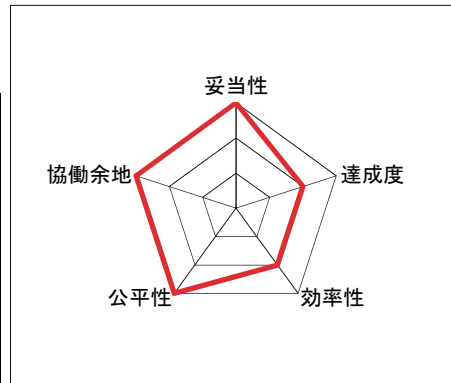
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
古戦場野外活動施設運営委員会開催回数	回	目標	2	2	2	2	
		実績	1	1	2	1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 郷土資料室特別展で合戦のPRを行うなど、利用者増加に向けた取組を行う。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	31	—	事業名	色金山歴史公園管理運営事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	---------------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する			
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承			
	まちづくり 行程表	フラッグ	3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～			
		政策分類	64	地域文化活動の支援			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①文化協会と協働で毎月茶会を開催し、茶道に親しむ機会をつくる。 ②色金山歴史公園茶室管理棟の維持管理をするとともに、胡牀庵、和室の貸出しや立礼席での抹茶サービスを提供する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 色金山歴史公園茶室の利用者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 施設の利用者を増やす。					
	事業を構成する事務事業	① 色金山茶会	継続	④			
	② 色金山歴史公園茶室管理棟運営事業	継続	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						7,960
	人件費(B)	千円	決算				5,186
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				13,146

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	1日あたりの利用者数	人	目標	33	40	39	43
実績				38	37	41	38	
B		目標						
		実績						
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年の1日あたりの利用者数(利用者数/開室日数)×1.05(H24～H26の伸び率の平均)								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市(瀬戸市文化センター)、尾張旭市(旭城)、モリコロパーク、愛知県陶磁美術館
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近年は目標を達成できている。次年度は、茶会の開催形態等を見直ししながら、さらに達成できるよう努める。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 10月の色金山茶会は現在、文化協会への委託事業として開催しているが、今後、文化協会の自主性、主体性が活かされていない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も公園、茶室の庭園等の維持管理、景観の美化を図りながら、さらに利用者数を増加できるよう努める。 また、10月の色金山茶会については、現在、文化協会への委託事業として開催しているが、今後、文化協会が自主的、主体的に開催できるような仕組みづくりに取り組む。
--------	---

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	色金山歴史公園管理運営事業					
-----	---------------	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	色金山茶会					
----	---	-------	-------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 色金山歴史公園で、文化協会と協働して毎月茶会を開催し、茶道に親しむ機会を作る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 色金山歴史公園をPRし、茶会への参加者を増加させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				645
		決算				617

3. 活動推移

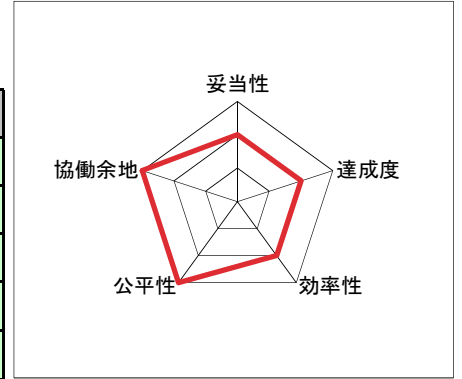
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1回あたりの参加者数（文化協会協働茶会）	人	目標	60	60	60	60	
		実績	60	57	51	67	
参加者数（10月色金山茶会）	人	目標	300	300	300	300	
		実績	237	296	271	335	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 2つの活動指標（茶会）について、近年は目標を達成できている。次年度は、茶会の開催形態等を見直しながら、さらに前進できるよう努める。 また、10月の色金山茶会については、現在、文化協会への委託事業として開催しているが、今後、文化協会が自主的、主体的に開催できるような仕組みづくりに取り組む。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	色金山歴史公園管理運営事業							
-----	---------------	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	色金山歴史公園茶室管理棟運営事業					
----	---	-------	------------------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 色金山歴史公園茶室の利用者に対して維持管理が行き届いた色金山歴史公園茶室を提供し、胡牀庵・和室の貸出しや立礼席で抹茶サービスを提供することで、利用者の増加を図る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 色金山歴史公園茶室の利用者の増加につなげる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				7,692
		決算				7,343

3. 活動推移

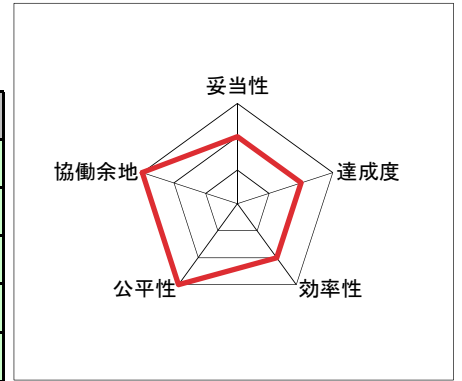
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1日あたりの管理棟利用者数	人	目標	33	40	39	43	
		実績	38	37	41	38	
1日あたりの抹茶の利用者数	人	目標	30	30	30	30	
		実績	28	25	30	29	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 2つの活動指標について、近年は目標に近い数値になっている。今後も公園、茶室の庭園等の維持管理及び景観の美化を図りながら、目標が達成できるように努める。

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	32	事業名	古戦場桜まつり事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	-----	-----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する			
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承			
	まちづくり行程表	フラッグ	3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～			
		政策分類	64	地域文化活動の支援			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①国指定史跡のある古戦場公園で、来場者が地域の歴史に触れ、交流する場を提供する。 ②市民による参加団体が構成する実行委員会が主体的に古戦場桜まつりを開催する。 ③広く市の史跡及び観光PRを行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、団体等				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 史跡PRのため、多くの人に訪れてもらう。				
	事業を構成する事務事業	① 古戦場桜まつり事業	改善・見直し	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							2,512
人件費(B)	千円	決算					2,903
総コスト(A)+(B)	千円	決算					5,415

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	来場者数	人	目標	9,000	9,000	8,500	8,500
実績				8,000	8,000	8,000	5,000	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A より多くの方に来場してもらうため、前年度実績からの増加を目標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：日進市(岩崎城春まつり(主催：日進市商工会))、尾張旭市(城山公園さくらまつり(主催：尾張旭まつり実行委員会、運営：尾張旭市観光協会))
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 開催日が雨天だったこともあり、目標値には至らなかった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 魅力あるまつりの企画に注力しているが、開催日の天候や桜の開花状況による来場者数の増減について判断が難しい面がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民参加による古戦場桜まつり実行委員会の主催(H25年度より移行)により、市民主体で開催している。目標値を目指し、実行委員会でより魅力あるまつりを開催していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 古戦場桜まつり事業

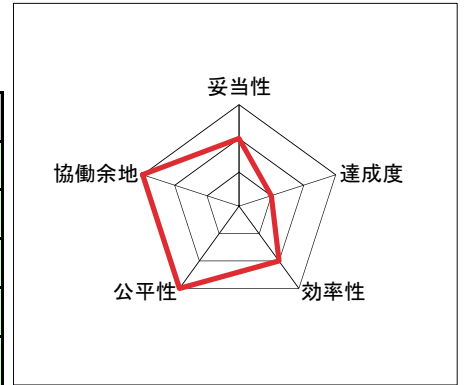
番号	①	事務事業名	古戦場桜まつり事業										
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 古戦場桜まつりに訪れる人と市民に対し、古戦場公園で古戦場桜まつりを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,565
		決算				2,512

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
実行委員会開催回数	回	目標	-	4	4	5	
		実績	-	4	4	5	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
古戦場桜まつり実行委員会において、来場者数を増加できるように、より魅力あるまつりの開催を検討し、実行委員で役割を分担することで、より効率性を高めてまつりを運営する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	33	—	事業名	学校開放事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	--------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち		
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める		
		施策の進め方	(3)	スポーツ振興体制の強化		
	まちづくり行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市立小中学校の体育館及び運動場を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ及びレクリエーションに開放する				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(市内在住、在勤、在学の方で構成されている10人以上の登録チーム)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が生涯にわたりスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。				
	事業を構成する事務事業	① 学校開放事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							2,045
人件費(B)	千円	決算					2,825
総コスト(A)+(B)	千円	決算					4,870

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 利用率	%	目標	—	—	85.0	85.0	
			実績	—	—	74.9	73.6	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A より利用率を高めることを目標とし、過去5年間の利用率平均+5%を目指す。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市において実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標の利用率85%に対して、実績は73.6%であった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 学校開放事業は、おもにスポーツ少年団の利用が多く、一般市民グループの利用が低い傾向がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 杖ヶ池体育館に「学校開放事業の利用の仕方」などの掲示板を設置して市民に対するPRを行い、利用率の向上を目指す。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	学校開放事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

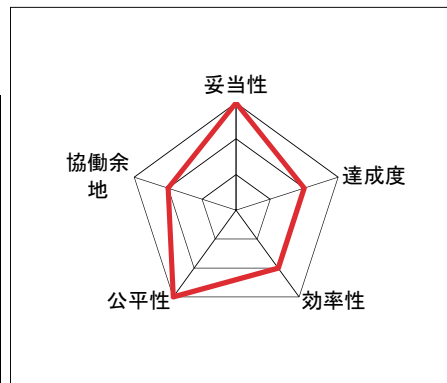
番号	①	事務事業名	学校開放事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民（市内在住、在勤、在学の方で構成されている10人以上の登録チーム） 市立小中学校の体育館及び運動場を学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ及びレクリエーションに開放するもの
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が生涯にわたるスポーツに親しみ、健康と体力の維持増進を図ることを目的とする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,691
		決算				2,045

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	目標	—	—	85.0	85.0	
		実績	—	—	74.9	73.6	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

杵ヶ池体育館に「利用の仕方」などの掲示板を設置して、市民に対するPRを行い利用率の向上を目指す。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	34	—	事業名	地域社会体育事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める			
		施策の進め方	(1)	スポーツ活動の推進			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 軽スポーツやファミリースポーツの普及およびレクリエーションスポーツ等の開催 年齢層にふさわしいスポーツ教室や健康づくり教室の開催や場の提供 競技スポーツの推進					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学者を含む)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が参加できるスポーツ種目の増加を図り、市民の健康意識の向上や家庭、地域の交流を推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 社会体育事業	継続	④ 学校プール開放事業	継続		
	② マラソン大会事業	継続	⑤ 愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業	継続			
	③ 文化スポーツクラブ事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	11,121
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,436
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	14,557

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	各事業の参加者数の平均増加率	%	目標	—	—	—	3.0
実績				—	—	—	▲ 4.3	
B	市部門の順位向上	位	目標	—	—	35	32	
			実績	—	—	33	29	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 各事業の前年度の参加者数の平均増加率+3%を目指す。								
B 愛知万博記念市町村対抗駅伝大会の市部門の順位向上を目指す。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 少子高齢化の進展に伴い、今後は健康をキーワードとした本市スポーツ行政のあり方を検討していく必要がある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 3%増加の目標に対して、4.3%の減少であった。 また愛知駅伝に関しては、目標を上回る順位を確保できた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 漫然と前年度事業を踏襲するのではなく、市民ニーズを的確に把握する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今年度にも本市の地域スポーツに関する今後の方向性を検討していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域社会体育事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	社会体育事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学の方に、市内のスポーツ施設を使用し、スポーツ教室を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,162
		決算				2,887

3. 活動推移

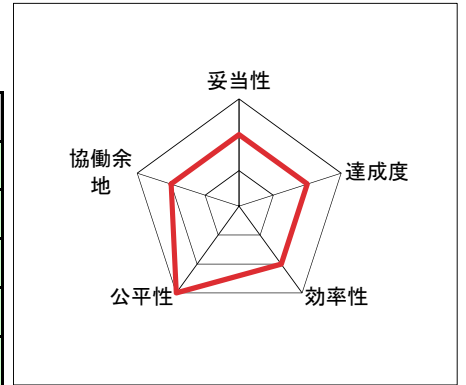
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
申込率	%	目標	—	—	100.0	100.0	
		実績	—	—	82.2	83.8	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 杵ヶ池体育館内に「スポーツ教室」の応募状況などが確認できる掲示板を設置して、使用者に対するPRを行い参加率の向上を目指す。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域社会体育事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

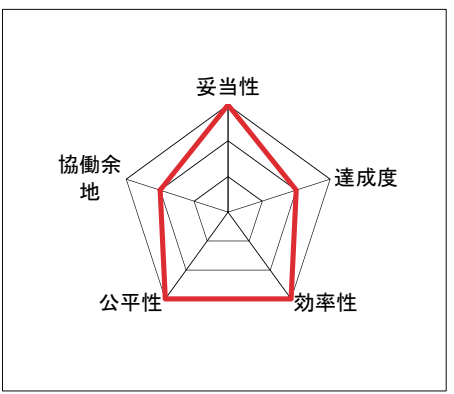
番号	②	事務事業名	マラソン大会事業											
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 走ることが好きな人を対象に愛・地球博記念公園を使用して新春ふれあいマラソン大会を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) スポーツを楽しむことで、健康で元気な生活を送れるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				777
		決算				747

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	人	目標	—	—	1,470	1,540	
		実績	—	—	1,153	1,189	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成27年度までは会場の関係でコースが変わったが、今後は、現在のコースを継続して使用することとする。

6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後の方向性としては継続としますが、以下の3つにも取り組む。 1 杣ヶ池体育館内に掲示板などを新たに設置して案内する。 2 新しく始まる、健康マイレージ事業と連携しチラシ等で早めに案内する。 3 新たにコスプレ賞などを導入する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域社会体育事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

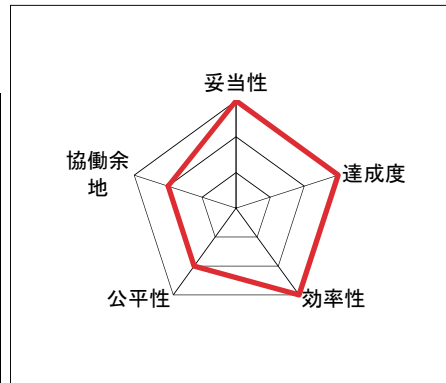
番号	③	事務事業名	文化スポーツクラブ事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 学校週5日制を契機に、児童生徒の学校部活動を地域や行政と共に支援するもの(外部指導者、指導手当の予算化、大会の開催等)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 土日祝日を児童生徒が有意義に過ごせるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				5,405
		決算				5,402

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
指導者数	人	目標	—	—	85	85	
		実績	—	—	85	107	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
部活動顧問の負担増に伴う、今後の部活動のあり方を地域も交えて検討する必要がある。

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
当初は総合型地域スポーツクラブ設立の体制が整うまでの間の事業として進めてきた経過があるので、これらの整理を進めていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域社会体育事業										
番号	④	事務事業名	学校プール開放事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内外の者に8月の夏休み期間中に長久手小学校のプールを開放する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康増進と体力づくりの場を提供するという観点から、自主的なスポーツ活動に取り組んでもらう。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,213
		決算				1,965

3. 活動推移

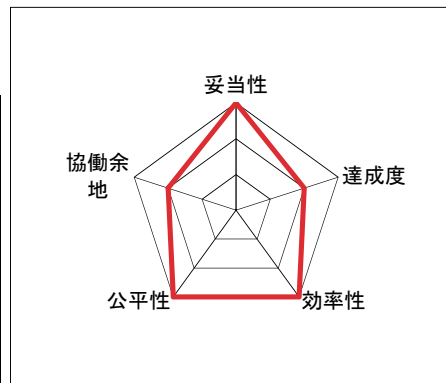
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	人	目標	—	—	2,350	2,300	
		実績	—	—	1,557	1,424	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年度までは長久手小学校1校での開催だったが、平成28年度からは、長久手小学校と南小学校の2校にて開催する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 学校施設開放事業は、本市のスポーツ振興の大きな柱であり、市民へのPRも含めて積極的に取り組んでいく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域社会体育事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

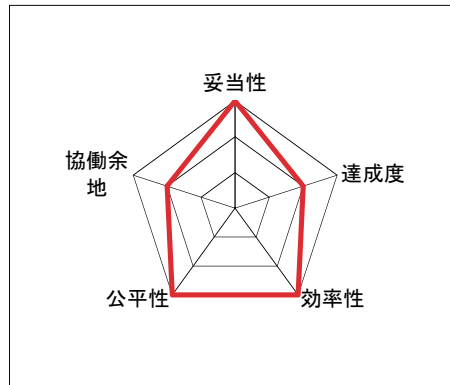
番号	⑤	事務事業名	愛知万博記念市町村対抗駅伝大会事業					
----	---	-------	-------------------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住、在勤、在学（小・中・高生は保護者が在住の方）等の条件の下、県内54市町村の代表者が、モリコロパークを利用し、駅伝にて順位を競う。 市部門については、全38市である。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市町村の交流や広域で行うスポーツに親しんでもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				245
		決算				120

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市部門の順位向上	位	目標	—	—	35	32	
		実績	—	—	33	29	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成27年度から長久手市体育協会の中に長距離走部ができたため、各個人の目標タイムなども設定し練習方法などが確立したことから、従来より安定した走りができている。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	35	—	事業名	総合型スポーツクラブ運営事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	----------------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	5	だれもが楽しむ生涯スポーツを進める			
		施策の進め方	(1)	スポーツ活動の推進			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者まで、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(在勤、在学含む)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与する。					
	事業を構成する事務事業	① 総合型スポーツクラブ運営事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	2,170
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	2,901
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	5,071

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	利用率	%	目標	—	—	100.0	100.0
実績				—	—	75.5	62.8	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 定員以上の参加申込を目標とする。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 各市町で独自にクラブ運営を実施
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 利用率100%の目標に対して、62.8%にとどまっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 利用率から市民ニーズに合致していないことが分かる。したがってアンケートの分析や先進地事例を参考に事業内容を検討しなければならない

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 組織の強化を事業のあり方も含めて関係者と検討すると共に、クラブの活動拠点についても検討していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 総合型スポーツクラブ運営事業

番号	①	事務事業名	総合型スポーツクラブ運営事業										
----	---	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民に地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動の機会の提供を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とし、「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、市民の健康を増進させるとともに、地域社会を活性化させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,833
		決算				2,170

3. 活動推移

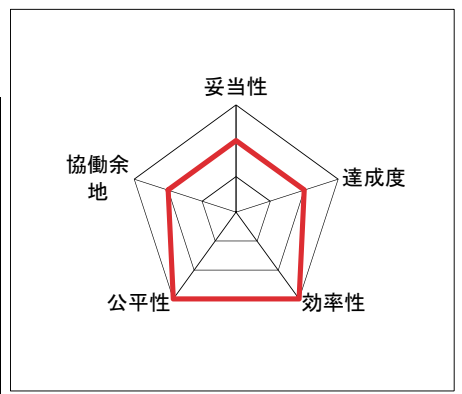
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用率	%	目標	—	—	100.0	100.0	
		実績	—	—	75.5	62.8	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

杵ヶ池体育館内に「スポーツ教室」の応募状況などが確認できる掲示板を設置して、使用者に対するPRを行い参加率の向上を目指す。また、組織の強化を事業のあり方も含めて関係者と検討すると共に、クラブの活動拠点についても検討していく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	36	事業名	地域福祉推進事業	担当部課	福祉部 福祉施策課
------	----	-----	----------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	6	地域で支え合う福祉の仕組みをつくる		
		施策の進め方	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①地域福祉推進事業：新施策の調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施している。 ②社会福祉協議会補助事業：長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため補助金を交付している。 ③支え合いマップ策定事業：市民が中心となり、支え合いマップづくりを行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、事業者、市職員				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・高齢者をはじめ市民が自分の住む地域の支えが必要な人を把握し、地域の市民で問題解決を図れるようにしていく。 ・高齢者をはじめ奉仕活動や市民活動を行うことにより、地域の支えの担い手となることにより居場所と役割を与え、活動することにより、健康増進、維持を図る。				
	事業を構成する事務事業	① 地域福祉推進事業	継続	④		
	② 社会福祉協議会補助事業	継続	⑤			
	③ 支え合いマップ策定事業	継続	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	98,929
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	16,040
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	114,969

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	支え合いマップ策定事業	箇所	目標			4	6
	実績					4	6	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	事業実施箇所数が地域の支えの担い手の拠点の数であるため、実施箇所の増減により進捗状況の管理を行う。							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	<ul style="list-style-type: none"> ・支え合いマップ策定事業：近隣市町での取組はない。 ・ボランティアポイント：豊明市、日進市、東郷町実施。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果目標を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域福祉推進事業を構成する3つの事務事業(①地域福祉推進事業、②社会福祉協議会補助事業、③支え合いマップ事業)を包括しているが、①、②および③は事業の内容趣旨が異なるため、別事業とされたい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークづくりや住民同士の支援の活動の核となる、支え合いマップづくりを地域住民が自主運営できるように支援していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

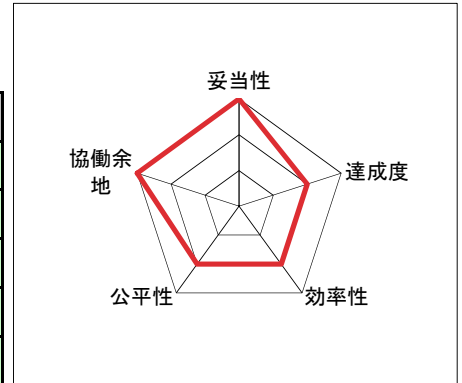
番号	①	事務事業名	地域福祉推進事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 職員が、新しい福祉施策を創造するための調査研究として、福祉自治体ユニットへの参加、体験研修を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新施策の調査研究を行い、事業化していく。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,026
		決算				2,867

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
体験研修	開催	目標				1	
		実績				1	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

国の最新施策等情報を得て、本市の福祉施策策定に活用するため、積極的に参加する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業										
番号	②	事務事業名	社会福祉協議会補助事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市社会福祉協議会に対して、地域に根ざした地域活動を実施するため運営費の一部を補助金として交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 社会福祉協議会を支援し、市の福祉施策と連携して事業を実施することにより、様々な福祉ニーズに対応し、地域住民一人ひとりが、住み慣れたまちで安心して自分らしく暮らすことができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				97,591
		決算				94,639

3. 活動推移

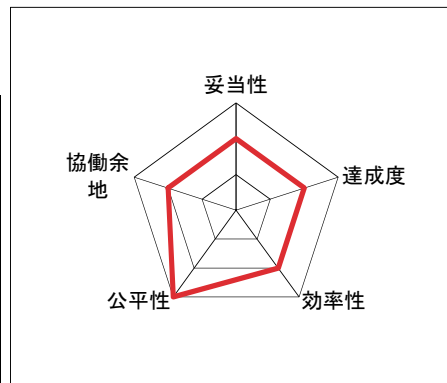
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
会員数	人	目標			7,500	7,600	
		実績			7,552	7,347	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 会員数の減少は、運営費の減少につながるため、事業内容に見合った会員数の確保ならびに自主財源確保の努力を図るよう依頼する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	地域福祉推進事業										
番号	③	事務事業名	支え合いマップ策定事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民が中心となり、支え合いマップを作成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 支え合いの必要性を理解して、地域のつながりを築く。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				451
		決算				451

3. 活動推移

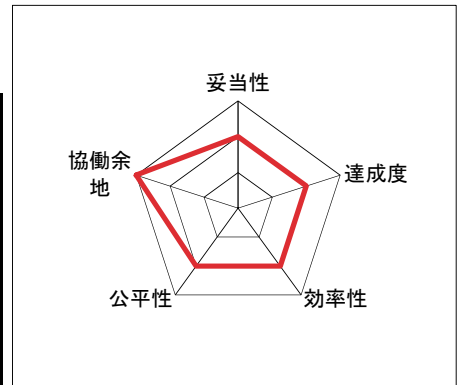
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
マップ策定	箇所	目標			4	6	
		実績			4	6	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 現在、行政と一緒に支え合いマップづくりを行っている地域が、最終的に自主的にマップづくりが行えるよう支援していく。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	37 -	事業名	戦没者追悼事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	------	-----	---------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 先の大戦において犠牲となった戦没者の霊に対し哀悼の誠を捧げるため、市内在住の戦没者遺族を対象に長久手市戦没者追悼式を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 戦没者遺族、一般参列者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦没者の霊を追悼し、平和の大切さを啓発する。				
	事業を構成する事務事業	① 戦没者追悼事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	552
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	2,291
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	2,843

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	参列者のうち遺族会員の参加率	%	目標	68.2	69.8	66.7	69.0
実績				69.8	66.7	69.0	69.9	
B	参列者数	人	目標	-	188	186	182	
			実績	-	178	179	191	
C	式典実施	有無	目標	実施	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	実施	実施	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 参列者のうち遺族会員の参加率前年実績以上(遺族会員が高齢化していく中でこの指標が増えることにより式への関心度が判断できる)								
B 過去3年間の平均参列者数以上(参列者は遺族会員以外にもおり、この指標が増えることにより式への関心度が判断できる)								
C 実施したかどうか(実施できることが平和そのものと判断できる)								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 戦後70年を迎え、遺族が高齢化。 戦後70年の平成27年度は、市内小学生が製作した千羽鶴を献納した。 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町、みよし市
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね目標は達成。 会が開催されること自体、平和のしるしである。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 戦没者遺族の高齢化に伴い、体力の低下から参加を敬遠する傾向から、今後の参加者数の減少が懸念される。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平和行政担当課と連携した事業の推進を図る。 遺族と来賓のバランスの検討。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	戦没者追悼事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

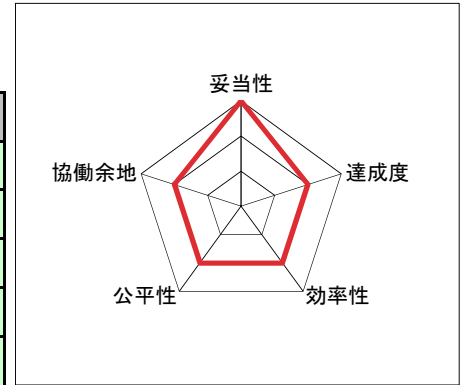
番号	①	事務事業名	戦没者追悼事業						
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 戦没者への追悼及び平和への誓いのため、戦没者遺族及び市民が参列できる追悼式を年1回実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 戦没者の霊を追悼し、平和の大切さを啓発する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				631
		決算				552

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
遺族会員参加者数	人	目標	120	120	114	116	
		実績	120	114	116	114	
参列者数	人	目標	-	188	186	182	
		実績	-	178	179	191	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
平和行政と一体とした事業展開により、戦争を風化させない取組を推進する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
戦没者遺族の高齢化

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	38	—	事業名	心身障がい者社会見学事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	----	---	-----	--------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	4	障害者が暮らしやすいまちをつくる		
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 障がい者の社会参加の促進や自立した生活支援をすることを目的に、障がい者を支援する団体が実施する社会見学事業に対する補助を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者の社会参加の促進や自立した生活を支援することを目的として活動する団体				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者の社会参加や外出機会を創出する。				
	事業を 構成する 事務事業	① 障がい者社会見学	改善・見直し	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							350
人件費(B)	千円	決算					381
総コスト(A)+(B)	千円	決算					731

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 申請団体数	団体	目標	-	-	3	3	
			実績	-	-	1	2	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 補助金を積極的に活用され外出機会を創出できたかどうかは申請した団体数が指標となるため。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町での実施なし
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標数には達していないが、年々実施団体が増加している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今まで市が主催していた社会見学事業を補助事業に変更したが、どの程度の補助が必要なのか判断が難しい。(市主催時は、食事代のみ参加者から徴収していたため、補助事業に変更後もその程度の負担で実施できるようにしてほしいとの要望がある。)

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 実施団体からの聞き取り等により補助金額の見直しを行う。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	心身障がい者社会見学事業									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	障がい者社会見学									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 障がい者の社会参加を促進するため、障がい者を支援する団体が障がい者を対象に社会見学事業を企画・運営して実施する場合に補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者の社会参加が促進されたり、自立した生活を送ることにつながるものとしたい。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				300
		決算				350

3. 活動推移

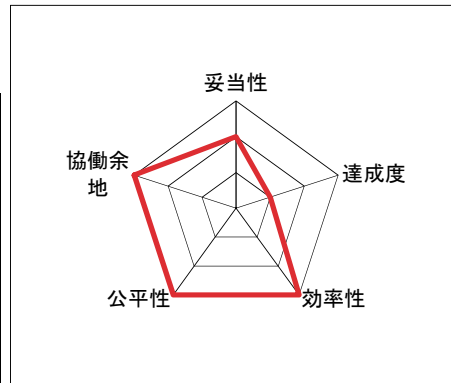
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
申請団体数	団体	目標	—	—	3	3	
		実績	—	—	1	2	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今まで市が主催していた社会見学事業を補助事業に変更したが、今後どのような支援が必要か（補助金額を含めて）実施した団体や未実施の団体に聞き取り調査を行う。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	39	—	事業名	障がい者計画策定・評価事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	----	---	-----	---------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	4	障害者が暮らしやすいまちをつくる			
		施策の進め方	—				
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成26年度に策定したながふく障がい者プランの進捗管理や評価を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者、市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がいの有無に関わらずお互いに尊重しながら地域社会の中で共に生活できるよう、日常生活や社会生活を送れるようにすること。					
	事業を 構成する 事務事業	① 障がい者計画評価部会	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算 決算				
人件費(B)	千円	決算					1,527
総コスト(A)+(B)	千円	決算					1,527

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 目標を達成した重点施策数	施策	目標	—	—	—	—	11	
			実績	—	—	—	—	5	
	B		目標						
			実績						
C		目標							
		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A ながふく障がい者プランの重点施策を達成することにより、障がい者の暮らしやすいまちになるため。									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町村においてもそれぞれ計画を策定し取り組んでいる。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 重点施策のいくつかについては実施することができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 他課に関わるものもあるため、調整や連携が必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 障がい者自立支援協議会内に設置した各専門部会に担当施策を割り振り、それぞれ達成に向け取り組んでもらう。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 障がい者計画策定・評価事業

番号	①	事務事業名	障がい者計画評価部会										
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 障がい者や障がい者支援団体、家族会に対するアンケートやヒアリングを行い、課題を抽出した。その課題の解決をめざし、障がい者自立支援協議会等で協議を行っている。 また、ながふく障がい者プランの進捗状況を、障がい者計画評価部会で進行管理・評価を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 障がい者の社会参加や外出機会を創り出す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算 決算				224 0

3. 活動推移

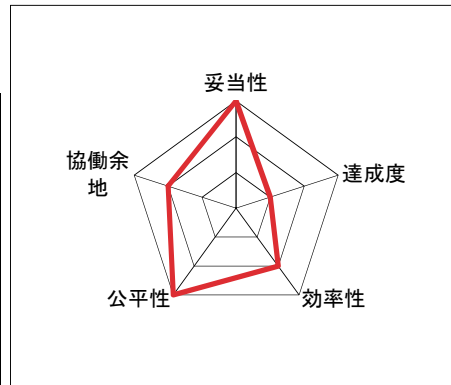
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
目標を達成した重点施策数	施策	目標	—	—	—	11	
		実績	—	—	—	5	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

まだ未達成の重点施策について、障がい者自立支援協議会内に設置した各専門部会で協議し、それぞれ達成に向け取り組んでもらう。
また、引き続き障がい者計画評価部会で、進捗状況を適宜確認し、進行管理・評価を実施する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	40 -	事業名	障がい者総合支援通所施設事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	------	-----	----------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	4	障がい者が暮らしやすいまちをつくる			
		施策の進め方	-				
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 福祉の家内にある障がい者通所施設の指定管理業務運営状況について適宜確認を行い、適正な運営を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者通所施設の利用者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域社会でより自立した豊かな生活を営むことができるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 障がい者総合支援通所施設事業	継続	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	 	 	
	人件費(B)	千円	決算	 	 	 	763
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	 	 	 	788

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 事業評価	評価		目標	-	-	A	A
				実績	-	-	B	A
	B			目標				
				実績				
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 指定管理事業が適正に行われていたかは、年度ごとの評価で判断できるため。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町でも指定管理で運営を行っている施設はいくつもある。 なお、障がい福祉サービスを利用する人は年々増加傾向にある。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は達成しており、また、年度を重ねるごとに改善が見られる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 法律に基づくサービスであり、ある程度の制限がかかってしまう。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成28年度末までは現在の事業者が指定管理者として実施し、その後は再度の公募を行う。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 障がい者総合支援通所施設事業

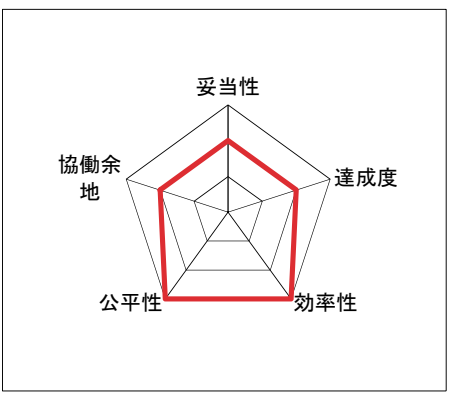
番号	①	事務事業名	障がい者総合支援通所施設事業									
----	---	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 福祉の家内の障がい者福祉施設を指定管理業務で運営し、そこへ通所する利用者に、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを提供している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域社会でより自立した豊かな生活を営むことができるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				25

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
事業評価	評価	目標	—	—	A	A	
		実績	—	—	B	A	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成28年度末までは現在の事業者が指定管理者として実施し、その後は再度の公募を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	41 -	事業名	災害救助対策事業	担当部課	福祉部 福祉課
------	------	-----	----------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	4	障害者が暮らしやすいまちをつくる			
		施策の進め方	-				
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 災害に備え、災害時に必要となる非常食、紙おむつ等の備蓄を行う。また、避難時に支援が必要な人の名簿を作成し、地域で支えあうまちづくりを目指す。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 障がい者及び高齢者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 避難時にも安心して過ごしてもらえるようにする。また、災害時に地域で避難者を支援する体制をつくる。					
	事業を構成する事務事業	① 災害救助対策事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	1,586
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	1,172
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	2,758

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	調達目標達成率	%	目標	-	100	100	100
実績				-	100	100	100	100
B	避難行動要支援者登録率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	63.4	42.4	45.1	48.3	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 非常食等と消耗品の備蓄に関する5か年計画に沿って備蓄品を整備することにより、災害時の対応に備えることができるため。

B 避難行動要支援者登録をしていただくと、地域での支援体制を構築する一助となるため。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 法律に基づく事業であり、他市町でも実施。平成25年度から情報提供する団体の範囲等を変更したため、登録数に変化が出た。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 制度変更後は、登録率の減少が見られたが、その後は増加傾向にある。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 障がい者及び高齢者が災害時に必要とする備品の再検討が必要である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 備蓄品の見直しを含めた検討と、災害時の緊急受け入れ協定先の増加を目指す。また、引き続き避難行動要支援者登録の増加を目指す。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	災害救助対策事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	災害救助対策事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 障がい者及び高齢者を支援するため、災害に備え、災害時に必要となる非常食や紙おむつ等の備蓄を行う。また、避難時に支援が必要な人の名簿を作成し、消防や自治会連合会等への情報提供を行い、緊急時の地域の支援体制の構築を目指す。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 避難時にも安心して過ごしてもらえるようにする。また、災害時に地域で避難者を支援する体制をつくる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,132
		決算				1,586

3. 活動推移

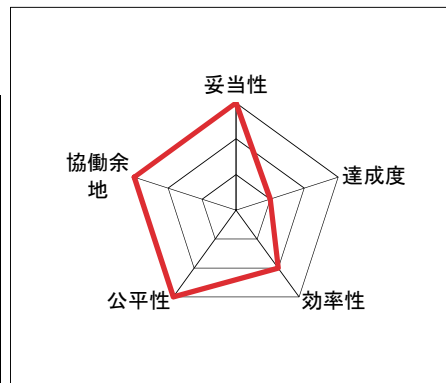
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
調達目標達成率	%	目標	—	100	100	100	
		実績	—	100	100	100	
避難行動要支援者登録率	%	目標	100	100	100	100	
		実績	63.4	42.4	45.1	48.3	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 避難行動要支援者登録台帳の未登録者に対し、制度の周知徹底を図り、登録を促す案内を送付する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	42	—	事業名	高齢者日常生活補助事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	----	---	-----	-------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 加齢や認知症の進行等により、心身機能が低下した高齢者等に対して、生活環境の改善のため支援を行うことで、健康的な日常生活の維持を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満65歳以上の市民等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 日常生活用具給付事業	継続	④ 訪問理美容サービス事業	継続		
	② 紙おむつ助成事業	継続	⑤ 高齢者住宅改修事業	継続			
	③ 家族介護慰労金支給事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							9,354
人件費(B)		千円	決算				716
総コスト(A)+(B)		千円	決算				10,070

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 事業利用者数	人	目標		195	211	216	160
			実績		163	154	170	219
	B		目標					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町 ・住宅改修事業…豊明市 ・家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町 ・訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、着実に高齢者等の生活の支援を行えている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後の急速な高齢化に伴い、現行制度では近い将来に財源不足になることが予測されるため、介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の導入に合わせた事業の見直しが必要と考えられる。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 支援を必要としている人に確実な支援ができるよう、制度の周知及び利用方法の改善を進める必要がある。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	日常生活用具給付事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】心身機能の低下に伴い防火等の配慮が必要な次のいずれの方 ・満65歳以上のひとり暮らしの方 ・満75歳以上の方のみの世帯 【内容】電磁調理器の購入費を1回に限り給付する。 (基準額41,000円)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、安心して日常生活を送ることができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				41
		決算				41

3. 活動推移

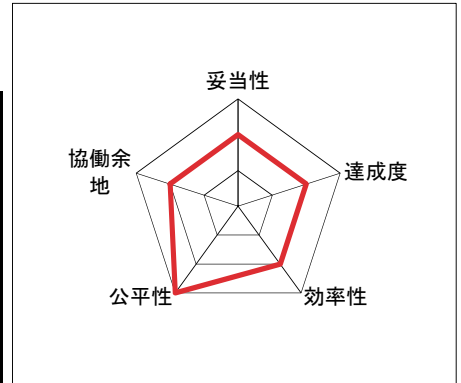
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	2	2	1	1	
		実績	0	0	2	1	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	紙おむつ助成事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】常時、紙おむつが必要な次のいずれにも該当する方 ・要介護2以上の方 ・介護保険施設に入所していない方 ・本人の所得が200万円未満の方 【内容】おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入金額の9割、年度上限額5万円までを助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護者の経済的な負担が軽減され、高齢者等も衛生的な生活を送ることができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				6,370
		決算				6,370

3. 活動推移

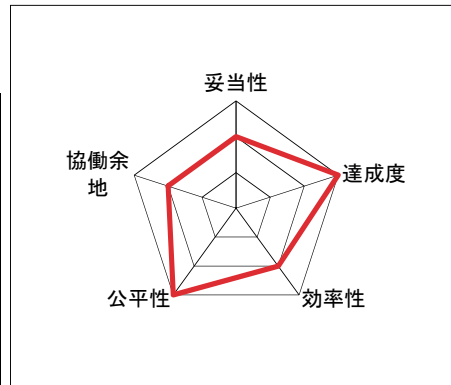
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成金支給者数	人	目標	145	155	160	125	
		実績	120	128	137	183	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	家族介護慰労金支給事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】要介護度4又は5の高齢者を過去1年以上在宅で介護している家族介護者で、世帯構成員の主たる生計中心者が市民税非課税者であり、且つ、要介護認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していない方 【内容】年に1回100,000円の慰労金を支給する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 介護者の精神的かつ経済的負担を軽減する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

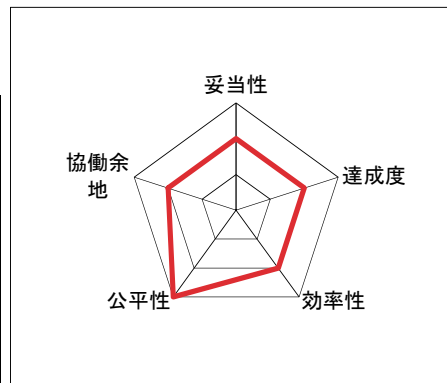
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	1	1	1	1	
		実績	0	0	0	0	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 近年、利用者数がない状態であるが、介護者の精神的かつ経済的負担を軽減するため、対象となり得る方への周知に努めつつ、今後も事業を継続する。
--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

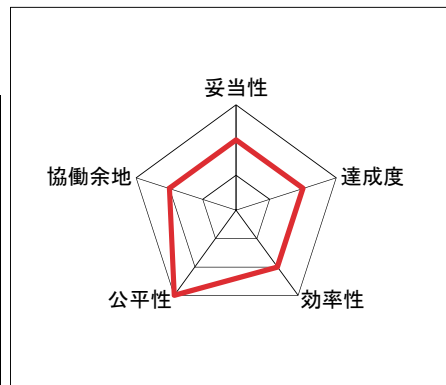
番号	④	事務事業名	訪問理美容サービス事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・要介護3以上の寝たきり状態の方、又は65歳以上の認知症高齢者の方 ・身体障害者手帳1級（内部疾患障がい者を除く。）の方 【内容】 1回につき3,000円を助成（年間6回以内）
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自力で理美容院に行くことができない高齢者及び重度身体障害者（児）が衛生的な生活を送ることができるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				211
		決算				211

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	22	23	24	26	
		実績	35	19	26	26	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

高齢者等の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者日常生活補助事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑤	事務事業名	高齢者住宅改修事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 次のいずれにも該当する方 ・ 65歳以上の方 ・ 改修する住宅に住居登録されている方 ・ 市民税非課税世帯 【内容】 手すりの取り付け、段差解消等の住宅の改修費用を30万円を限度に全額補助する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、安全に安心して快適な生活を送ることができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,732
		決算				2,732

3. 活動推移

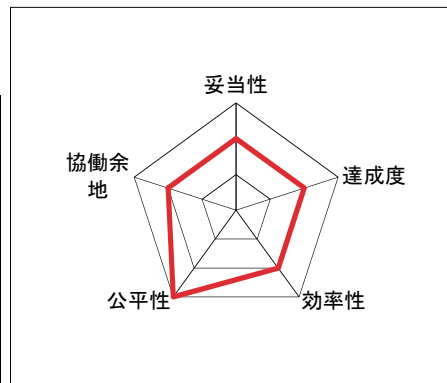
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
助成金支給者数	人	目標	25	30	30	7	
		実績	8	7	5	9	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者の経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	43 - 1	事業名	高齢者福祉事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	--------	-----	---------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり行程表	フラッグ	2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～			
		政策分類	35,43	ワンコインサービスの実施、徘徊高齢者家族の支援			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 加齢や認知症の進行等により、心身機能が低下した高齢者等に対して、生活上のサービス支援を行うことで、健康的な日常生活の維持を図る。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の65歳以上の市民等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができる。					
	事業を構成する事務事業	① 「食」の自立支援事業	拡充	④ 徘徊高齢者等家族支援事業	継続		
	② 家具転倒防止事業	継続	⑤ ワンコインサービス事業	改善・見直し			
	③ 寝具洗濯乾燥事業	継続	⑥ 防犯対策事業	継続			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						33,957
	人件費(B)	千円	決算				8,850
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				42,807

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A	配食数	食	目標	15,600	16,000	18,300	27,600	
				実績	15,226	15,116	24,915	32,424	
	B	事業利用者数	人	目標	236	316	353	347	
				実績	189	257	317	376	
C			目標						
			実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。

B 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・食の自立支援・寝具洗濯乾燥…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 ・徘徊高齢者等家族支援事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 ・家具転倒防止・防犯対策事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、着実に高齢者等の生活の支援を行えている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後の急速な高齢化に伴い、現行制度では近い将来に財源不足になることが予測されるため、介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の導入に合わせた事業の見直しが必要と考えられる。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 支援を必要としている人に確実な支援ができるよう、制度の周知、利用方法の改善を進める必要がある。
--------	---

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	43	-	2	事業名	高齢者福祉事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	----	---	---	-----	---------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか)				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか)				
	事業を構成する事務事業	⑦ 緊急通報システム設置事業	継続	⑩		
	⑧ ホームヘルパー派遣事業	改善・見直し	⑪			
	⑨ デイサービス事業	改善・見直し	⑫			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算 決算			
	人件費(B)	千円	決算				
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A		目標 実績					
	B		目標 実績					
	C		目標 実績					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)							
	A							
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・緊急通報システム事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町 ・ホームヘルパー派遣事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町 ・デイサービス事業…瀬戸市尾張旭市、日進市、豊明市
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など)
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理)

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性)
--------	------------------------

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業									
番号	①	事務事業名	「食」の自立支援事業							

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】買い物、調理等が困難で、日常生活に支障のある次のいずれかの方 ・65歳以上の一人暮らしの方 ・75歳以上の方のみの世帯 【内容】自己負担額300円で、給食の宅配による栄養管理、安否確認を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、食生活の改善により健康的な生活を送ることで、自立した生活に戻る足がかりを掴むことができるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				22,069
		決算				21,725

3. 活動推移

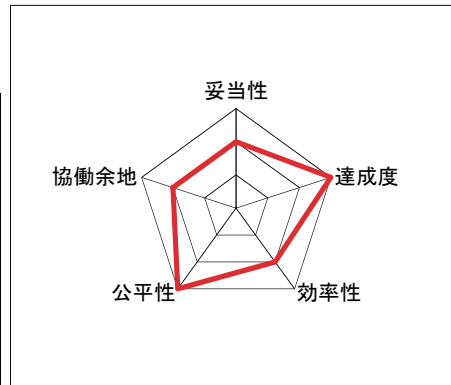
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
配食数	食	目標	15,600	16,000	18,300	27,600	
		実績	15,226	15,116	24,915	32,424	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行うため、今後も事業を継続する。 高齢者がより健康的な生活を送れるよう、利用方法の見直し等を行う。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業										
番号	②	事務事業名	家具転倒防止事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】・65歳以上の一人暮らしの方 ・75歳以上の方のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以上の方 ・療育手帳B判定以上の方 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の方 ・要介護認定で要介護3以上の方 【内容】設置費用の9割を助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、安全に安心して快適な生活を送れるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				103
		決算				103

3. 活動推移

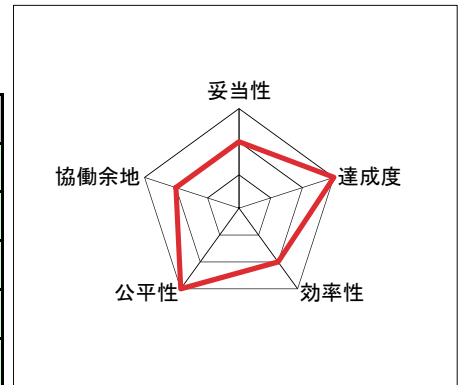
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	10	10	10	10	
		実績	7	5	3	12	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者等が安心して生活できる環境を整備し、経済的負担を軽減するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	寝具洗濯乾燥事業					
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・ 要介護3以上の寝たきり状態、又は65歳以上の認知症高齢者の方 ・ 65歳以上の一人暮らしの方 ・ 75歳以上の方のみの世帯 ・ 身体障害者手帳1～2級の方 【内容】費用の9割を助成
	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が、衛生的で快適な生活を送ることができる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				528
		決算				528

3. 活動推移

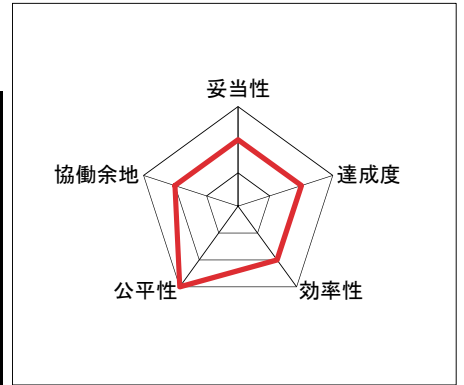
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	42	45	50	55	
		実績	45	47	55	68	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者等が快適な生活を送れる環境を整備するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業										
番号	④	事務事業名	徘徊高齢者等家族支援事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 次のいずれかの方を介護する家族 ・ 不意の外出 (徘徊) の見られる認知症高齢者 ・ 知的障がい者 【内容】 GPS機能のある専用端末を貸出し、高齢者等が行方不明になった時の早期発見に役立てる。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 認知症の高齢者や知的障害者等を介護する家族及び保護者が安心して介護できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				194
		決算				194

3. 活動推移

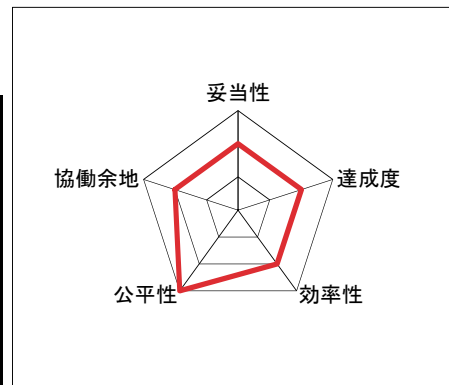
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	5	6	7	4	
		実績	2	2	2	3	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 介護する家族及び保護者等が安心して介護できる環境を整備するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑤	事務事業名	ワンコインサービス事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・ 65歳以上のひとり暮らしの方 ・ 75歳以上の方のみの世帯 【内容】 在宅の高齢者が抱える軽度な日常生活の困りごとを、100円又は500円のワンコインで有償ボランティアが手伝える。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・ 住み慣れた地域で安心して暮らせるようにする。 ・ 元気な高齢者が有償ボランティアを担うことによる生きがいづくりの促進、または地域での支え合いづくりを促進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				144
		決算				144

3. 活動推移

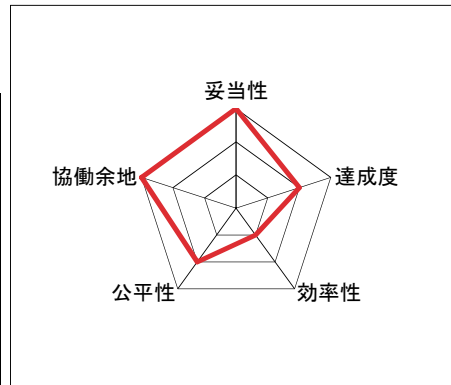
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用登録者数	人	目標		60	90	105	
		実績		62	97	119	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
介護保険制度の改正に伴い平成29年4月までに開始する新しい総合事業と連携して事業を実施する必要がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	1
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
現在、市職員が利用者と提供者のマッチングと連絡調整を逐次行っており効率が悪い。地域の人同士の支え合いがベースになるようより柔軟な事業運営の仕組みを検討したい。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

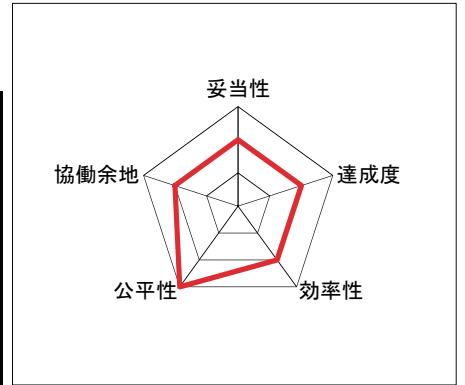
番号	⑥	事務事業名	防犯対策事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	【対象者】 ・65歳以上のひとり暮らしの方 ・75歳以上の方のみの世帯 【内容】 玄関前等にセンサーライトを取り付ける費用を9割助成する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等の侵入盗等の不安が軽減され、安心して生活することができるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				122
		決算				122

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	40	45	45	20	
		実績	11	11	11	8	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

高齢者が安心できる生活環境を整備するため、今後も事業を継続する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑦	事務事業名	緊急通報システム設置事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・ 65歳以上の一人暮らしの方 ・ 75歳以上の方のみの世帯 ・ 日中又は夜間において長時間に渡り独居状態になる重度身体障がい者 【内容】 緊急時の通報機器に係る費用の9割を助成します。
	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等の日常生活における不安を軽減し、安心して生活できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				9,548
		決算				9,498

3. 活動推移

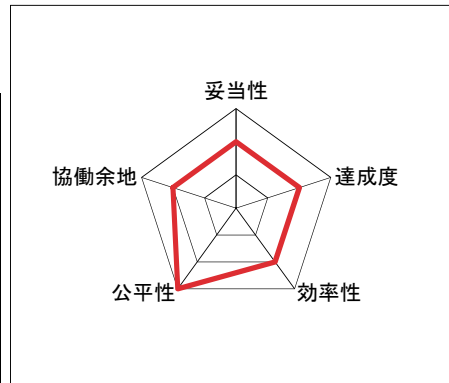
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数 (年度末)	人	目標	120	125	145	145	
		実績	113	124	142	160	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者等が安心して生活できる環境整備を図るため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑧	事務事業名	ホームヘルパー派遣事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 65歳以上のひとり暮らしの方又は75歳以上の高齢者のみ世帯で、次のいずれかに該当する者。①要介護認定にて非該当判定の方②介護認定申請中の方 【内容】 調理、衣類の洗濯及び補修、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買物等の支援を行う。
	意図 (対象をどのような状態にしたいか) 高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して自立した生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				260
		決算				124

3. 活動推移

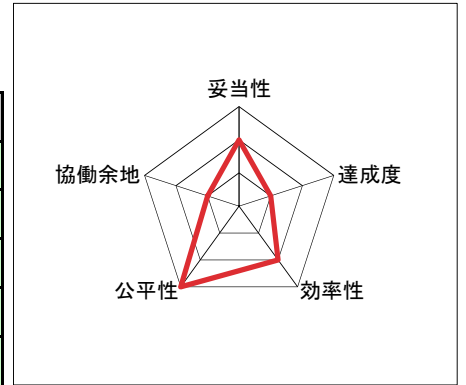
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	目標	9	10	3	4	
		実績	8	3	4	2	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 介護保険制度の改正に伴い平成29年4月までに開始する新しい総合事業と連携して事業を実施する必要がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 現在、事業は介護保険事業者への委託となっており市民協働の余地がほとんどない。平成29年4月までに開始する新しい総合事業に伴い、市民主体の生活支援が創出されるよう支援し、現在の事業利用者がこうした場を利用できるよう検討したい。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者福祉事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑨	事務事業名	デイサービス事業										
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 ・65歳以上のひとり暮らしの方 ・75歳以上の方のみの世帯 ・介護認定申請中の方、又は要介護認定で非該当の方 【内容】 日常生活訓練や趣味活動を通して、身体的な機能低下を 防ぎ、生きがいのある生活を送る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 家に閉じこもりがちなりひとり暮らしの高齢者等の身体的 な機能の低下を防いだり、社会参加したりすることで、 高齢者福祉の増進を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,000
		決算				1,643

3. 活動推移

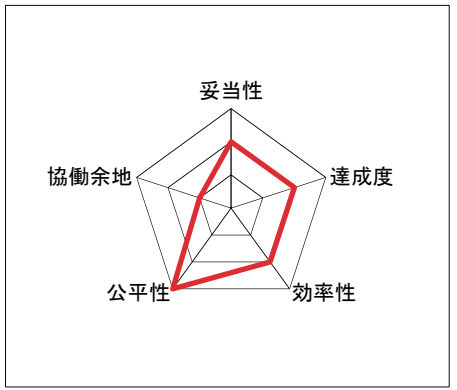
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用人数	人	目標	10	15	3	4	
		実績	3	3	3	4	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
介護保険制度の改正に伴い平成29年4月までに開始する新しい総合事業と連携して事業を実施する必要がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
現在、事業は介護保険事業者への委託となっており市民協働の余地がほとんどない。平成29年4月までに開始する新しい総合事業に伴い、市民主体の通いの場が創出されるよう支援し、現在の事業利用者がこうした場を利用できるよう検討したい。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	44 -	事業名	高齢者優待事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	------	-----	---------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者に対し、福祉の家や市内の文化施設、公共交通機関の利用を助成する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満65歳以上の市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者の外出機会を増やし、社会参加を促すことで地域内交流を活性化させる。					
	事業を 構成する 事務事業	① 高齢者文化施設優待事業	継続	④			
	② あったかあど事業	継続	⑤				
	③ 高齢者外出促進事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	6,767
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	3,397
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	10,164

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	優待カード発行枚数	枚	目標	1,000	800	800	800
実績				1,097	891	815	1,031	
B	カード発行枚数	枚	目標	500	500	500	785	
			実績	736	641	775	2,250	
C	交付枚数	枚	目標	3,273	3,411	3,500	3,580	
			実績	3,417	3,519	3,576	4,151	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
B 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
C 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・リニモ乗車券交付…名古屋市敬老パスを実施
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、高齢者等外出機会が増えている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 本来、支援が必要にもかかわらず情報不足により支援を受けられていない人も見られる。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 支援を必要としている人に確実な支援ができるよう、制度の周知や利用方法の改善を進める必要がある。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者優待事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	高齢者文化施設優待事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 ・ 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<p>【対象者】 市内在住の満65歳以上の市民</p> <p>【内容】 年度内に名都美術館に3回、トヨタ博物館に1回、無料で入館することができる。</p>
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	高齢者の文化活動への関心を高め、外出の機会を増加させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				708
		決算				708

3. 活動推移

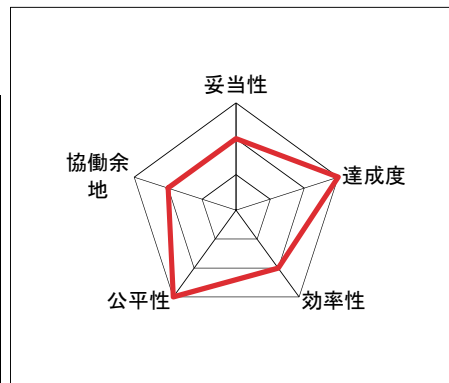
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
優待カード発行枚数	枚	目標	1,000	800	800	800	
		実績	1,097	891	815	1,031	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
高齢者の外出促進を図ると共に文化活動への関心を高めるため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者優待事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	あつたかあど事業						
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 市内在住の満65歳以上の市民 【内容】 ごらっせの優待料金による利用、福祉浴室・歩行浴室の利用、及びN-バスの無料乗車ができる。 ※年間10回は、福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が無料で利用できる。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者の外出の機会を増やし、社会参加することで地域との交流を盛んにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,755
		決算				3,755

3. 活動推移

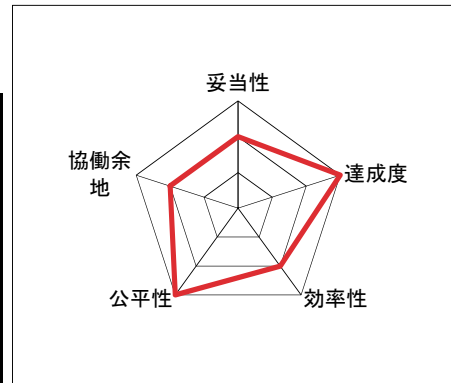
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
カード発行枚数	枚	目標	500	500	500	785	
		実績	736	641	775	2,250	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
外出を促進し、つながりの強化、社会への参加機会の拡充するため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	高齢者優待事業							
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	高齢者外出促進事業					
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 【対象者】 市内在住の満65歳以上の市民 【内容】 年に1回マナカチャージ券(1,000円分)を交付。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者の外出の機会を増やし、社会参加することで地域との交流を盛んにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,253
		決算				2,304

3. 活動推移

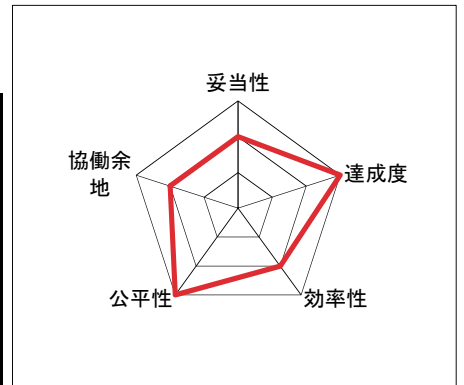
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
交付枚数	枚	目標	3,273	3,411	3,500	3,580	
		実績	3,417	3,519	3,576	4,151	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) リモのICカード化に伴い、平成28年度からマナカチャージ券(1,000円)の交付に変更。同時に免許証自主返納者へのチャージ券(5,000円)交付も開始。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 高齢者の外出の機会を増やすことで、社会活動への参加を促進するため、今後も事業を継続する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	45 -	事業名	老人憩いの家管理事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	------	-----	------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域の高齢者の交流、憩いの場所として、適切な環境整備、運営管理を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満60歳以上の市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 施設を広く活用してもらうことで地域での交流を深めてもらう。					
	事業を構成する事務事業	① 老人憩いの家管理事業	継続	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算	/	/	/
決算				/	/	/	2,068
人件費(B)	千円	決算	/	/	/	/	671
総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	/	2,739

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	施設利用者数	人	目標	4,500	4,500	4,500	4,500
実績				4,664	5,016	4,558	6,013	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町においても同様の施設を設置している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、高齢者の交流、憩いの場として活用されている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域によって施設の利用率に差異があり、更なる活性化が期待される。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域サロン等の地域活動の拠点として、高齢者だけでなく、地域の多世代の交流の場としての活用を検討していく必要がある。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	老人憩いの家管理事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

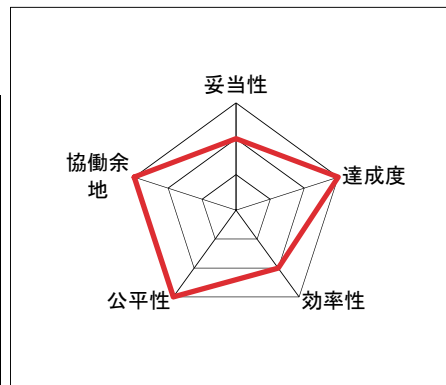
番号	①	事務事業名	老人憩いの家管理事業								
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<p>【対象者】 市内在住の満60歳以上の市民</p> <p>【内容】 地域の高齢者の交流、憩いの場所として、適切な環境整備、運営管理を行う。</p>
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	施設を広く活用してもらうことで地域での交流を深めてもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,068
		決算				2,068

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
施設利用者数	人	目標	4,500	4,500	4,500	4,500	
		実績	4,664	5,016	4,558	6,013	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

地域の高齢者の交流の場として、広く活用してもらうため、今後も事業を継続する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	46	—	事業名	生きがいセンター運営事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	----	---	-----	--------------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える		
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者の憩のためのレクリエーション・教養向上・交流・ふれあいを図り、高齢者の生きがい活動を推進する施設の運営管理を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住の満60歳以上の市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 高齢者が、教養向上・交流・ふれあいの場として、生きがいを持って気軽に施設を活用できるようにする。				
	事業を構成する事務事業	①	生きがいセンター運営事業	継続	④	
	②			⑤		
	③			⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	8,233
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	1,757
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	9,990

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	施設利用者数	人	目標	13,000	13,000	13,000	14,000
実績				15,266	13,568	15,370	15,546	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市第7次高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画により目標値を設定。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町においても同様の施設を設置している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標値を上回っており、高齢者の教養向上・交流・ふれあいの場として活用されている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 地域によって施設の利用率に差異があり、更なる活性化が期待される。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域サロン等の地域活動の拠点として、高齢者だけでなく、地域の多世代の交流の場としての活用を検討していく必要がある。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	生きがいセンター運営事業									
-----	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	生きがいセンター運営事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	【対象者】 市内在住の満60歳以上の市民 【内容】 高齢者の方の憩のためのレクリエーション・教養向上・交流・ふれあいを図り、高齢者の生きがい活動を推進するための運営管理を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	高齢者が、教養向上・交流・ふれあいの場として、生きがいを持って気軽に施設を活用できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				8,233
		決算				8,233

3. 活動推移

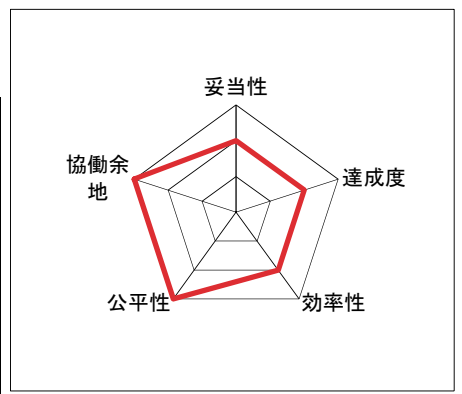
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
施設利用者数	人	目標	13,000	13,000	13,000	14,000	
		実績	15,266	13,568	15,370	15,546	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
地域の高齢者の交流の場として、広く活用してもらうため、今後も事業を継続する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	47 -	事業名	介護予防事業	担当部課	福祉部 長寿課
------	------	-----	--------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	8	高齢者の安心な暮らしと生きがいを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内在住の65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態になることなく元気でいきいきした生活を送ることができるように、介護保険法に基づき、運動・口腔・栄養・閉じこもり・うつ・認知の5項目に関連した介護予防事業を実施している。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住で要介護認定を受けていない65歳以上の人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 要支援・要介護状態にならないようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 介護予防事業	改善・見直し	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	/	/	/
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	7,609
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	26,549

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 高齢者人口に対する教室に参加した二次予防事業対象者の割合	%	目標				5.0	5.0	
			実績				1.6	1.0	
	B		目標						
			実績						
C		目標							
		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 国が目標にしている高齢者人口に対する教室に参加した二次予防事業対象者の割合									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣市町においても介護保険法に基づき介護予防事業を実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標に対して、低下している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 教室の参加者数が少ない。時期により参加者の差があるため、教室の開催日程について検討する必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 対象者を教室参加に結びつけられるように勧奨方法等について検討する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	介護予防事業							
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--

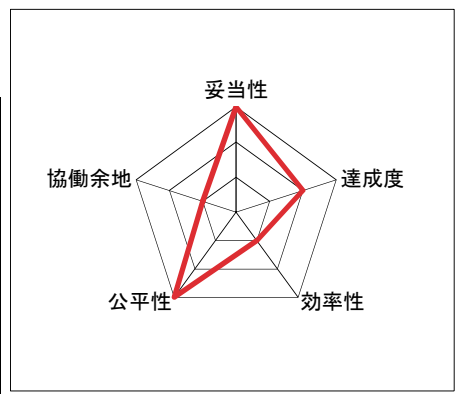
番号	①	事務事業名	介護予防事業												
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内在住で要介護認定を受けていない人を対象に要支援・要介護状態になることなく、元気で生き生きとした生活を送ることができるよう介護保険法に基づき運動・口腔・栄養・閉じこもり・うつ及び認知の5項目に関連した介護予防事業を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 要支援・要介護状態になることを防ぐ。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	1
公平性	3
協働余地	1



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				19,321
		決算				18,940

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
あったか昼食会	人	目標			40	40	
		実績			45	38	
転倒予防教室	人	目標			20	20	
		実績			44	20	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
目標値に近いところまで達成しているが、全体として二次予防事業対象者に対するの事業参加率が低く効率が悪いことと、市主催の専門職への委託による教室開催となっており協働余地がない。平成29年4月までに開始する新しい総合事業に伴い、より多くの市民が主体的に介護予防活動できるような仕組みに転換することを検討したい。

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	48	事業名	ファミリーサポートセンター運営事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	----	-----	-------------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(3) 人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	(9) 安心して子育てができる環境をつくる		
		施策の進め方	子育て支援の充実		
	まちづくり 行程表	フラッグ			
		政策分類			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域において育児の援助を行いたい者(援助会員)と援助を受けたい者(依頼会員)の会員登録を行い、保育所への送迎など相互援助活動の橋渡しを行う。また、援助活動向けのフォローアップ研修や会員同士の交流を図り、活動のサポートを行う。			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 小学生までの子どもを育てている家庭の保護者			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくる			
	事業を構成する事務事業	① ファミリーサポートセンター事業	改善・見直し	④	
		②		⑤	
		③		⑥	

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							3,702
人件費(B)	千円	決算					5,270
総コスト(A)+(B)	千円	決算					8,972

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	活動件数/依頼件数	%	目標	100	100	100	100
実績				100	100	100	100	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 事業の目的を達成するためには、援助会員と依頼会員のマッチングが必要である。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 現行どおり実施していく。成果指標における目標は達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、ファミリーサポートセンター事業に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、事業の改善に努める。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き、会員数(特に援助を行う会員数)の確保に努め、援助活動の充実に努める。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 ファミリーサポートセンター運営事業

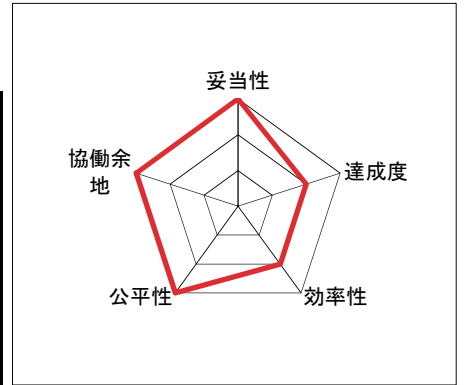
番号	①	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業										
----	---	-------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 小学生までの子どもを育てている保護者のうち、子育ての援助を受けたい人に対して支援を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 仕事と育児を両立させ、安心して子育てができる環境をつくる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				3,877
		決算				3,702

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
依頼件数	件	目標	-	-	-	3,565	
		実績	-	-	-	3,617	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
今後も引き続き援助活動の充実を図るため、会員数（特に援助会員）の確保に努めるための取組を推進して、改善に努めていく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後もファミリーサポートセンター事業に対するニーズは高まるものと考えられる。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	49	—	事業名	子育て支援センター運営事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	----	---	-----	---------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(3)	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	(9)	安心して子育てができる環境をつくる		
		施策の進め方		子育て支援の充実		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の子ども及び子育て中の保護者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 虐待のない健やかな環境で子育てすることができること。				
	事業を構成する事務事業	①	子育て支援センター運営事業	拡充	④	
	②			⑤		
	③			⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	3,112
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,112
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	6,224

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	人	目標	23000	23000	23000	23000
実績				22,627	21,825	22,062	20,259	
B			目標					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A	前年度実施からの増加						
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標は達成できていないが、来館者数等はほぼ一定に推移している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、子育て支援センター運営事業に対する一定のニーズは継続していくものと考えられるため、引き続き事業の拡充に努める。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き、利用者が参加しやすい環境づくりに努めていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名 子育て支援センター運営事業

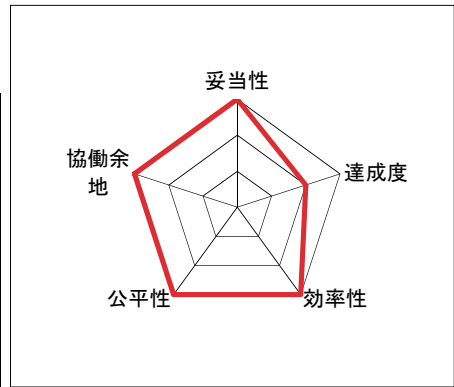
番号	①	事務事業名	子育て支援センター運営事業										
----	---	-------	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内の子育て中の親子に対し、子育て支援センターを運営し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進をする。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て中の保護者を安心して子育てできるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,883
		決算				3,112

6. 今後の方向性

拡充

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	人	目標	23,000	23,000	23,000	23,000	
		実績	22,627	21,825	22,062	20,259	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成28年度から、地域に出向いて行う「リズム遊びぴよんぴよん」等を実施する際に、保健師が同行して「まちの保健師」活動に従事するなど、事業の拡充を図っている。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

今後も子育て支援センター事業に対するニーズは高まっていくものと思われる。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	50	-	事業名	放課後児童クラブ事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	----	---	-----	------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる			
		施策の進め方		児童健全育成事業の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 放課後に、保護者が就労等により留守になる家庭の児童を保護者に対し、替わって預かる。 児童クラブ6箇所（長久手南、下山、長久手、上郷、市が洞、西） 学童保育所4箇所（長久手、長久手長南、長久手北、市が洞）					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の児童を健全に育成する					
	事業を構成する事務事業	① 放課後児童クラブ運営事業	拡充	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							56,410
人件費(B)		千円	決算				13,158
総コスト(A)+(B)		千円	決算				69,568

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 児童クラブ加入希望者の受入れ割合		%	目標			100.0	100.0	
				実績			88.0	85.8	
	B 学童保育所加入希望者の受入れ割合		%	目標			100.0	100.0	
				実績			100.0	100.0	
C			目標						
			実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A	放課後の児童の居場所づくりのため、(児童クラブにおいての) 入所児童数/申込者数
B	放課後の児童の居場所づくりのため、(学童保育所においての) 入所児童数/申込者数
C	

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年度に施行された、子ども・子育て新制度では、放課後児童クラブも対象事業の1つとされており、質・量ともに充実を図っていくこととしている。 近隣の実施町：尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 児童クラブ入所希望者増加のため、定員を改正したり(長久手52→71、下山50→59、市が洞60→70、南40→50)、市が洞学童保育所を平成27年12月に建設し、市が洞小学校区の受入れ体制を拡充したりしたが、未だ待機児童が発生している状態である。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、児童クラブや学童保育所に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。 国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。 平成28年度に向けて、放課後児童クラブについては西児童クラブにおいて定員を拡充するとともに、東小学校の一体化に合わせて定員を拡充する。学童保育所については、市が洞学童保育所の建設、移転に伴い、定員を拡充する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	放課後児童クラブ事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	放課後児童クラブ運営事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 放課後に、保護者が就労等により留守になる家庭に対し、児童を保護者に替わって預かる。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 放課後の児童を健全に育成する

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				62,629
		決算				56,410

3. 活動推移

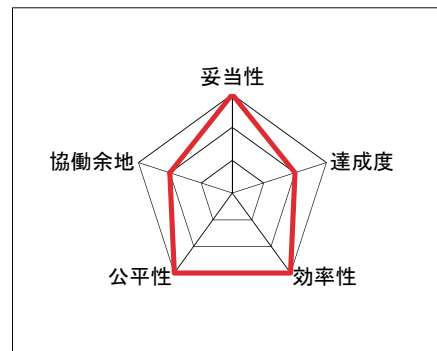
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
児童クラブ加入者数	人	目標	188	256	256	300	
		実績	164	205	220	297	
学童保育所加入者数	人	目標	161	156	186	215	
		実績	161	156	186	215	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成27年度に施行された、子ども・子育て新制度では、児童クラブも対象事業の1つとされており、質・量ともに充実を図っていくこととしている。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今度も、児童クラブに対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後の子どもの居場所づくりに努める。国によって示された「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体化に努める。平成28年度に向けて、放課後児童クラブについては西児童クラブにおいて定員を拡充するとともに、東小学校の一体化に合わせて定員を拡充する。学童保育所については、市が洞学童保育所の建設、移転に伴い、定員を拡充する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	51 -	事業名	児童館利用促進事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	------	-----	-----------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる		
		施策の進め方		児童健全育成事業の充実		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とすることを目的とする。 (概要) 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館及び長久手南児童館を運営する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の発達を増進し、地域住民と連携した活動を進め、活性化を図る。				
	事業を構成する事務事業	① 児童館活動事業	継続	④		
	② 児童館まつり実施事業	拡充	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	56,288
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	3,666
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	59,954

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 入館者数		人	目標			69,500	69,000
				実績			70,069	86,739
	B 児童館まつり参加者数		人	目標			1,500	1,500
				実績			1,499	1,578
C								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 児童館は児童の発達を増進し、地域住民と連携した活動を進める場として児童の健全育成に有益であるため、入館者数とする								
B より多くの方に来場してもらうため、前年度実績からの増加を目標とする。								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 尾張旭市、日進市(複合施設)、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 近隣大学との学校連携(地域資源の活用)を進めたり、こどもスタッフの活動事例を紹介する(地域活動に頑張る子どものやりがい作り)ことにより、地域住民の企画運営への参加促進に努める。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、放課後の児童の居場所に対するニーズは高まると考えられるため、今後も地域に身近な事業を実施することで、児童館を地域における子育て支援の拠点とするとともに子どもの健全育成の場とする。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 児童館まつりについては、新たに市が洞児童館も開催会場とし、4箇所での開催とする。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	児童館利用促進事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	児童館活動事業									
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、児童を対象に、児童厚生員が料理教室、人形劇公演、お楽しみ遠足等を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図るとともに、豊かな人間性の発達を促す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				471
		決算				226

3. 活動推移

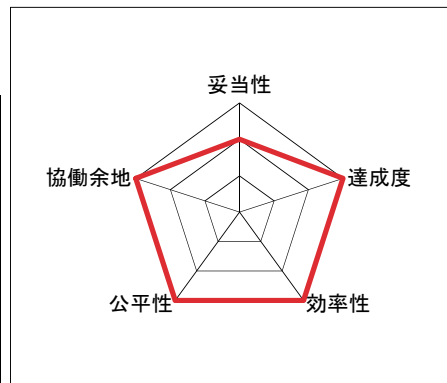
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
入館者数	人	目標	70,000	68,000	69,500	69,000	
		実績	66,635	69,374	70,069	86,739	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 今後も、放課後の児童の居場所に対するニーズは高まると考えられる

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 学校や保育園等、子育て関連施設への情報提供を拡充し、地域住民の事業参加の促進に努める。 今後、「(仮称)児童館おたすけたい」を組織化し、地域の住民、特に高齢者に、児童館活動の補助、遊びの伝承役、環境整備等、これまで培われた経験や技術を活かして様々な活動のお手伝いをしていただく中で、地域の子ども、子育て中の保護者たちと世代間交流を図る。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	児童館利用促進事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	児童館まつり実施事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童に対し、こどもスタッフ会議を実施し、児童館まつりを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子どものボランティアの育成・援助を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				650
		決算				526

3. 活動推移

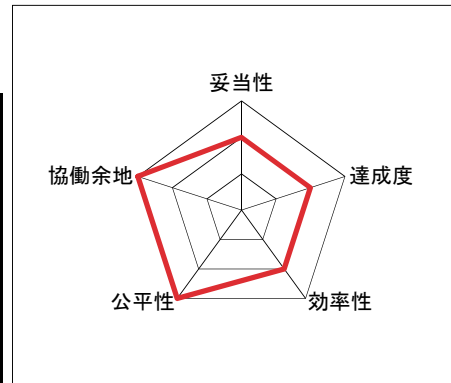
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
児童館まつり参加者数	人	目標	1,504	1,500	1,500	1,500	
		実績	1,577	1,493	1,499	1,578	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後も、子どもスタッフを始め、地域住民の企画運営への参加促進に努める。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
近隣大学との学校連携（地域資源の活用）を進めたり、こどもスタッフの活動事例を紹介する（地域活動に頑張る子どものやりがい作り）ことにより、地域住民の企画運営への参加促進に努める。 また、新たに市が洞児童館も開催会場とし、4箇所での開催とする。

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	52 -	事業名	放課後子ども教室事業	担当部課	福祉部 子育て支援課
------	------	-----	------------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	2	住民の自主的な生涯学習活動を支える			
		施策の進め方		学習機会の提供			
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～			
		政策分類	(31)	放課後子ども教室の充実			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 定員最大60人で給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 西小学校及び南小学校に通う小学校1年生から6年生までの児童					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 西及び南小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 放課後子ども教室運営事業	拡充	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							8,123
人件費(B)	千円	決算					4,902
総コスト(A)+(B)	千円	決算					13,025

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 放課後子ども教室加入希望者の受入れ割合	%	目標			100	100	100	
			実績			85	92	75.5	
	B		目標						
C		目標							
		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
	A	(放課後子ども教室においての) 参加児童数 / 申込者数							
	B								
	C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施町：瀬戸市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 放課後子ども教室参加希望者増加のため、定員を改正した(西、南とも50人→60人)が、待機児童が発生している状態である。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今度も、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。この方向性に基づき、平成28年度から東小学校において新たに教室を開設し、放課後児童クラブを上郷児童館から移転し、市内初の一体型を進める。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	放課後子ども教室事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

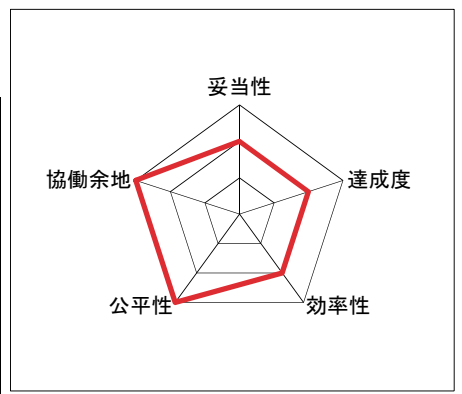
番号	①	事務事業名	放課後子ども教室運営事業									
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 西小学校及び南小学校の放課後子ども教室登録者に対し、小学校の余裕教室を利用して、放課後子ども教室を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				9,098
		決算				8,123

6. 今後の方向性

拡充

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
放課後子ども教室登録者数	人	目標		65	100	120	
		実績		80	100	120	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

今度も、放課後子ども教室に対するニーズは高まると考えられるため、引き続き、放課後の子どもの居場所づくりに努める。
この方向性に基づき、平成28年度から東小学校において新たに教室を開設し、放課後児童クラブを上郷児童館から移転し、市内初の一体型を進める。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

「長久手市 子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成31年度までに全小学校に放課後子ども教室を開室すると共に、うち半数で放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型を実現することとしている。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	53	—	事業名	健診事業	担当部課	福祉部 保険医療課
------	----	---	-----	------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する			
		施策の進め方	1	健診・保健指導の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 身体測定、尿検査などの健康診査を市内医療機関にて実施。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 後期高齢者医療制度被保険者および、当該年度中に被保険者となる者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活習慣病を早期に発見し、早期に治療することにより、市民の健康を増進し、医療費の削減につなげる。					
	事業を構成する事務事業	① 健診事業	改善・見直し	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	18,332
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	2,444
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	20,776

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 健診受診率		%	目標	36.04	38.85	39.66	45.98	
				実績	35.94	37.21	42.39	45.73	
	B			目標					
C			目標						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A H23～H26の伸び率を平均した率をH27伸び率とし、H26実績にH27伸び率をかけて算出									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 愛知県内の市町村で実施
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標はほぼ達成しており、愛知県内での受診率は比較的高い水準にある。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 受診案内を送付している対象が、新たに被保険者となる住民であるため、制度が必ずしも対象者全員に周知されている訳ではない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) さらなる受診率の向上のため、送付する受診案内の内容の充実と、制度理解のための啓発方法を模索する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健診事業									
-----	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

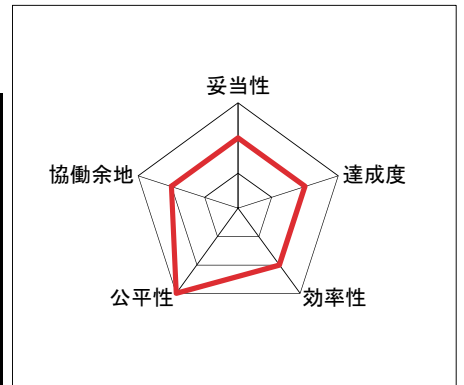
番号	①	事務事業名	健診事業									
----	---	-------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 当該年度中に被保険者となる者に対し受診案内を送付する
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 受診率の向上に結びつける。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				18,524
		決算				18,332

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受診案内の送付	通	目標	400	400	400	400	
		実績	325	274	312	358	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 受診案内以外の制度周知の方法を模索する。
--

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	54	-	事業名	国民健康保険事業	担当部課	福祉部 保険医療課
------	----	---	-----	----------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・国民健康保険に関する窓口事務(資格取得、資格喪失、被保険者証の再交付等) ・国民健康保険税の賦課事務 ・保険給付事務(療養費、高額療養費などの支給)				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 国民健康保険被保険者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国民健康保険被保険者の理解を得ながら、制度の持続可能な運営を行う。				
	事業を構成する事務事業	① 趣旨普及事業	改善・見直し	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算			
	決算						159
	人件費(B)	千円	決算				34,535
	総コスト(A)+(B)	千円	決算				34,694

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		A 啓発回数	回	目標			4	3
	実績					4	3	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
			実績					
	【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)							
	A 普及のため、パンフレットの送付及び広報掲載の合計数							
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 今後、平成30年度の国保制度改革(運営の在り方の見直し)に合わせて、事務事業の進め方の標準化、効率化を進める必要がある。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標を達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 事務事業の進め方を見直して、事務を効率化する。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後、平成30年度の国保制度改革(運営の在り方の見直し)に合わせて、事務事業の標準化、効率化、広域化の観点から見直しを図る。国保制度改革の内容について周知方法の充実を図る。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	国民健康保険事業							
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--

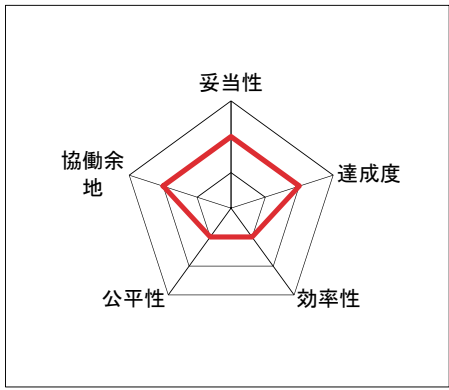
番号	①	事務事業名	趣旨普及事業										
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市国民健康保険に加入している70才～74才の被保険者に対して、高齢受給者証一斉更新(70才以上)に合わせて、制度案内パンフレットを送付した。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国保の高齢受給者証制度について理解を深めてもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	1
公平性	1
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	336
		決算	/	/	/	159

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
パンフレットの送付回数	回	目標			2	1	
		実績			2	1	
広報紙への掲載	回	目標			2	2	
		実績			2	2	

【コメント】
(改善の方法、今後の具体的展開など)

国保制度は年度ごとに制度改正がある。パンフレットを単一の目的で別々に作成・購入し送付するのではなく、制度全体を俯瞰して理解できるように複合的な内容のパンフレットを作成し送付する。
保険証の一斉更新時や窓口、広報紙の活用、健康教室など機会をとらえて制度の趣旨を周知し理解をしてもらえるようにする。

4. 事務事業を取り巻く環境変化
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

今後予定される様々な国保制度の改正に合わせて、制度案内のパンフレットを充実させ、複合的に制度の理解ができるようにする。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	55	—	事業名	保健事業	担当部課	福祉部 保険医療課
------	----	---	-----	------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	12	生活習慣病を予防する保健サービスを充実する			
		施策の進め方	1	健診・保健指導の充実			
	まちづくり 行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。 健康教室・特定健康診査・特定保健指導・医療費通知・後発医薬品差額通知					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国民健康保険加入者)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 保健事業を通して、市民の健康づくりへの関心を高めて「行動変容」を促し、健康長寿なまちを実現する。					
	事業を構成する事務事業	① 保健衛生普及事業	改善・見直し	④			
	② 特定健康診査事業	改善・見直し	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							41,888
人件費(B)		千円	決算				10,689
総コスト(A)+(B)		千円	決算				52,577

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 特定健診受診率		%	目標	65.0	50.0	52.5	55.0
実績				48.1	49.0	52.3	50.6	
B 特定保健指導終了率		%	目標	45.0	25.0	30.0	35.0	
			実績	33.1	26.7	31.3	実施中	
C			目標					
			実績					

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 特定健診の受診率を高めることで、生活習慣病の予防及び早期発見を促し、糖尿病などの重症化を防ぐ。

B 生活習慣病のリスクの高い人を対象として特定保健指導を実施し、生活習慣の改善を促し、重症化を防ぐ。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 県内の市町村でも同様に実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 特定健診受診率については、目標値は達成できなかったものの、県内でも比較的高い水準にある。特定保健指導については、平成27年度分は平成28年9月まで実施中。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 特定健診受診率については、年代ごとに差があり、特に40～50代の受診率が低いので、年代別にアプローチ方法を変える。特定保健指導と健康教室が連動していないため、改善効果がわからない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 健康課題は、1人1人異なるので、保健事業として、地域別、世代別、健康リスク別にアプローチして、健康づくりにかかる制約をクリアし、健康づくりに取り組みやすい環境を整える。そのことにより健康への関心を高めて「行動変容」を促し、健康長寿なまちの実現を目指す。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名		保健事業										
番号	①	事務事業名	保健衛生普及事業									

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 国保加入者に対して、保健事業を実施。 ・健康教室：10回連続講座×2回 全20回実施 ・特定保健指導対象者向け 1回実施 ・医療費通知：年6回、後発医薬品差額通知：年3回 ・まちの保健師活動の実施（週1回）
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 保健事業を通して、健康に対する意識を高めて、健康増進、医療費の適正化につなげる

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				4,614
		決算				4,216

3. 活動推移

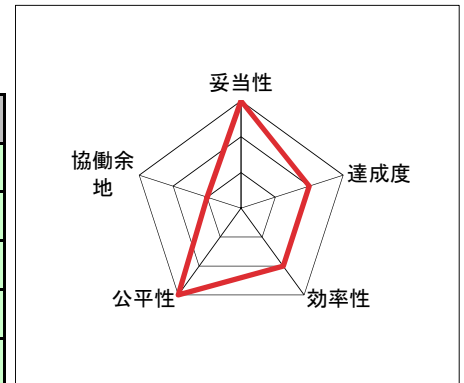
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
健康教室参加者数	人	目標			100	160	
		実績			92	148	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
国保加入者の健康課題に合わせた保健事業が必要

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
健康課題に合わせた保健事業を展開する。
【地域別アプローチ】元気高齢者を対象とする健康教室の市民運営・地域展開を進めていくために、教室参加者から、運営の担い手を発掘する。
【健康リスク別アプローチ】健康リスクの高い人向けの事業を専門家や大学、事業者との連携・協働により進めていく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

					事業名	保健事業					
番号	②	事務事業名	特定健康診査事業								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 国保加入者に対して、特定健診、特定保健指導を実施。 特定健康診査 集団検診：22日間 個別健診：15医療機関 特定保健指導 保健師・栄養士による生活改善指導
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生活習慣病の予防及び重症化防止する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				41,725
		決算				37,672

3. 活動推移

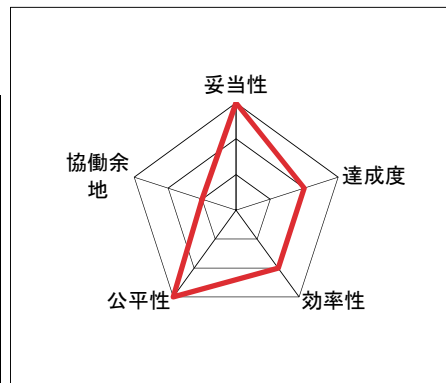
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
健診受診者数	人	目標	4,098	3,210	3,444	3,963	
		実績	3,035	3,144	3,429	3,648	
保健指導利用者数	人	目標	164	92	119	143	
		実績	150	110	145	115	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	1



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 特定健診受診率の向上のため、年代ごとの受診率の状況(未受診理由等)を把握し、年代別にアプローチする。 特定保健指導については、個別指導と集団指導(健康教室)を組み合わせ、健康リスク別にアプローチする。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	56	—	事業名	健康づくり事業	担当部課	福祉部 健康推進課
------	----	---	-----	---------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	13	住民の健康づくりを支える			
		施策の進め方					
	まちづくり行程表	フラッグ					
		政策分類					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 平成25年度に策定した「健康づくり計画(第2次)」に基づき、健康に対する啓発を目的に健康教育、8520運動、健康展事業、心の体温計及び禁煙外来治療費の助成を実施し、市民の健康づくり事業を推進していく。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の健康づくりを推進する。				
	事業を構成する事務事業	① 健康教育事業	継続	④ 精神保健事業	継続	
	② 8520運動事業	拡充	⑤ 禁煙外来治療費助成事業	継続		
	③ 健康展事業	継続	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							798
人件費(B)	千円	決算					17,439
総コスト(A)+(B)	千円	決算					18,237

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 健康づくり事業に関わった延べ人数	人	目標					10,900	
			実績					16,085	
	B		目標						
			実績						
C		目標							
		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 健康づくりに関して、多くの市民に関わって貰うため、市人口の20%程度の延べ参加者。									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21(第2次)市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 延べ人数で人口の20%を市民の参加があった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 平成27年度新規事業を除き、前年度比で関わった人数等は増加傾向にあるが、健康展の来場者数を増加することが課題である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民へ健康に対する意識向上のため、健康に関することを実施した場合にポイントを付けて、自らの健康を管理する人を増やし、健康づくりをするきっかけづくりを進めるため、平成28年度から「健康マイレージ事業」の実施する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健康づくり事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	健康教育事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 「第2次長久手市健康づくり計画」に基づき、市民に対して市民の健康づくりに関する意識を高めるため、健康講座を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 健康に関する様々な知識について知って貰い、健康づくりに対する意識向上を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算			370	520
		決算			291	159

3. 活動推移

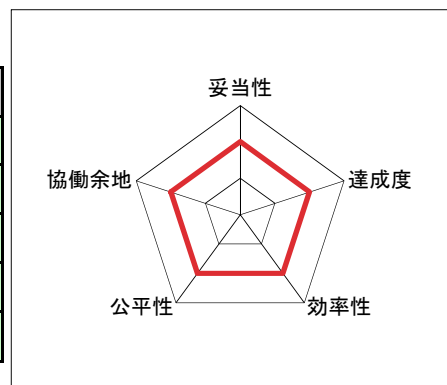
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	人	目標			150	180	
		実績			136	196	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) もっと身近に自分自身の健康状態を知って貰い、健康に関する意識向上に役立つような機器を購入する。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 健康講座で健康に関する知識だけでなく、市民に自分の身体の状態を知って貰い、講座の受講後に、市民個々の取組方法が分かる事業を実施する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健康づくり事業					
-----	---------	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	8520運動事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 「第2次長久手市健康づくり計画」に基づき、「歯の健康」の領域における取り組みとして、生涯を通じた歯の健康づくりを進める。85歳で20本以上自分の歯を保つことを達成した市民に表彰する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 8520運動を広く市民に周知していくことで、歯の健康が大切であることを認識して貰う。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算		51	87	108
		決算		51	87	100

3. 活動推移

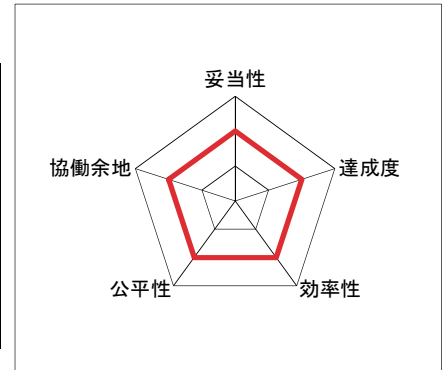
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
対象者数	人	目標		15	20	20	
		実績		11	16	21	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 70歳までの対象者であった歯周病検診を平成28年度から75歳を対象者として追加する。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 市歯科医会が実施している「8020運動表彰式」と連携をして、更に「8520運動表彰式」を意義あるものとするために、平成28年度から90歳になっても自分の歯を20本以上保っている市民を対象に表彰式を実施する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健康づくり事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

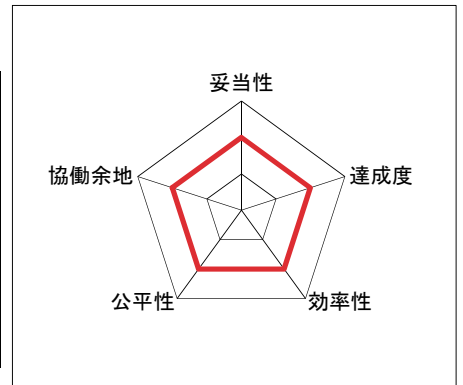
番号	③	事務事業名	健康展事業									
----	---	-------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 「第2次長久手市健康づくり計画」に基づき、様々な年代の人が多数訪れる「ながくて市民まつり」の機会を捉え、健康展を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 広く市民の健康に対する意識を高めて貰う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	179	/	202
		決算	/	179	/	202

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
来場者数	人	目標	/	600	650	700	
		実績	/	525	671	635	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 雨天等の天候の状況で市民祭りに訪れる人数が変化する。
--

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 昨年度より愛知医科大学看護学部の協力を得たことにより、健康展の事業に協力してくれるボランティアが増えたので、更に健康展に多くの人を訪れて貰うような内容を検討する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健康づくり事業					
-----	---------	--	--	--	--	--

番号	④	事務事業名	精神保健事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 「第2次長久手市健康づくり計画」に基づき、「こころ」の領域における取組として、「こころの体温計」システムを導入し、市民が携帯電話やパソコンから、いつでも、どこでも、気軽にストレスや落ち込み度をセルフチェックできるようにする。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自分自身のこころの状態を自分自身で把握して貰う。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				158
		決算				158

3. 活動推移

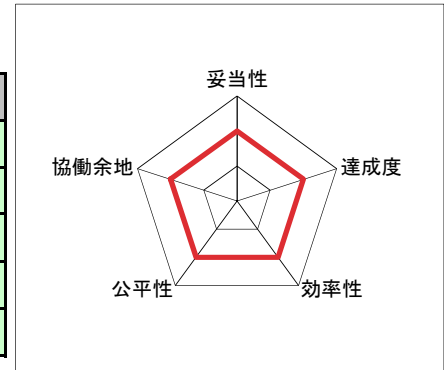
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
アクセス延べ数	人	目標				12,000	
		実績				15,190	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 市広報等で、市民がもっと定期的にアクセスできるように普及活動の方法を検討する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	健康づくり事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	⑤	事務事業名	禁煙外来治療費助成事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 第2次長久手市健康づくり計画に基づき、「たばこ・アルコール」の領域における禁煙に取り組みやすい環境づくりの具体的な対策として、市民に禁煙に向けた取組を支援する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の禁煙に向けた取組を支援することで、生活習慣病、がん予防対策等を推進する

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	300
		決算	/	/	/	179

3. 活動推移

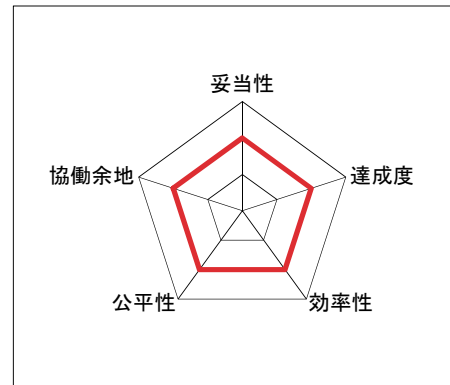
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
申請者数	人	目標	/	/	/	60	
		実績	/	/	/	52	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年4月から医療保険の適用範囲が、喫煙指数(200本=1日吸う本数×年数)が廃止になる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 平成27年度は、52人が事前に申請し、達成者が20人であったが、今後、達成者にアンケートを取りながら事業内容について検討する。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	57 -	事業名	農業振興事業	担当部課	建設部 みどりの推進課
------	------	-----	--------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	7	農のあるくらし・農のあるまちを支える		
		施策の進め方	-			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 耕作放棄地調査 耕作放棄地権者に対する利用意向調査 耕作放棄地の耕起委託作業 景観作物を植える				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 香流川沿いの耕作放棄地及びその土地所有者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 耕作放棄地の解消し、景観をよくしたい				
	事業を構成する事務事業	① 農業振興事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算	/	/	/
決算				/	/	/	134
人件費(B)	千円		決算	/	/	/	4,277
総コスト(A)+(B)	千円		決算	/	/	/	4,411

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	景観作物栽培	㎡	目標	/	/	/	4,104
実績				/	/	/	4,104	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 香流川沿いの耕作放棄地を精査した結果、コスモス栽培に対応していただける水田の総面積								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 岡崎市では、土地所有者に代って放棄地を再生利用する受け手に再生利用交付金を配布している。ただし、景観環境作物は対象外。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 予定していた耕作放棄地に景観作物を栽培することによって、20年来の耕作放棄地の耕作を再開することができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 継続して景観作物栽培を行ってもらおうよう地権者に働きかける。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も、景観作物栽培を継続し、将来的には耕作地として農業者に活用してもらおう。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	農業振興事業									
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

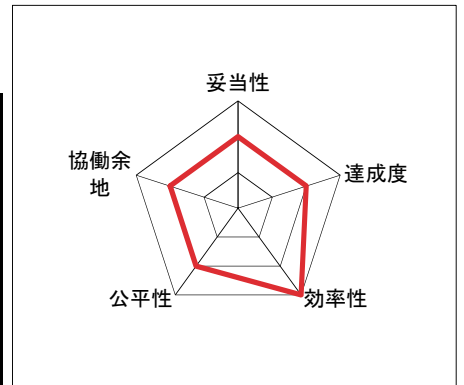
番号	①	事務事業名	農業振興事業									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) ・ 耕作放棄地及びその土地所有者が対象 ・ 景観作物を植えること
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 耕作放棄地で景観作物を栽培することで、景観・農地保全を図る

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				600
		決算				134

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
景観作物栽培	㎡	目標				4,104	
		実績				4,104	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

平成27年度全国都市緑化あいちフェアの事業の一環として実施された耕作放棄地対策事業を来年度以降も継続して行っていく。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	58	—	事業名	平成こども塾事業	担当部課	建設部 みどりの推進課
------	----	---	-----	----------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち		
		分野別項目	7	農のある暮らし、農のあるまちを支える		
		施策の進め方	5	自然環境体験活動の推進		
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・学習活動を通じた、地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を主体とする小中学生とその保護者				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。				
	事業を構成する事務事業	① 平成こども塾企画事業	継続	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	3,539
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	20,566
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	24,105

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	子どもの満足度	%	目標	85	85	85	85
実績				97	97	98	98	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A	おおむね参加者の満足が得られること(満足度85%)						
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動並びに子どもを主体として食と農に関する取組を実践することについては例を聞かない。全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 十分に達成できている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 指導者が高齢化しつつあるため、その世代交代を円滑に行いたい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今までどおり、地域の環境や福祉についての学習活動を地域住民とともに推進していきたい。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	平成こども塾事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

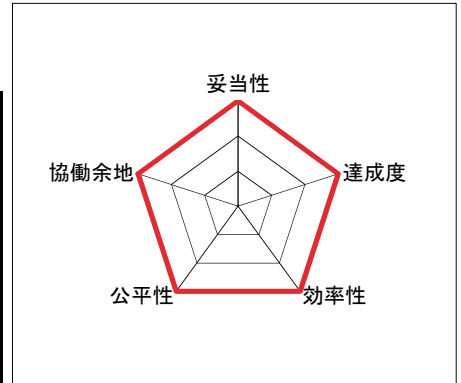
番号	①	事務事業名	平成こども塾企画事業									
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) ・市民を主体とする小中学生とその保護者が対象。 ・環境団体、地域で活動する団体(サポート隊)や専門家の指導の下、様々な体験活動を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子どもたちの感性や、生きる力、世代を超えたコミュニケーション能力を育んでもらう。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	3,484	3,484	3,575	3,635
		決算	3,429	3,509	3,484	3,539

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
子どもの満足度	%	目標	85	85	85	85	
		実績	97	97	98	98	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 事業は安定しており、そのまま継続することが望ましい。しかし、指導者の高齢化が徐々に進んでおり、指導者の世代交代をスムーズに行っていきたい。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 今まで通り継続する

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	59	-	事業名	給食物資調達事業	担当部課	教育部 給食センター
------	----	---	-----	----------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(3)	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	(14)	食育を進め、健康な暮らしを支える		
		施策の進め方	(1)(2)(3)	(1)食を通じた健康の増進、(2)子どもに対する食育の推進、(3)地産地消の推進		
	まちづくり行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・給食の安定供給のため食材を不足無く調達する。 ・給食物資選定委員会を月1回開催し、見本品や価格、実績勘案、旬の時期等の配慮、予算に基づき選定する。 ・地場産農畜産物の優先使用により、地元生産者を育成し、多様な食材を安定確保する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 給食物資、市立小中学校児童生徒及び市立保育園園児				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地元産食材を使用した安心で安全な給食の安定した供給を行う。				
	事業を構成する事務事業	① 給食物資調達事業	継続	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							317,708
人件費(B)		千円	決算				5,048
総コスト(A)+(B)		千円	決算				322,756

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	愛知県産食材の割合	%	目標	40.0	40.0	50.0	53.0
実績				34.8	47.3	52.4	47.3	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 重量を基準として、食材として使用した全農畜産物のうち愛知県産農畜産物の占める割合								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 長久手市産食材は生産者が小規模で給食物資としては調達しにくい状況が続いている。天候に左右されることが多い。愛知県学校給食会等で、愛知県産食材の加工品開発が進んでいる。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ここ数年の取組で愛知県産食材の使用割合は頂点を迎え、横ばいとなっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) アレルギー対応のため献立を早い時期に確定することから、天候に大きく影響を受ける農産物の定量の調達が難しい。県内産の農産物では、年を通しての調達が難しい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 安全な食材で大量納入が可能な協力事業者が増えるよう、納入指定事業者の新規参入を推進する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	給食物資調達事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

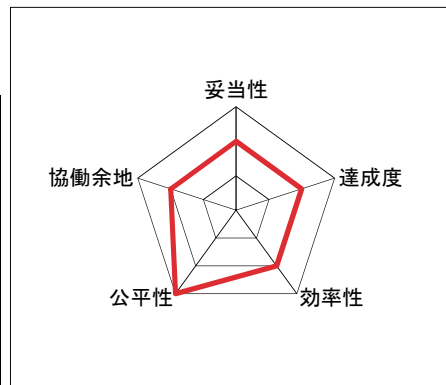
番号	①	事務事業名	給食物資調達事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> 給食物資、市立小中学校児童生徒及び市立保育園園児 食材を不足無く調達 給食物資選定委員会の開催 地場産農畜産物の優先使用
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地元産食材を使用した安心で安全な給食の安定した供給を行う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				344,436
		決算				317,708

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
地場産農産物の品目数	品	目標	-	30	40	40	
		実績	28	40	42	42	
物資選定委員会の開催	回	目標	12	12	12	12	
		実績	12	12	12	12	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

地場産農畜産物の旬の季節に合わせた献立作りのほか、地場産食材を使用したコロッケなどの加工品等の情報を活用し、いっそうの地産地消の推進を図る。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市教育委員会及び愛知県教育委員会の方針として、地場産食材の活用推進が図られている。愛知県学校給食会や地元企業等で愛知県産食材加工品の開発が進んでいる。なお、地場産農畜産物の品目数は行政評価の目標に設定していなかったが、平成25年度より内部目標に設定していたため記載した。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	60	-	事業名	中央図書館事業	担当部課	教育部 中央図書館
------	----	---	-----	---------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針				
		分野別項目				
		施策の進め方				
	まちづくり 行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 図書館法に基づく図書館運営に必要な業務。図書資料を収集、整理、保存し、市民に提供する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始めとする図書館利用者 貸出対象は市内在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(日進市、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、名古屋市名東区、守山区)				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とし、市民の読書活動が活発になる。				
	事業を構成する事務事業	① 中央図書館運営事業	継続	④		
	② 講座等企画事業	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	23,520
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	37,199
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	60,719

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	市内利用者の貸出点数	点	目標	290,000	293,000	291,327	296,266
実績				293,959	288,443	298,223	314,331	
B	子ども読書活動推進計画事業の進捗率	%	目標	—	—	60	65	
			実績	—	—	60	66	
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 長久手市民への個人貸出の貸出総点数								
B 子ども読書活動推進計画の各事業の達成状況を割合で示した数値のH26年、H27年度の平均値								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・愛知県内の指定管理者制度の導入率約14%、カウンター業務一部委託導入率約47%「愛知県公立図書館調査2015」より ・文部科学省調査では、全国の市町村1,741のうち、1,261の自治体、約72%が子ども読書活動推進計画を策定済みである。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 市内利用者の貸出点数(市内在住、在学、在勤、在園)は、H27年度は前年度比では約5%増加の結果であり、年間個人貸出点数(市内及び広域を含む全て)は、H27年度は前年度実施で約3%増加の結果だったため、長久手市民の貸出点数の方が総貸出点数よりも上まわる結果となった。また、子ども読書活動推進計画は、H27年度は計画のおよそ66%を達成した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 図書館の個人貸出点数は全国的には横ばいであり、近隣市では年々減少傾向にある中で、長久手市はH26年度以降、2年連続で増加している。個人貸出点数の値は全国データ等での判断が必要となる。また、子ども読書活動推進計画では、図書ボランティアによる協力が不可欠なため、ボランティア数の維持と確保が課題である。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) H27年度から図書館運営に関する方針に関して図書館運営協議会にて協議を行っている。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	中央図書館事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

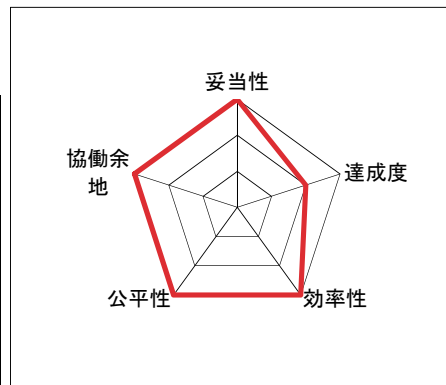
番号	①	事務事業名	中央図書館運営事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を始めとする図書館利用者に対し、図書資料を収集、整理、保存し、提供する。 貸出対象は市内在住、在学、在勤、在園者と広域地区利用者(日進市、瀬戸市、尾張旭市、豊田市、名古屋市名東区、守山区)
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とし、市民の読書活動を活発にさせる。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				23,079
		決算				23,016

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
ブックスタートバック配布者数	人	目標	—	100	200	400	
		実績	—	86	316	348	
図書ボランティア登録者数	人	目標	—	—	50	60	
		実績	—	—	56	73	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
個人貸出点数の増加を図るため、H28年度から新たに導入した障がい者向けバリアフリー資料の増加等、司書による魅力ある選書に努める。また、子ども読書活動推進計画はH30年3月末で第1次計画が終了するため、H29年度に第2次の計画策定を行う。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	中央図書館事業									
-----	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	講座等企画事業									
----	---	-------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民を始めとする図書館利用者に対し、図書館講座や企画展を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生涯学習の場として市民が図書館を活発に利用するとともに、市民が図書館事業へ参加できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				596
		決算				504

3. 活動推移

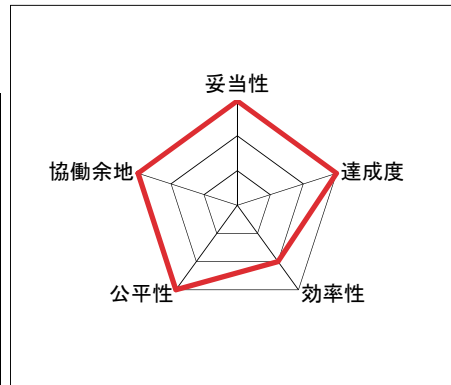
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
講座参加者数	人	目標	—	30	30	30	
		実績	—	34	36	30	
企画展示回数	回	目標	4	5	4	4	
		実績	5	2	4	3	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 図書館修理ボランティアの増加を目指し、中央図書館と連携する市内小中学校及び児童館の図書修理も増やす。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	61 -	事業名	公共料金口座振替化事業	担当部課	会計課
------	------	-----	-------------	------	-----

基本情報	総合計画	基本方針	-			
		分野別項目	-			
		施策の進め方	-			
	まちづくり行程表	フラッグ	-			
		政策分類	-			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 支払等の事務手法を見直し、必要に応じ適宜改正することで、適正な支出行為を行うとともに、職員の事務に係わる時間や経費等の削減を図る。公共料金のうち水道料金及び電気料金の一部について実施。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 施設を管理している全職員を対象に実施。				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 支払等の事務について、職員の作業量の軽減及びコストの削減につなげる。				
	事業を構成する事務事業	① 公共料金口座振替化事業	継続	④		
		②		⑤		
		③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							128
人件費(B)		千円	決算				3,437
総コスト(A)+(B)		千円	決算				3,565

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	月平均作成伝票数	枚	目標			53	93
実績						186	99	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
	A	月平均作成伝票数						
	B							
	C							

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 公共料金口座振替化事業 静岡県牧ノ原市:平成25年2月から実施。現在は水道、電気、電話(一部除く)。 宮城県大和町:平成24年3月から実施。現在は水道、電気、電話。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 納付書利用時に比べ、一括起票が可能となり伝票作成数の削減が可能となった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 平成28年度からの新財務会計システム導入により、一括で伝票作成ができず各課分の伝票が作成されるため伝票枚数削減にはつながらない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 公共施設の光熱水費の予算が一括管理ではないため年度替わりの科目マスタ作成業務に時間を要する。新財務会計においても削減できる内容を検証していく必要がある。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	支払等事務改良事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

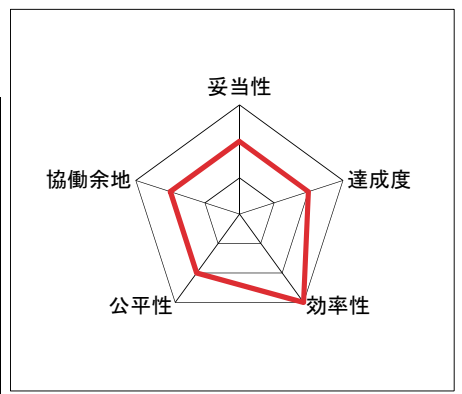
番号	①	事務事業名	公共料金口座振替化事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 施設を管理している全職員に対し、光熱水費の一部の伝票を会計課で「公振くん」のシステムを活用し一括で作成をする。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 施設を管理している全職員の作業量の削減。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	2
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				173
		決算				128

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
月平均作成伝票数	枚	目標			53	93	
		実績			186	99	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
現在、水道料金と電気料金の一部について公共料金口座自動振替とされているが、その他の公共料金についての導入については職員の業務量及びコストの削減につながるかどうかを新財務会計システムにおいて検証していく必要がある。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成28年度から新財務会計システムを導入。旧財務会計システム同様に会計課が伝票を起票するが新財務会計システムにおいてはこれまでのように一括伝票ではなく各課伝票となり伝票枚数は増える。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	62 -	事業名	消防補助事業	担当部課	消防本部 総務課
------	------	-----	--------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	1	災害に強いまちをつくる			
		施策の進め方	-				
	まちづくり行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市危険物安全協会が行う事業を推進するため、補助金を交付すること及び長久手市女性防火クラブがクラブ活動のために行う事業に要する経費について、補助金を交付すること。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 各団体(火災予防に関する視察、研修、講習会等、会員の資質向上に関する要綱に規定される事業を実施する団体)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 両団体の実施する火災予防普及啓発事業を推進する。					
	事業を構成する事務事業	① 危険物安全協会補助金	継続	④			
	② 女性消防クラブ補助金	継続	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算	/	/	/
決算				/	/	/	450
人件費(B)	千円	決算	/	/	/	/	229
総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	/	679

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 危安協の補助対象事業経費	千円	予算		137	137	136	120	
			決算		133	134	120	120	
	B 女防クの補助対象事業経費	千円	予算		438	450	404	437	
			決算		415	425	337	333	
C									

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A	補助事業申請時の事業予定が、実績報告にて補助額100,000円の適正な執行がなされているか確認する。
B	補助事業申請時の事業予定が、実績報告にて補助額350,000円の適正な執行がなされているか確認する。
C	

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町においても同様に継続して実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 危険物安全協会は、補助対象事業の執行について、交付申請時の計画どおり執行されている。 女性消防クラブは、補助対象事業の執行について、ほぼ交付申請時の計画どおり執行されている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 危険物安全協会は、補助金を得て事業の推進が図れている。 女性消防クラブは、補助金に頼らざるを得ない団体でもあるので、現状を維持していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 補助事業の執行状況及び事業効果を確認しながら、補助金の増減を検討しつつ、団体の活動を支援していく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防補助事業										
番号	①	事務事業名	危険物安全協会補助金								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 危険物安全協会が行う、火災予防普及啓発事業に対して、100,000円の補助金を交付している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 団体が事業を推進できるようにする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				100
		決算				100

3. 活動推移

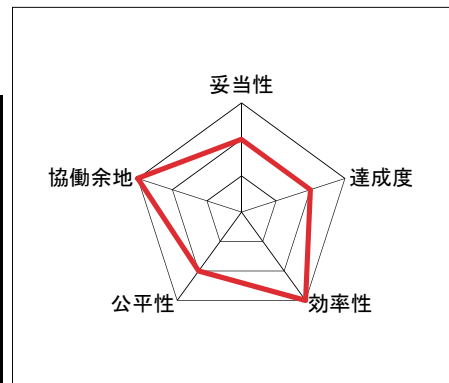
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助事業経費	千円	予算	137	137	136	120	
		決算	133	134	120	120	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近年の執行状況からも補助額等の変更は必要ない。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 引き続き団体の事業を推進するため、補助金交付事業を継続していく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防補助事業					
-----	--------	--	--	--	--	--

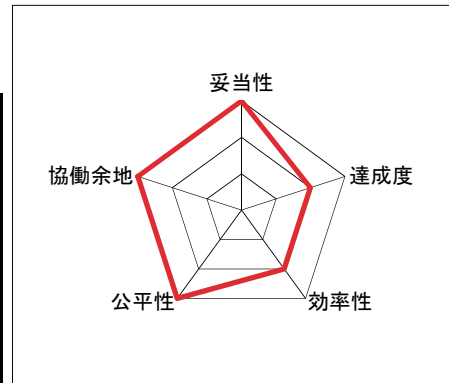
番号	②	事務事業名	女性消防クラブ補助金							
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 女性消防クラブが実施する、火災予防推進事業、研修事業等に対して、350,000円の補助金を交付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) クラブ活動を推進できるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	350
		決算	/	/	/	350

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
補助事業経費	千円	予算	438	450	404	437	
		決算	415	425	337	333	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
補助対象事業経費に大幅な増減が発生するようなら、補助額の増減を検討する。

6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
引き続きクラブ活動を支援し、活動の推進を図るため、近年の補助額執行残を改善するよう事業計画の見直し等の指導をし、補助金の交付を継続していく。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	63	事業名	消防団活性化事業	担当部課	消防本部 総務課
------	----	-----	----------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	1	災害に強いまち			
		施策の進め方	—				
	まちづくり行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域住民や事業所などの消防団活動への理解を高め、新規団員の確保等の入団促進を図り、消防団組織を活性化する。併せて、消防団活動に必要な災害対応用資機材や安全装備品の充実を図り、地域防災力の強化を図る。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民を始め市内事業所の職員や大学の学生及び消防団員				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 消防団に対する理解を高め、消防団への入団につなげる。資機材等の充実により地域防災力の強化につなげる。				
	事業を構成する事務事業	① 入団促進事務事業	継続	④		
	② 消防団啓発事務事業	継続	⑤			
	③ 消防団資機材整備事務事業	継続	⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			
決算							1,747
人件費(B)	千円	決算					4,200
総コスト(A)+(B)	千円	決算					5,947

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 新規入団員	人	目標					10
			実績					16
	B 資機材等整備率	%	目標			100		100
実績					100		80	
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 入団促進事業及び消防団啓発事業は、消防団員確保を目的としているため、新規入団員数を指標とする。

B 年度別の資機材等整備計画に基づき、年度内での配備数との比較を指標とする。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町でも新入団員確保は、困難を極めている。 資機材整備においても費用負担が高額であり、複数年にわたる整備となっている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 新入団員は、目標を上回る16人の新入団員を確保した。 資機材は、現場活動用消防ホースの購入を行った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 入団促進事業と消防団啓発事業は、一定の成果を得られたが、新たな入団促進策を、地域や事業所、大学等と連携・協力のもと実施することが必要である。 資機材整備は、高額であるため、時間を要するが継続していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 様々な先進事例を把握し、本市の特徴等を踏まえた新たな入団促進策を検討しながら、今後も継続していく。 資機材は高額なものも多いため、計画を踏まえて購入できるよう継続していく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防団活性化事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	入団促進事務事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や事業所等に対し、消防団活動への理解を深めてもらい、新入団員の募集を啓発している。各種消防団事業の地域住民参加型での実施や広報媒体での集中的なPRなど、機会を捉え実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 新規入団者の獲得による消防団組織の活性化

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				626
		決算				546

3. 活動推移

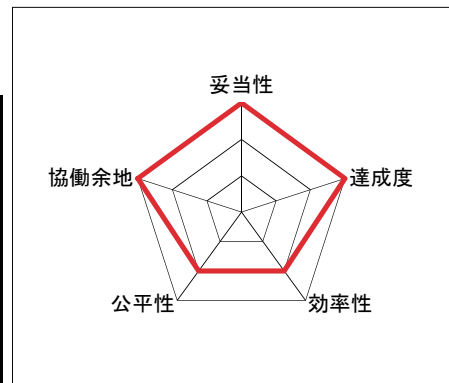
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新入団者	人	目標				10	
		実績				16	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全国的に団員確保策として学生団員の採用が増えるなど、各種先進事例を探り、新たな視点での事業展開が求められる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 当初入団と途中入団を併せ、当初目標を達成している。しかし、年度末退団者数が新入団者数を上回る状態となった。地域等の消防団への理解度は上がっているが、積極的な入団とは至らない。今後も創意工夫を交え事業を継続していく。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防団活性化事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	消防団啓発事務事業								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市民や地域、事業所等に対し、防災講習会や防災訓練、地域参加型の各種訓練事業の実施など、参加機会を増やし、団活動の周知、理解をPRしている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民との距離を大切に考え、消防団の存在とその意義をPRし、認知度を上げるとともに、地域に必要とされる組織を目指す。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				626
		決算				545

3. 活動推移

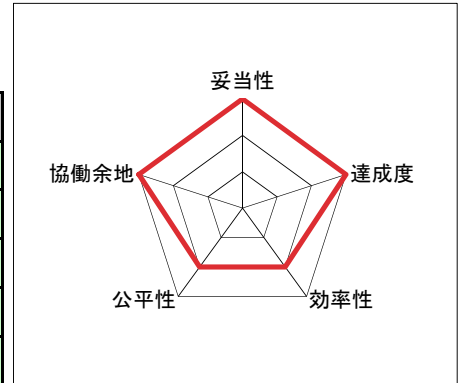
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新入団者	人	目標				10	
		実績				16	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 消防団は地域防災力の中核を担う組織と位置付けられているが、年々団員数が減少している。しかし、活動数は増加傾向にあるため、現在の団員を減らすことなく団員確保を続ける必要がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 現在の活動内容にも工夫を凝らしていくことで、認知度を上げていく。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防団活性化事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	消防団資機材整備事務事業								
----	---	-------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防団3分団に対し、各種災害対応等の消防団活動において、消防力を向上させる資機材備品を配備する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 災害活動で使用する資機材の整備や団員の安全装備を充実配備していく。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				1,093
		決算				656

3. 活動推移

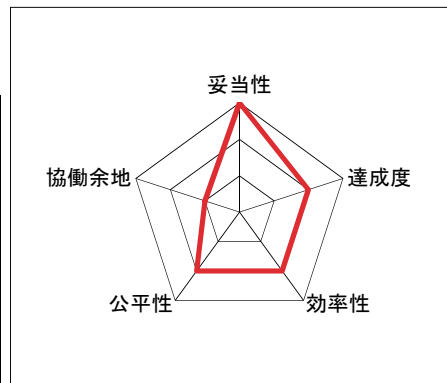
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
資機材整備率	%	目標			100	100	
		実績			100	80	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年5月末に電波法改正に伴うアナログ無線機の使用が不可となるので、代替の情報通信機器が必要となる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	2
協働余地	1



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 3分団に対して現在配備済みである資機材数を再調査し、必要配備数を調査、3分団に均等に資機材等の配備を進める。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	64	—	事業名	火災予防広報事業	担当部課	消防本部 予防課
------	----	---	-----	----------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	3	火災予防対策の推進			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 本市広報誌、市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民への火災予防の普及を図る。 ・住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進を図る。 ・枯草が繁茂する空地の所有者に対し、空地の適切な管理を促し、火災の発生を未然に防止する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、市内の従業者、学生等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。					
	事業を構成する事務事業	① 予防広報事業	拡充	④			
	② 住宅用火災警報器設置促進事業	継続	⑤				
	③ 予防事業	継続	⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	416
人件費(B)		千円	決算	/	/	/	4,049
総コスト(A)+(B)		千円	決算	/	/	/	4,465

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 広報誌への掲載及び市内での広報活動		千回	目標	180	180	256	256
実績				168	230	171	239	
B 住宅用火災警報器の設置条例適合率		%	目標	/	/	65.0	67.0	
			実績	/	/	63.3	65.7	
C 枯草放置を改善した割合		%	目標	70.0	70.0	70.0	70.0	
			実績	68.2	70.2	67.5	63.5	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 火災予防の関心度を図り、市内全戸への広報及び企業等への協力や呼びかけを行い、さらには、火災予防週間に街頭広報を実施し前年度実績からの増加。								
B 市内全住居に対し住宅用火災警報器設置に伴う条例適合率の前年度実績からの増加。								
C 枯草除去を必要とする土地所有者に対し文書通知を行ったうち70%の改善を図る。								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標値が徐々に改善しているが、十分に達成したとは言い難く更に推進する余地がある。 ①予防広報事業の成果指標の設定が不適切（平成26年度実施事業に対する外部評価）であったことから見直しを図ったことにより今後は適正な評価が行われるようになる。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 火災予防広報に関する関心度を高めるため、特に火災予防運動時「レシートを活用した広報」、「リニモ、宅配業者を利用した広報」等の事業を実施してきたところではあるが、それらも軌道に乗りつつあるので、事業のマンネリ化、硬直化を防ぐ必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) これまでは市内で活用可能なマスメディアを広報の主体としていたが、今後は市民と対面する機会を設け更なる火災予防の普及を図ります。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	火災予防広報事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	予防広報事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内外の住民に対して広報ながくて、市ホームページ、全戸回覧等の広報及び標語川柳の募集を通じ市民一人一人に火災の予防を考えていただく広報活動を実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 火災予防思想を普及啓発を行い、市民の手による安心で安全な暮らしを確保する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				442
		決算				331

3. 活動推移

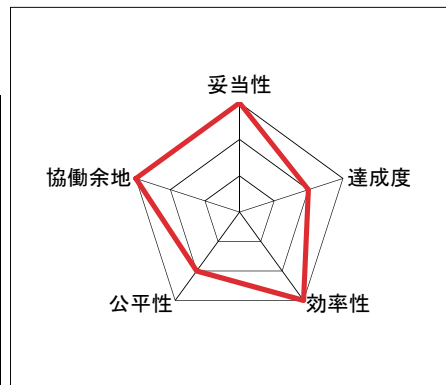
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市広報誌延配付世帯数	千回	目標	180	180	256	256	
		実績	168	230	171	239	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 成果指標が不明瞭であったため見直しを図る。(これまで「市広報誌延配付世帯数」を成果指標としていたが、平成26年度外部評価にて見直しを求められた。平成28年度に反映する。)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	2
協働余地	3



6. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 火災予防及び住宅用火災警報器の設置促進するだけでなく、新たな切り口と時世に適した内容を市民に提供できるよう標語川柳事業（平成27年度試験的に実施）を展開し、市民の火災予防に対する関心を高める。
--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業名	火災予防広報事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	住宅用火災警報器設置促進事業								
----	---	-------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 住宅の所有者、管理者又は占有者（住宅の用に供される防火対象物を含む）に警報器の設置状況を把握するアンケートを行い、設置の促進及び設置後の維持管理について方策を確保する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 住宅用火災警報器を全ての住戸へ設置させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				17
		決算				85

3. 活動推移

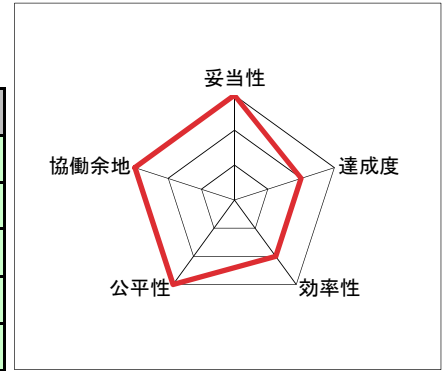
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
住宅用火災警報器条例適合率	%	目標			65	67	
		実績			63	66	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 住宅用火災警報器の設置義務化から10年が経過した。普及率調査が廃止され、新たな設置状況調査が示された。さらに「住宅用火災警報器設置対策基本方針」が改正された。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 住宅火災の被害の更なる軽減を図るためにも、消防機関だけでなく、市民と一体となって未設置世帯や条例の基準に適合していない世帯への働きかけを強め、加えて設置済みの世帯へは適切な維持管理を行うよう推進する。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	火災予防広報事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	③	事務事業名	予防事業									
----	---	-------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 枯草が繁茂する空き地の所有者に対し、文書による通知を行い枯草を除去するよう指導している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 「市街地」において、空地の適切な管理を促し、火災の発生を未然に防止する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

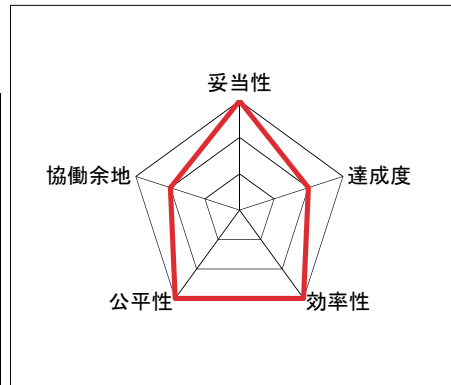
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
改善した割合	%	目標	70	70	70	70	
		実績	68	70	68	64	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 市内における住宅建設が進展し、市街地の空き地が減少していることもあり、継続して空地の枯草除去指導を行い、火災発生への低減に寄与する。
--

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	65	事業名	防火管理事務	担当部課	消防本部 予防課
------	----	-----	--------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	3	火災予防対策の推進			
	まちづくり行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 防火対象物の実態を把握し、火災予防上適切な管理を防火対象物の関係者に促すために次の事項を行う。 ・実際に消防職員が防火対象物を見て回る立入検査の実施 ・消防用設備等点検結果報告義務を周知するための文書通知指導 ・防火管理者の選任が必要な事業所に対し、防火管理者に必要な講習会を開催することを周知するための文書通知指導、さらには防火管理者を育成するため講習会を催すこと				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) ・防火対象物の所有者、管理者及び占有者 ・防火管理者の選任を必要とする防火対象物				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防火管理の意義及び重要性を十分に認識し、火災の発生を防止するとともに、万一火災の発生した場合にはその被害を最小限に止めるための万全の対策を講じておく				
	事業を構成する事務事業	① 防火管理講習会事務	継続	④		
	② 文書通知事務	改善・見直し	⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	予算				37
			決算				127
	人件費(B)	千円	決算				328
総コスト(A)+(B)	千円	決算				358	

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 防火管理者の選任率	%	目標		92.5	95.0	95.0	
			実績	93.1	93.2	93.1	94.0	
	B 消防用設備等の点検期限が迫る防火対象物から届出率	%	目標		90.0	90.0	80.0	
			実績	86.5	67.8	77.0	80.9	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 防火管理者の届出を必要とする防火対象物の選任率を段階的に引き上げ100%とするため年1%の増加を目標とする。								
B 消防用設備等点検結果報告書の届出を必要とする防火対象物の届出率を3%増加								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ①: 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても同様な事業を実施している。 ②: 隣接する市では同様の通知業務を行っていない。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ①: 目標に達しなかったものの、微増ながらも選任率は向上している。 ②: 文書通知事務が実施されない状況にある中、日ごろの窓口、立入検査及び消防検査等の機会を通じて点検結果の報告の必要性について指導を行っていることが功を奏している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 防火管理者の選任が必要な防火対象物などの比較的規模の大きな防火対象物に比べ、小規模な防火対象物のほうが防火管理の重要性や報告制度の理解が浸透していない。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 継続して防火対象物の関係者に対し、防火対象物における防火管理の意義及び重要性を十分に理解させる。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防火管理事務事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	防火管理講習会事務								
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 防火管理者の選任が必要な事業所に対し、市が開催する防火管理講習の案内を郵送通知、広報掲載、ホームページ掲載により周知し、年に一回防火管理講習（甲種防火管理新規講習及び乙種防火管理講習）を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防火管理者未選任と違反状態であった防火対象物の改善を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	19	19	19	37
		決算	19	19	24	127

3. 活動推移

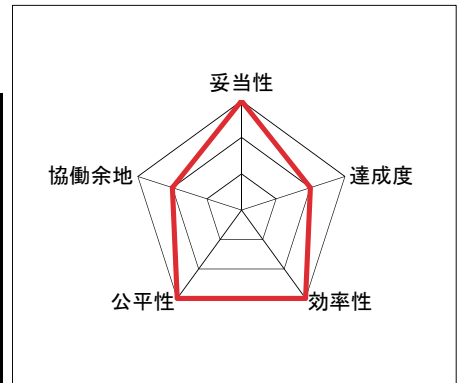
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受講者数	人	目標	60	60	60	60	
		実績	59	60	59	58	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 防火対象物の増加に伴い、防火管理者の選任が必要な事業所が増えている。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後も継続実施する。

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	防火管理事務事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	文書通知事務									
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防用設備等の設置が義務づけられている防火対象物のうち、点検した結果を報告する期限が経過し、または期限が迫る防火対象物に対して、報告期限を記載した通知を送付する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 消防用設備等の点検及び報告義務があることを文書通知により周知し、報告期限を遵守させる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

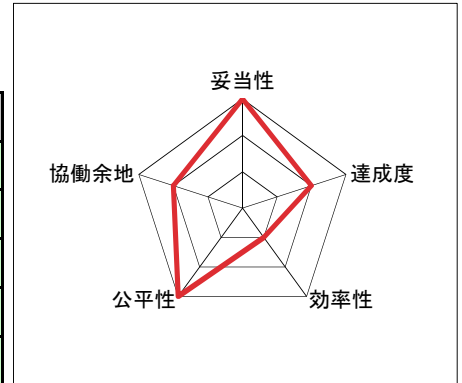
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
消防用設備等の点検期限が迫る防火対象物から届出率	%	目標		90	90	80	
		実績	87	68	77	81	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	1
公平性	3
協働余地	2



6. 今後の方向性

改善・見直し

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 消防用設備等点検結果報告書の届出を向上させるため文書通知の他、立入検査時及び窓口において防火対象物の関係者に対してしおりを配付し、点検の趣旨等を説明し指導している状況にあります。したがって、文書通知事務だけが成果に直結しているわけではないので、事務事業名の見直しを図ります。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	66	—	事業名	火災予防組織育成事業	担当部課	消防本部 予防課
------	----	---	-----	------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	3	火災予防対策の推進			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 消防本部予防課が所管する火災予防組織の育成指導を行う。 ・幼少年期の火災予防思想の動機付けを図るため愛知県消防学校一日体験入校への参加を行う。 ・火災予防啓発のため、市防火作品展を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内小学校に通う5、6年生					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 参加者だけでなく、参加者を通じて各家庭への火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。					
	事業を 構成する 事務事業	①	少年消防クラブ事務事業	継続	④		
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	51
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	1,757
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	1,808

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A	全対象児童のうち、応募した児童の割合	%	目標	35	35	35	35	
				実績	33	29	29	36	
	B			目標					
	C			目標					
			実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A	防火作品展に応募作品について、市内の小学校に通う5、6年生の3分の1以上の応募を目標としている。
B	
C	

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成24年度から新規事業として組織を立ち上げ、防火・防災意識の向上を図っており、参加する学校等からは好感触を得ている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 火災予防育成組織へ参加する児童の関心度を高めるために全応募作品展、市内事業所への入賞作品展等の事業を実施してきたところではあるが、それらも軌道に乗りつつあるので、事業のマンネリ化、硬直化を防ぐ必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 消防本部予防課が所管する火災予防組織を少年期のみにとどまらず、現在保育園で実施するキャラバン事業を拡充させ幼年期における火災予防思想の動機付けを推進する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	火災予防組織育成事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

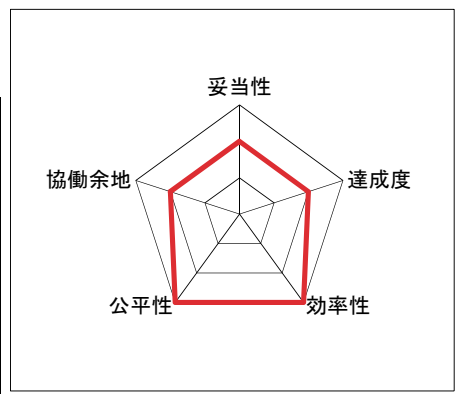
番号	①	事務事業名	少年消防クラブ事務事業									
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内小学校に通う5・6年生を対象に愛知県消防学校が行う消防学校一日体験入校及び市防火作品募集(作品展含む。)を実施しています。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年を介して家庭への防火を推進し、学校内における火災の低減を図り、将来の地域防災の担い手となるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	78
		決算	/	/	/	51

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全対象児童のうち、応募した児童の割合	%	目標	35	35	35	35	
		実績	33	29	29	36	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

現行どおり実施
平成26年度より全校から防火作品の応募があったことから、今後はより多くの児童が火災予防に関心が持てるような取組を行う。
(平成26年度より消防職員への防火作品募集・展示の実施)

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

H23度: モデル事業の実施、一日体験入校への参加(長小のみ)
H24度: 市少年消防クラブ設置、市防火作品展の実施(全作品展示)
全国少年消防クラブ運営指導協議会愛知県支部登録

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	67 -	事業名	消防隊員育成事業	担当部課	消防署 1課・2課・3課
------	------	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	1	消防体制の強化			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 職員の特別教育の参加及び市民参加型訓練を開催する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 消防職員及び市内在住者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 災害時の被害軽減を目的に、職員が専門的な知識を修得するとともに、訓練等を通じ市民らとの連携を図る。					
	事業を構成する事務事業	① 消防隊員育成事業	継続	④			
	② 消防訓練事業	継続	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算 決算	 	 	
人件費(B)	千円		決算	 	 	 	17,186
総コスト(A)+(B)	千円		決算	 	 	 	17,591

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 各種特別教育の受講	%		目標	40	40	35	35	
				実績	45	41	34	37	
	B 出火率(人口1.0万人あたり)	件		目標	3.5	3.5	3.5	3.2	
実績				2.6	2.9	3.2	2.0		
C			目標 実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 各年度出動要員が必須教育を全て習得した場合を100%としたときの習得率を指標とした。26年度以降、有習得者の退職者により習得率が低下したため、習得率35%の目標とした。

B 人口1.0万人あたりの出火率を指標とした。前年度までの3年間で最も多かった26年度の3.2件を下回ることを基準とした。

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 都市化がすすむなか、多様化する消防ニーズに対応するため、資機材の整備や都市型消防戦術を取り入れる等、知識・技術の習得が不可欠である。 本市内においては、近年大規模な住宅地開発や大型店舗のオープンが予定されていることから、市民が参加できる消防訓練を計画・実施する必要がある。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 特別教育は年間15人が受講したことにより、職員の受講者割合が前年度より3%の増加となった。また、市民らとの合同訓練を通じ、防火意識の高揚が図られ人口1万人あたりの出火件数は前年度より1.2件下回った。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 資器材の導入や更新等で充実させていくなか、使用する職員らの技術向上を目的とした訓練を継続していく必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 消防隊員の知識・技術向上のため、引き続き訓練・教養を重ね、機器装備の整備を推進する。また、地域ぐるみの訓練をはじめ、消防出初式等の行事も市民参加を促し、更なる防火啓発を行っていく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防隊員育成事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	消防隊員育成事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 消防隊員が災害対応に必要な知識・技術を習得するため、各種特別教育や救助隊員シンポジウムに出席する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 日常業務で培うことが困難な知識や技術を習得する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				527
		決算				405

3. 活動推移

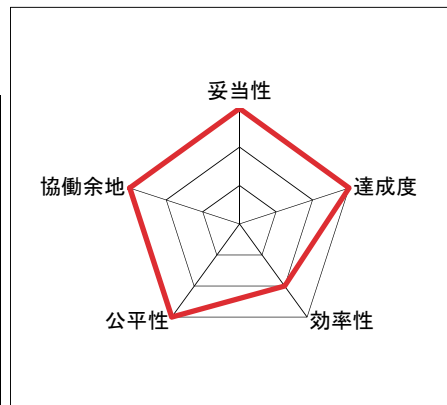
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
特別教育等の受講者数	延べ人数	目標	5	5	11	14	
		実績	9	8	16	19	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 都市化が進むなか、災害や事故の多様化及び大規模化により住民が求めるニーズも多様化している。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 多様化するニーズに対応するため、高度な訓練や教養を重ね、また、他の消防本部との合同訓練へ積極的に参加し最新消防戦術の習得を図る。
--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	消防隊員育成事業					
-----	----------	--	--	--	--	--

番号	②	事務事業名	消防訓練事業								
----	---	-------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 地域自治会や事業所と消防訓練を行い、通報・避難時の正しい対応や初期消火を学んでもらう。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 生命、身体及び財産への被害を軽減する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				0
		決算				0

3. 活動推移

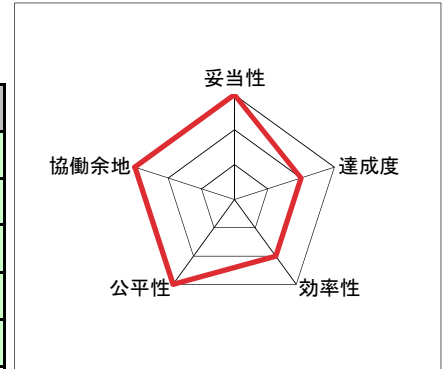
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市民・事業所との消防訓練等	回	目標	5	4	4	5	
		実績	5	4	4	5	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 本市内においては、近年大規模な住宅地や大型店舗の建設が計画されていることから、住民や関係者との密な連携が求められる。
--

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 職員による訓練のみならず、事業所関係者及び市民参加型の訓練や行事を開催し、防火意識を高めることが被害の軽減に繋がるものである。今後も、市民・事業所等と連携することで、防火・防災意識の向上を図る。

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	68 -	事業名	救急業務啓発事業	担当部課	消防署 1課・2課・3課
------	------	-----	----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	4	救急体制の充実・高度化			
	まちづくり 行程表	フラッグ	-				
		政策分類	-				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) AEDの使用方法を含め、応急手当の普及啓発を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内在住者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 救急現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに行えるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 救急業務普及啓発事業	継続	④			
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円	千円	予算	/	/	/
決算				/	/	/	227
人件費(B)	千円	千円	決算	/	/	/	12,985
総コスト(A)+(B)	千円	千円	決算	/	/	/	13,212

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A 受講者数	人	人	目標	2000	2500	2500	2500	
				実績	2206	2581	2760	2838	
B									
C									
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A 前年度の講習実績において普及啓発の指標とした。指導員の数、資器材の数を考慮し昨年同様の受講者目標とした。									
B									
C									

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他都市においても同様に応急手当の普及啓発を行なっている。当消防本部においては中学校、小学校に対しても普及啓発を行なっている。応急手当の必要性が広く市民に認知されてきて講習受講希望者も年々増加している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 前年度の講習会実施回数117回から、今年度は128回と11回の開催増となり、併せて受講者数も増加していることから応急手当の普及がなされている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 講習受講希望者が増加し講習会回数が増加するに当たり、職員による講習会開催では負担が大きくなってきた。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も講習会を通し受講者を増加することで普及啓発を行っていく。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	救急業務啓発事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	①	事務事業名	救急業務普及啓発事業								
----	---	-------	------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手在住、在勤の方を対象にAEDの使用方法等の応急手当の講習を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 応急手当を適切に行えるようにし、救命率の向上を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				478
		決算				227

3. 活動推移

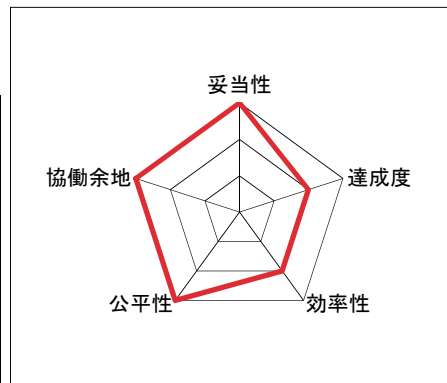
活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
受講者数	人	目標	2,000	2,500	2,500	2,500	
		実績	2,206	2,581	2,760	2,838	
		目標					
		実績					

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 来年度はガイドラインの変更により心肺蘇生法の変更点がある。

5. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



6. 今後の方向性

継続

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後、普及員及び指導員を養成していくことで、効率的に普及活動を行うことができる。
--